

Ⅱ 障害のある人調査結果

1 基本属性

(1) アンケート記入者

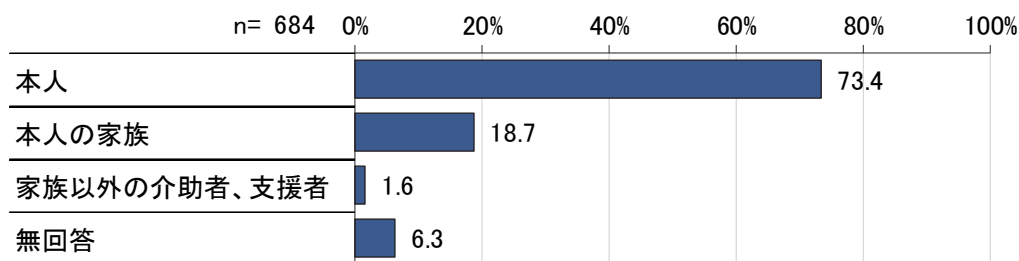
この調査票にご回答いただく方は、どなたですか

(○はひとつだけ)

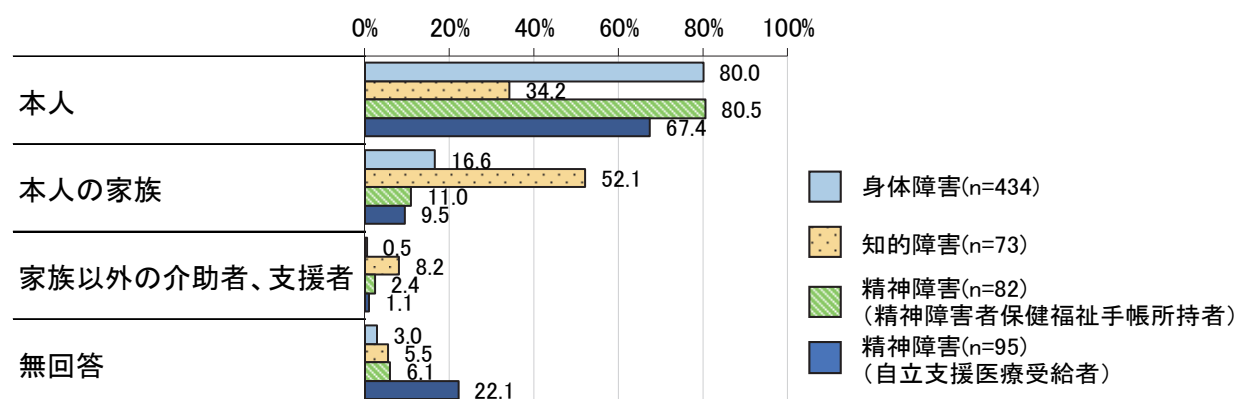
アンケートの記入者は、全体では「本人」が7割以上を占め、「本人の家族」が18.7%、「家族以外の介助者、支援者」が1.6%となっています。

障害種別にみると、知的障害では「本人の家族」が記入した割合が高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(2)居住する地区

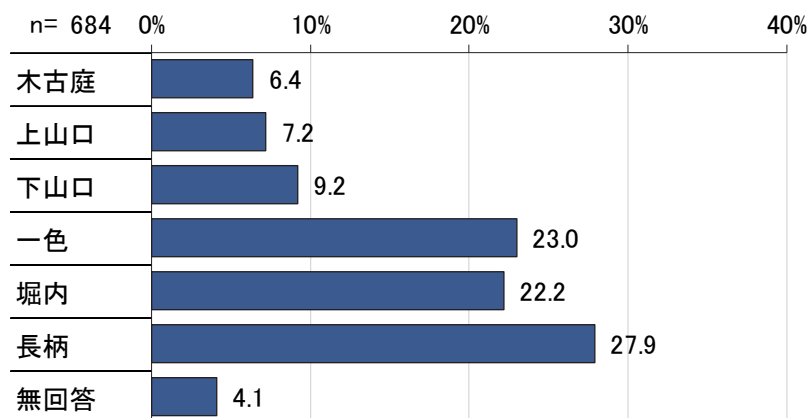
問1 お住まいの地区はどちらですか

(○はひとつだけ)

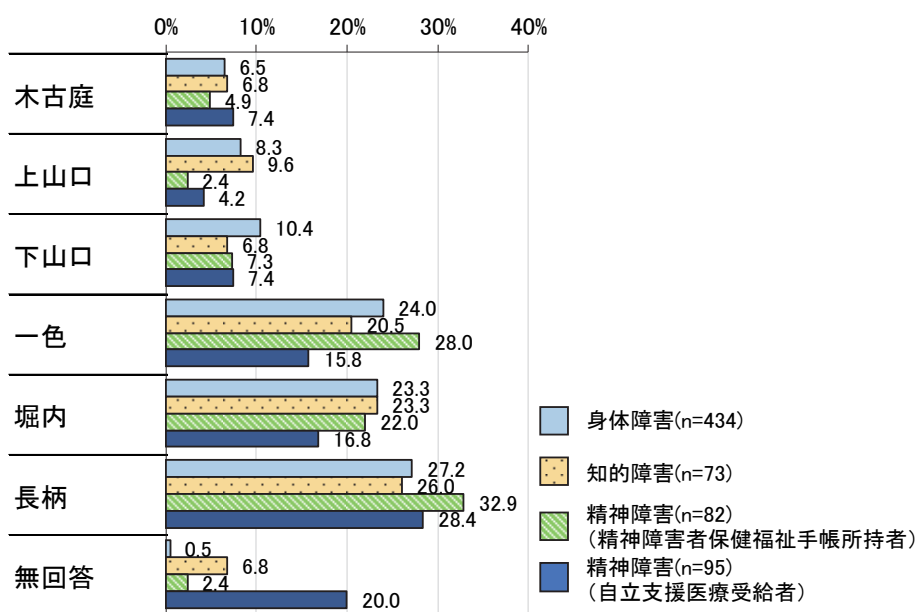
住まいの地区は、全体では「長柄」が27.9%で最も高く、次いで「一色」が23.0%、「堀内」が22.2%となっています。

障害種別にみると、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「長柄」に住んでいる人が3割以上を占めています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



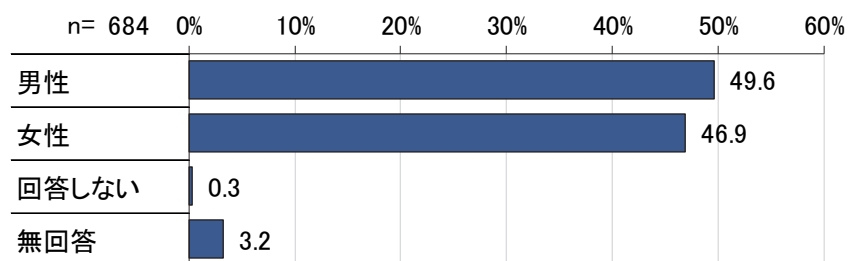
(3)性別

問2 性別はどちらですか

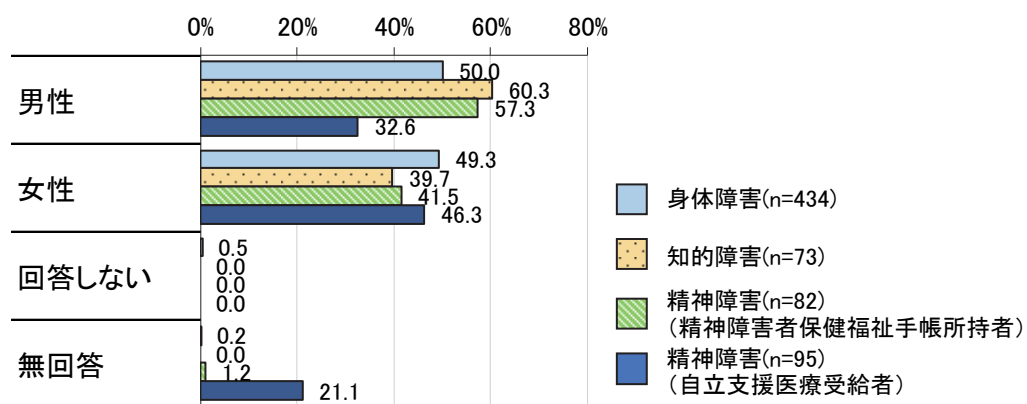
(○はひとつだけ)

性別は、全体では「男性」が 49.6%、「女性」が 46.9%とほぼ同じ割合となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(4) 年齢

問3 年齢はおいくつですか

(○はひとつだけ)

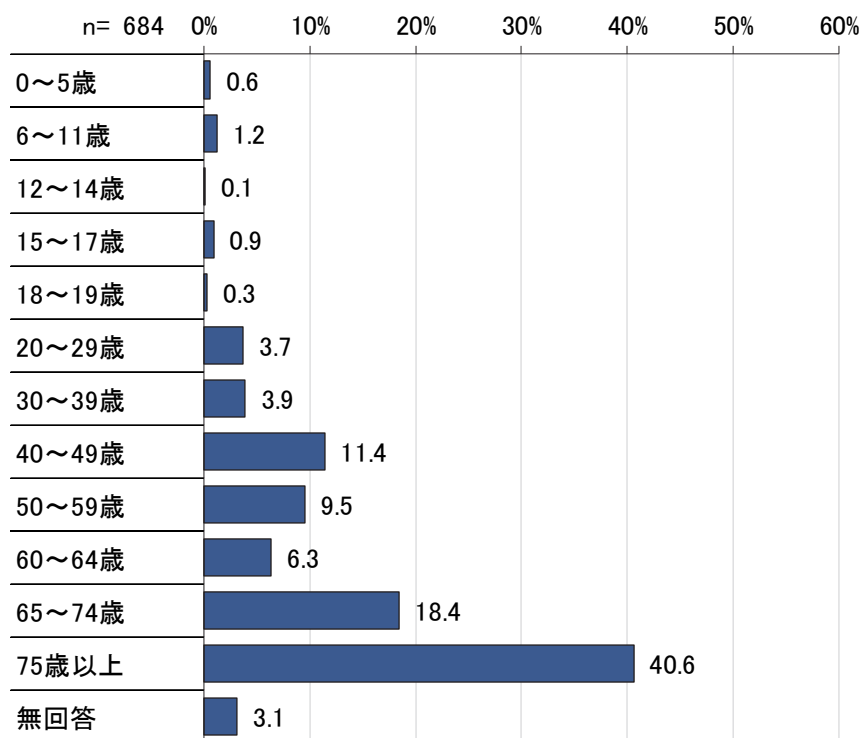
年齢は、全体では「75 歳以上」の後期高齢者が約4割を占め、「65～74 歳」の前期高齢者が 18.4%、「40～49 歳」が 11.4%、他の年齢は1割を下回っています。

障害種別にみると、身体障害の人では 75 歳以上の高齢者が6割近くを占めています。

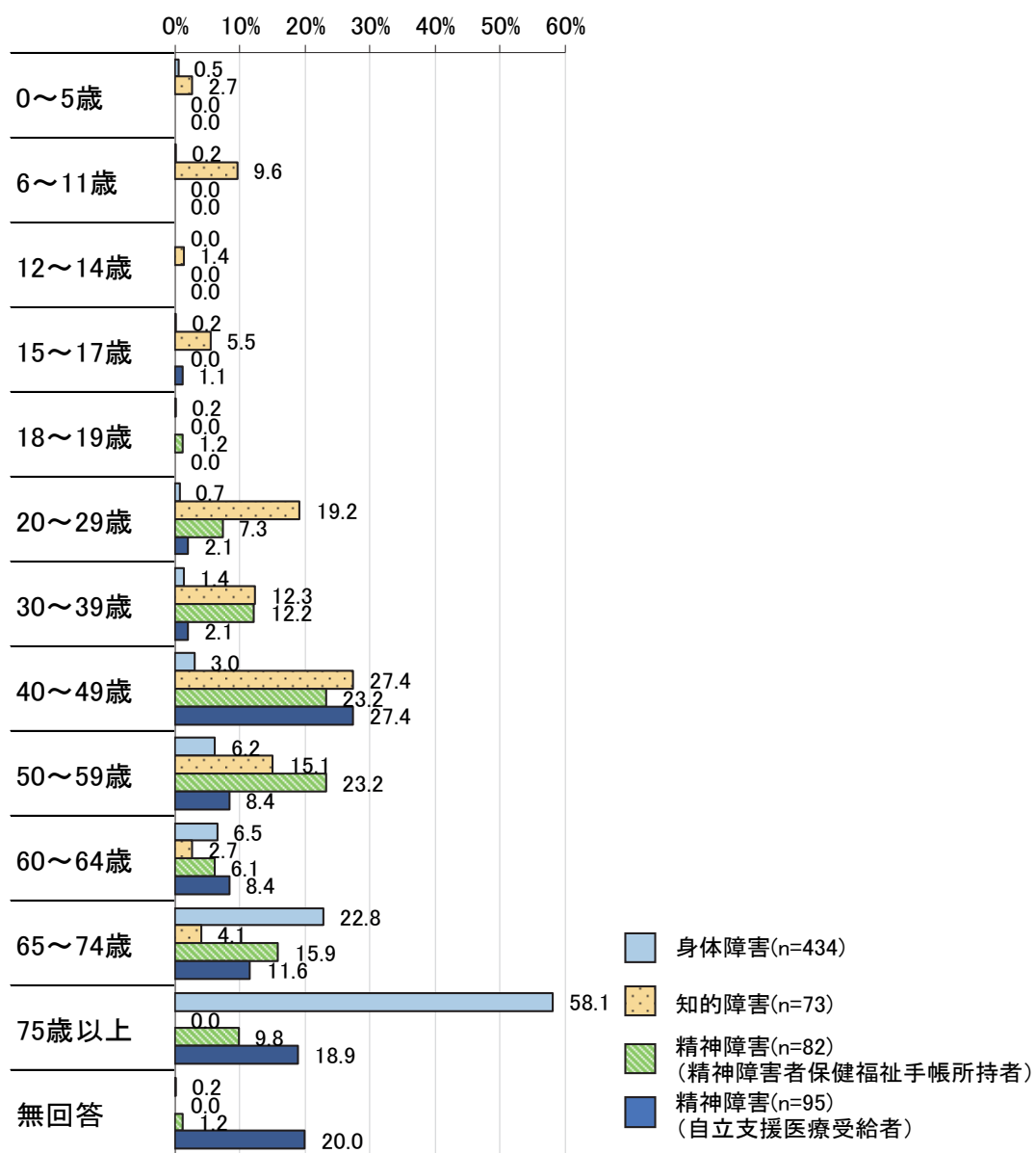
知的障害、精神障害(自立支援医療受給者)では「40～49 歳」が 27.4%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「40～49 歳」「50～59 歳」の割合が各 23.2%と高くなっています。

知的障害では「20～29 歳」の割合が 19.2%と他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



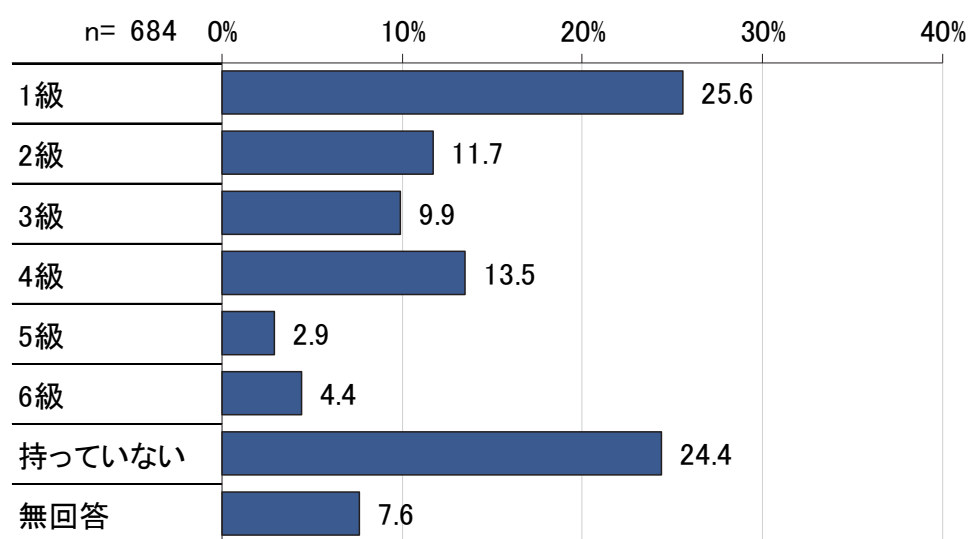
(5)身体障害者手帳の所持状況

問4 身体障害者手帳をお持ちですか

(○はひとつだけ)

身体障害者手帳の等級は、全体では「1 級」が 25.6%で最も高く、次いで「4級」が 13.5%、「2級」が 11.7%、「3級」は 9.9%となっています。

全 体



(6)障害の種類

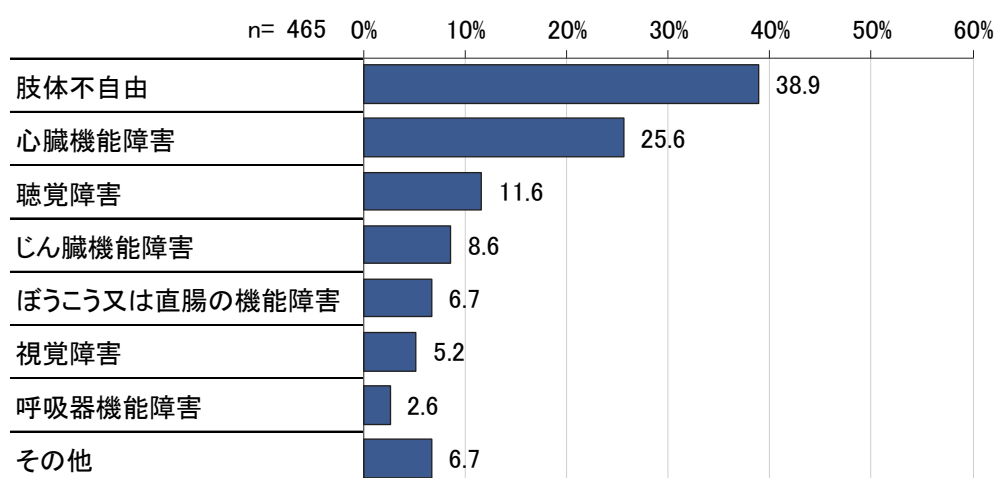
①障害の種類

問5 身体障害者手帳をお持ちの場合、障害の種類は何ですか

(〇はいくつでも)

身体障害者手帳を所持している人の障害の種類について全体では、「肢体不自由」が38.9%と最も高く、次いで「心臓機能障害」が25.6%、「聴覚障害」が11.6%となっています。

全 体



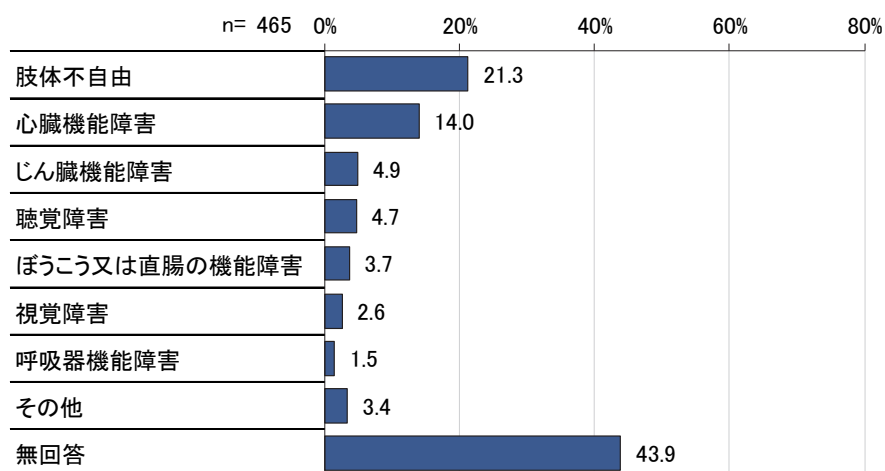
②最も重い障害の種類

問5（2） 問5（1）の選択肢（上記1.～8.）の障害のうち
最も重いものの番号を記入してください

（○はひとつだけ）

身体障害者手帳を所持している人のうち、最も重い障害の種類は、「肢体不自由」が21.3%と最も高く、次いで、「心臓機能障害」となっています。

全 体



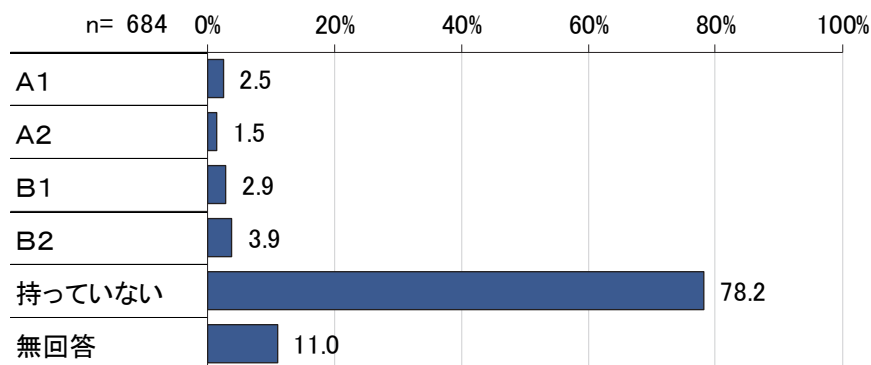
(7)療育手帳の所持状況

問6 療育手帳をお持ちですか

（○はひとつだけ）

療育手帳の所持状況をみると、A1～B2 までを合計した全体の所持率は 10.8%で、「持っていない」と回答された人は 78.2%となっています。

全 体



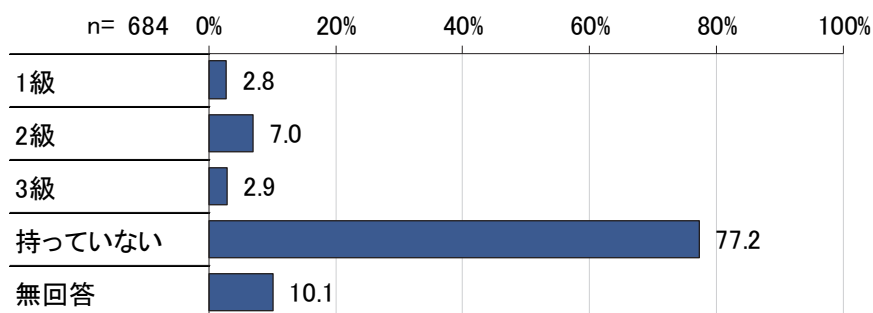
(8)精神障害者保健福祉手帳の所持状況

問7 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか

(○はひとつだけ)

精神障害者保健福祉手帳の所持状況をみると、全体の所持率は12.7%で、等級は、「2級」が7.0%、「3級」が2.9%、「1級」が2.8%となっています。

全 体



(9)難病診断

問8 難病の診断を受けていますか

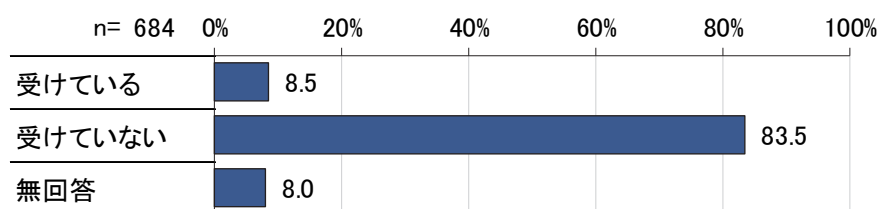
(○はひとつだけ)

難病の診断を受けているかを聞いたところ、全体では「受けている」と回答した人は8.5%、「受けていない」人が8割以上を占めています。

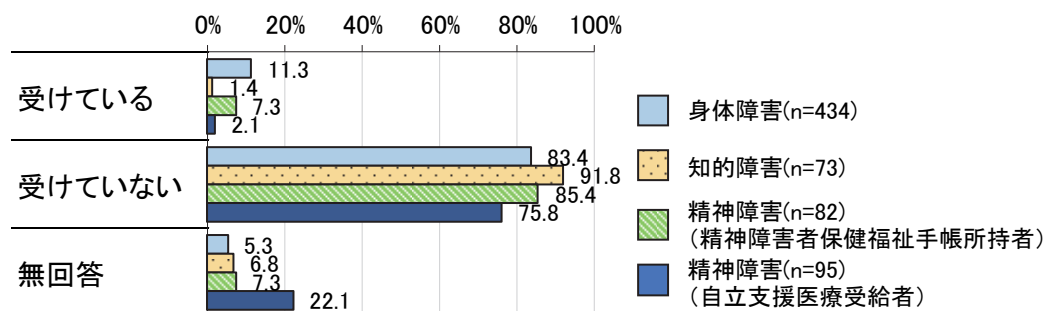
障害種別にみると、身体障害、知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「受けていない」人の割合が8割を超え、特に知的障害の人の割合は高くなっています。

「受けている」人の割合は、身体障害の人は11.3%、知的障害の人が1.4%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)は7.3%、自立支援医療受給者は2.1%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(10)発達障害診断

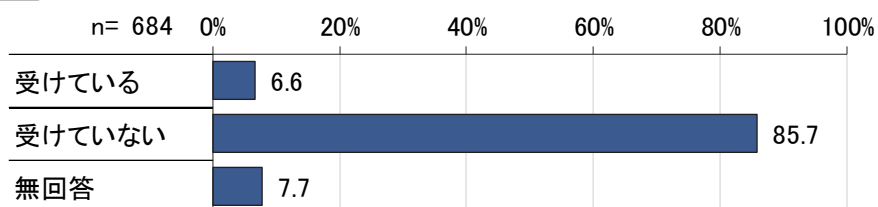
問9 発達障害の診断を受けていますか

(○はひとつだけ)

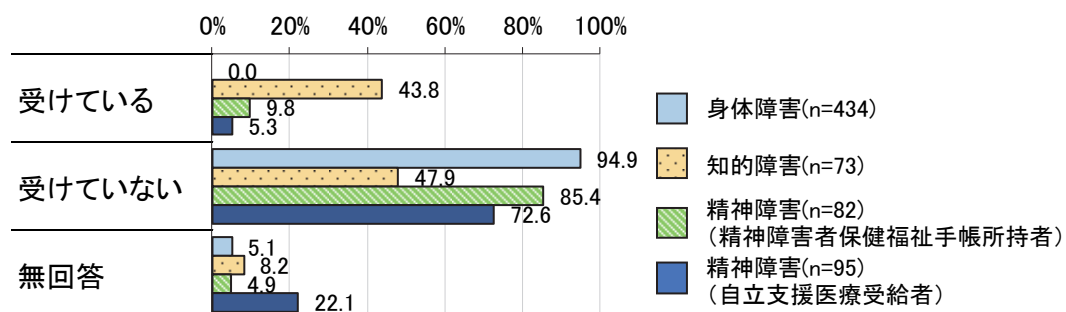
発達障害の診断を受けているかを聞いたところ、全体では「受けている」と回答した人は 6.6%、「受けていない」が8割以上を占めています。

障害種別にみると、知的障害では発達障害の診断を「受けている」人の割合が4割以上と他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(11)高次脳機能障害としての受診

①受診状況

問 10 あなたは高次脳機能障害として受診されたことがありますか

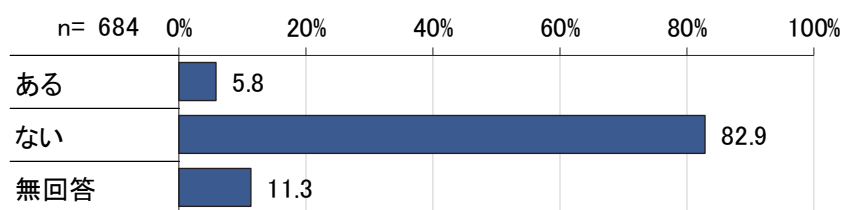
(○はひとつだけ)

高次脳機能障害として受診したことがあるかを聞いたところ、全体では「ある」と回答した人は5.8%、「ない」が8割以上を占めています。

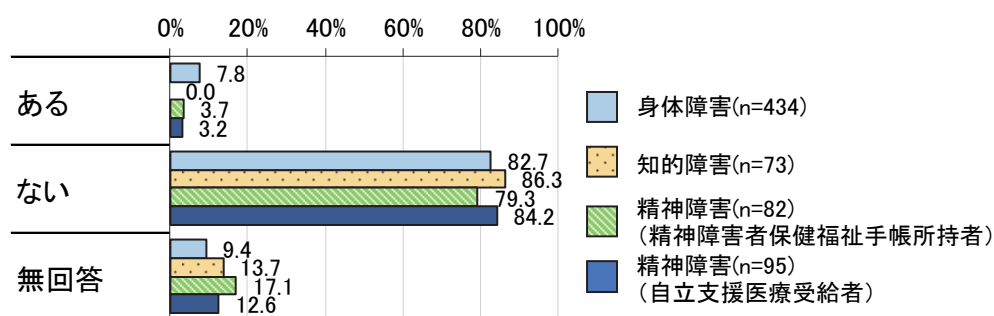
障害種別にみると、身体障害では「ある」と答えた人の割合が7.8%と、他の障害種別に比べて高くなっています。

知的障害では、「ある」と答えた人はいない結果となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



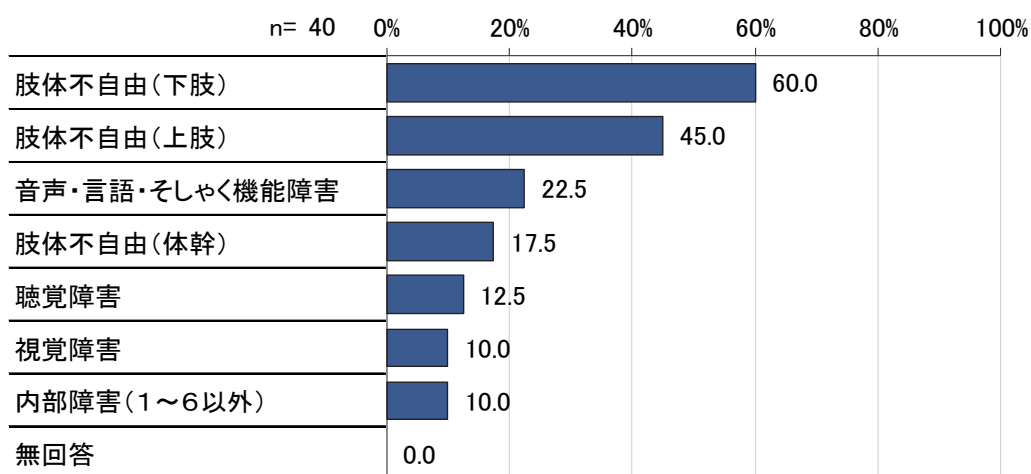
②関連障害

問 11 その関連障害をお答えください

(〇はいくつでも)

高次脳機能障害での受診があった人の関連障害について聞いてみると、全体では「肢体不自由(下肢)」が60.0%、次いで「肢体不自由(上肢)」が45.0%となっています。

全 体



(12) 治療の状況

問 12 現在、何らかの医師の治療を受けていますか

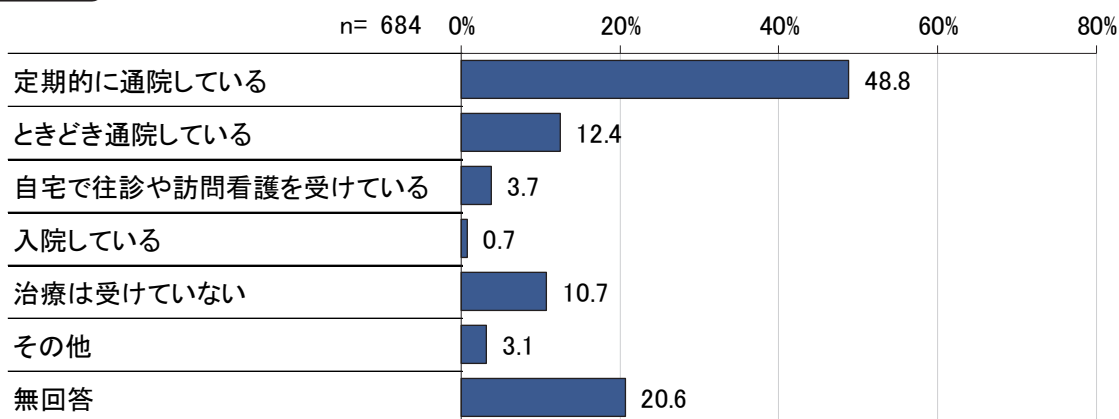
(○はひとつだけ)

現在、何らかの医師の治療を受けているかについては、全体では「定期的に通院している」人が約5割を占め、「ときどき通院している」人が 12.4%となっています。

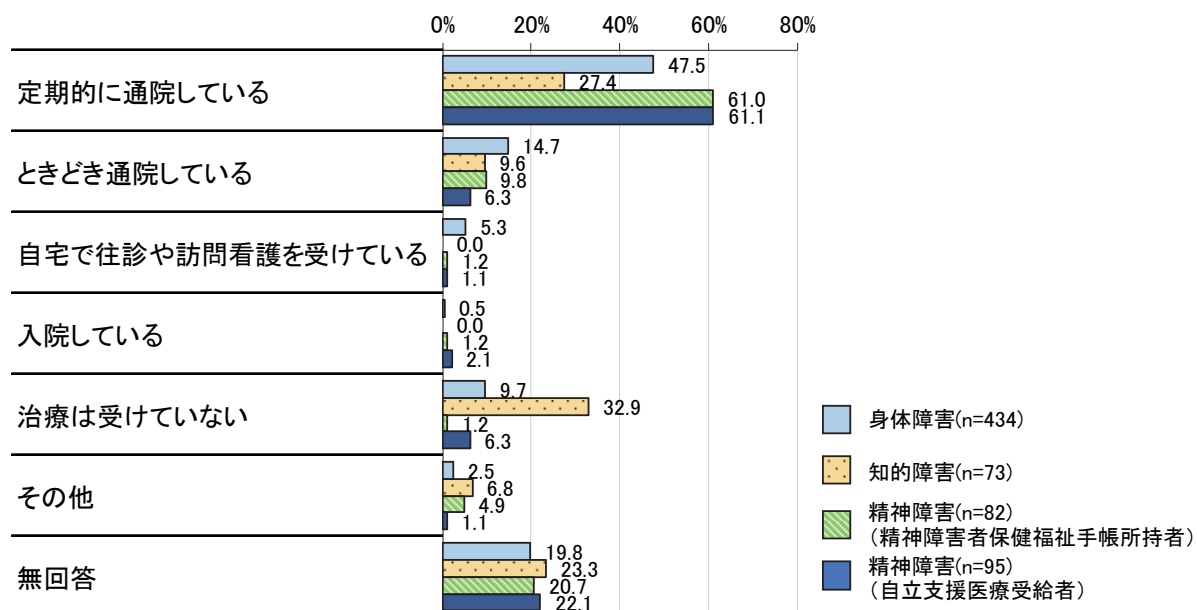
障害種別にみると、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)ではともに「定期的に通院している」人の割合が6割以上と他の障害の人に比べて高くなっています。

知的障害では「定期的に通院している」人は 27.4%に留まり、「治療は受けていない」人の割合が 32.9%と他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(13)医療的ケア

①医療的ケアの状況

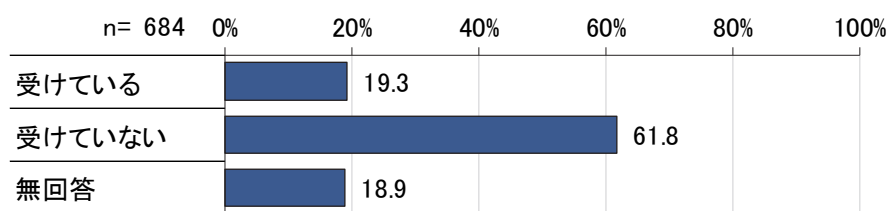
問 13 あなたは現在医療的ケアを受けていますか

(○はひとつだけ)

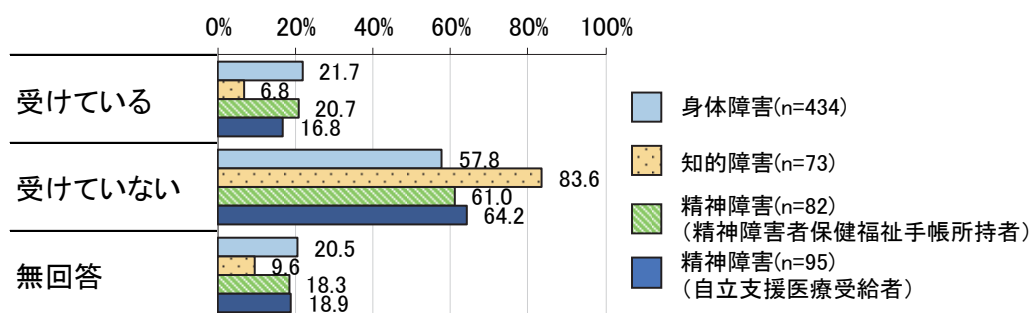
現在医療的ケアを受けているかを聞いたところ、全体では「受けている」と回答した人は19.3%、「受けていない」が6割以上を占めています。

障害種別にみると、「受けている」人の割合は身体障害では21.7%、知的障害では6.8%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では20.7%、精神障害(自立支援医療受給者)では16.8%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



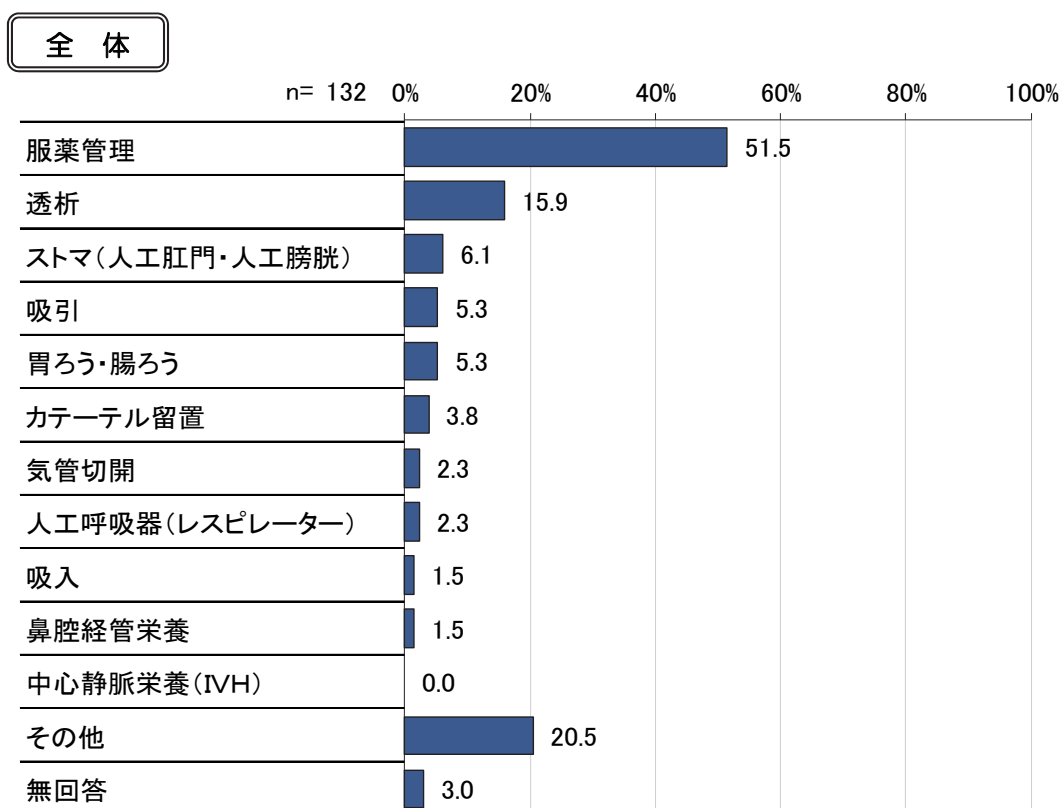
②医療的ケアの種類

問 14 あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください

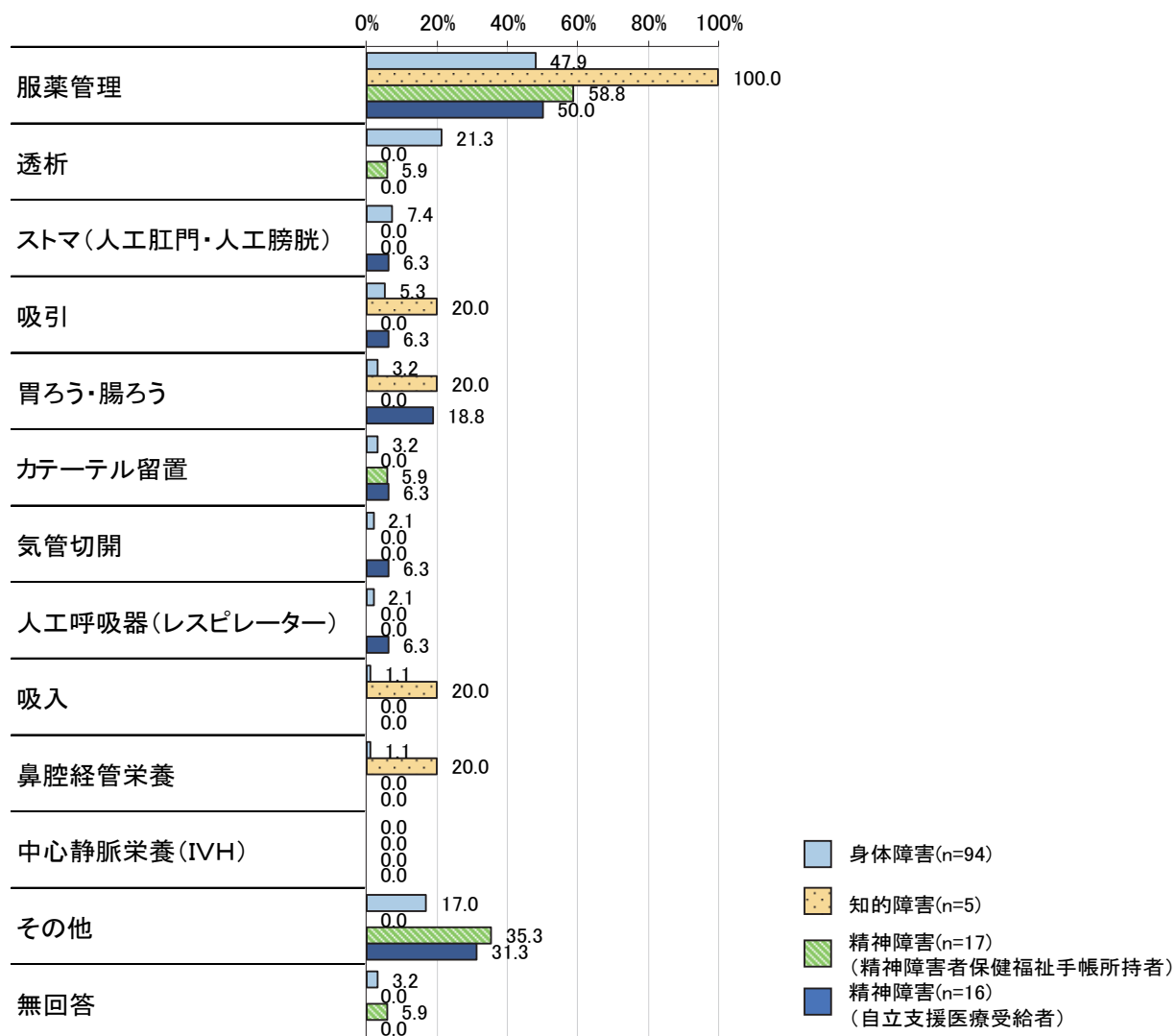
(〇はいくつでも)

医療的ケアを受けている人の種別について聞いてみると、全体では「服薬管理」が51.5%、次いで「その他」(20.5%)、「透析」(15.9%)となっています。

障害種別にみると、身体障害では「透析」(21.3%)が高く、知的障害では「服薬管理」が100%と突出しています。



クロス集計（障害種別）



(14) 診療・健診・リハビリ等を受ける際の困りごと

問 15 診療や定期健診、リハビリを受けるにあたってお困りのことがありますか

(○はいくつでも)

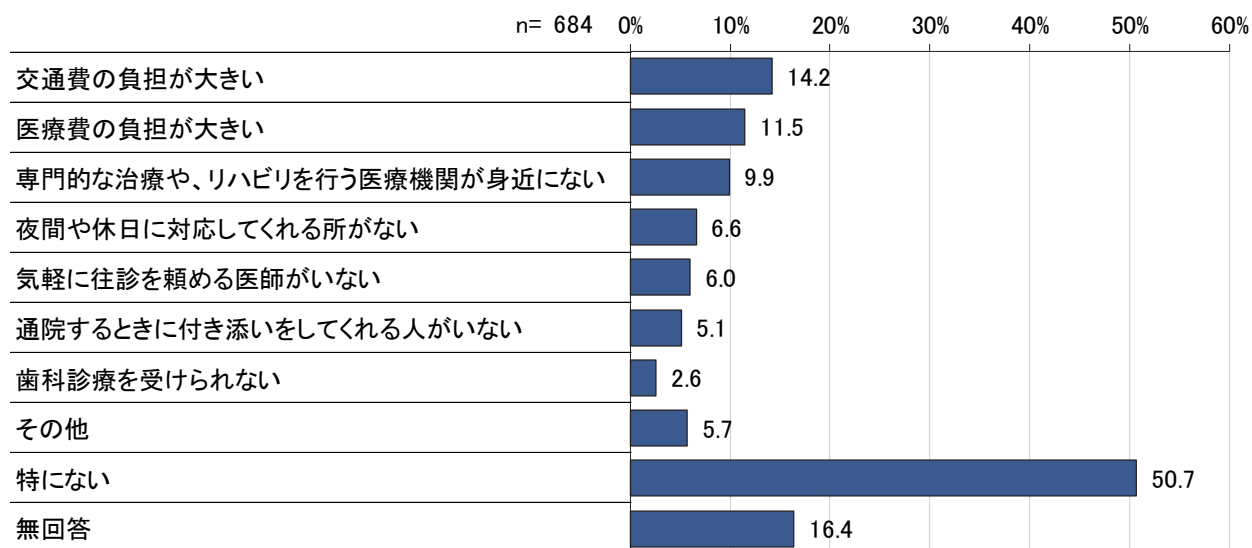
医療や診療や定期健診、リハビリを受ける際に困っていることは、「特にない」が約半数ですが、次いで「交通費の負担が大きい」が 14.2%で最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」が 11.5%となっています。

障害種別にみると、知的障害では「歯科診療を受けられない」(5.5%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)の人ではともに「交通費の負担が大きい」(精:19.5%・自:18.9%)をあげる人の割合が他の障害の人に比べてやや高くなっています。

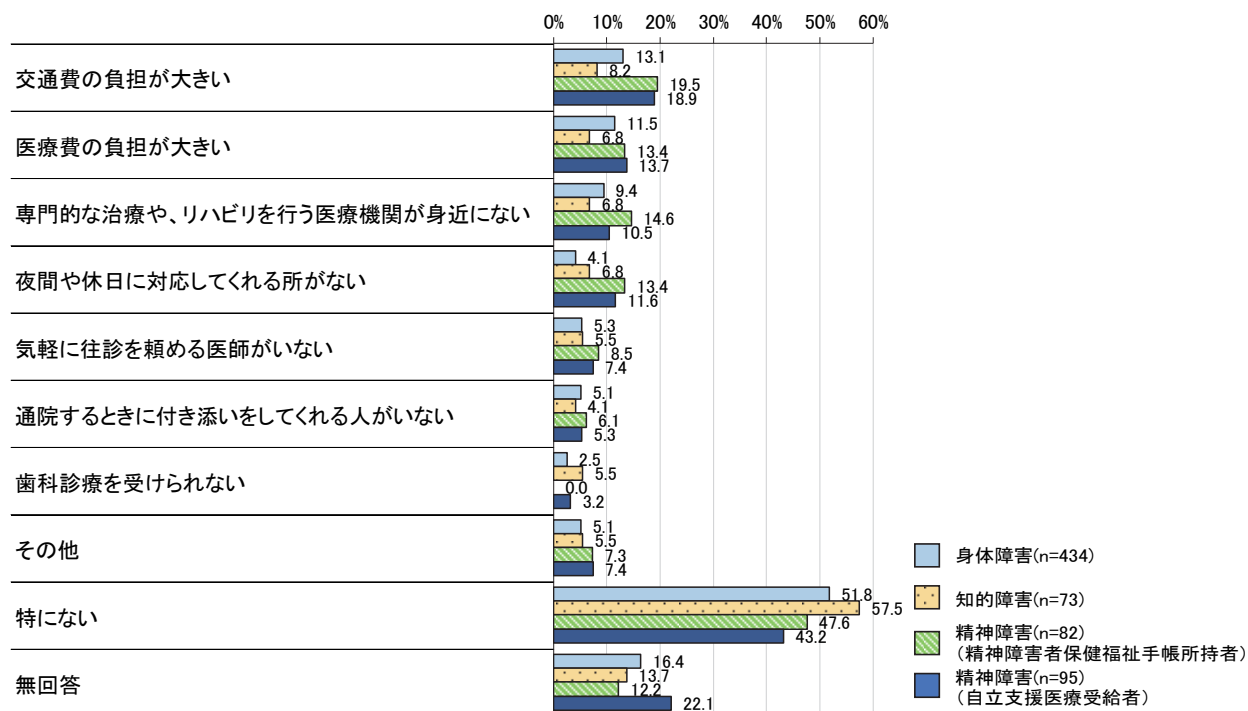
年齢別にみると、身体障害の 18 歳未満、知的障害の 65 歳以上、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)・精神障害(自立支援医療受給者)の 18～64 歳では、「交通費の負担が大きい」をあげる人の割合が高くなっています。

その他、身体障害の 18～64 歳では「専門的な治療や、リハビリを行う医療機関が身近にない」(12.8%)、知的障害の 65 歳以上では「歯科診療を受けられない」(33.3%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の 18～64 歳では「夜間や休日に対応してくれる所がない」「医療費の負担が大きい」(各 18.3%)、精神障害(自立支援医療受給者)の 18～64 歳では「夜間や休日に対応してくれる所がない」(19.6%)をあげる人の割合が、他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	交通費の負担が大きい	医療費の負担が大きい	専門的な治療や、リハビリを行う医療機関が身近にない	夜間や休日に対応してくれる所がない	気軽に往診を頼める医師がいない	通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
全体	434 人	13.1%	11.5%	9.4%	4.1%	5.3%	5.1%
18 歳未満	4 人	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	17.9%	11.5%	12.8%	5.1%	5.1%	5.1%
65 歳以上	351 人	11.7%	11.7%	8.5%	4.0%	5.4%	4.8%
	n	歯科診療を受けられない	その他	特にない	無回答		
全体	434 人	2.5%	5.1%	51.8%	16.4%		
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%		
18～64 歳	78 人	3.8%	6.4%	48.7%	12.8%		
65 歳以上	351 人	2.0%	4.8%	52.4%	17.4%		

【知的障害・年齢別】

	n	交通費の負担が大きい	医療費の負担が大きい	専門的な治療や、リハビリを行う医療機関が身近にない	夜間や休日に対応してくれる所がない	気軽に往診を頼める医師がいない	通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
全体	73 人	8.2%	6.8%	6.8%	6.8%	5.5%	4.1%
18 歳未満	14 人	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	56 人	7.1%	7.1%	7.1%	8.9%	7.1%	5.4%
65 歳以上	3 人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	n	歯科診療を受けられない	その他	特にない	無回答		
全体	73 人	5.5%	5.5%	57.5%	13.7%		
18 歳未満	14 人	7.1%	7.1%	64.3%	0.0%		
18～64 歳	56 人	3.6%	3.6%	57.1%	17.9%		
65 歳以上	3 人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%		

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	交通費の負担が大きい	医療費の負担が大きい	専門的な治療や、リハビリを行う医療機関が身近にない	夜間や休日に対応してくれる所がない	気軽に往診を頼める医師がいない	通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
全体	82 人	19.5%	13.4%	14.6%	13.4%	8.5%	6.1%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	23.3%	18.3%	15.0%	18.3%	6.7%	6.7%
65 歳以上	21 人	9.5%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
	n	歯科診療を受けられない	その他	特にない	無回答		
全体	82 人	0.0%	7.3%	47.6%	12.2%		
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
18～64 歳	60 人	0.0%	10.0%	50.0%	5.0%		
65 歳以上	21 人	0.0%	0.0%	42.9%	33.3%		

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	交通費の負担が大きい	医療費の負担が大きい	専門的な治療や、リハビリを行う医療機関が身近にない	夜間や休日に対応してくれる所がない	気軽に往診を頼める医師がいない	通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
全体	95 人	18.9%	13.7%	10.5%	11.6%	7.4%	5.3%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	28.3%	17.4%	13.0%	19.6%	8.7%	4.3%
65 歳以上	29 人	10.3%	6.9%	6.9%	6.9%	3.4%	6.9%
	n	歯科診療を受けられない	その他	特にない	無回答		
全体	95 人	3.2%	7.4%	43.2%	22.1%		
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
18～64 歳	46 人	6.5%	8.7%	41.3%	15.2%		
65 歳以上	29 人	0.0%	6.9%	51.7%	24.1%		

(15)介護保険の要介護認定状況

①介護保険の認定状況

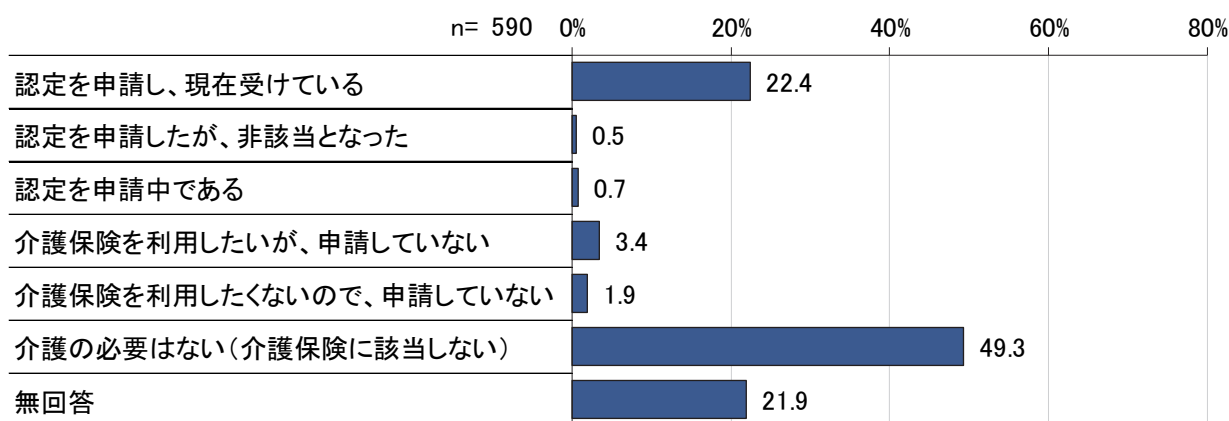
問 16 年齢が40歳以上の方に伺います。介護保険の認定を受けていますか

(○はひとつだけ)

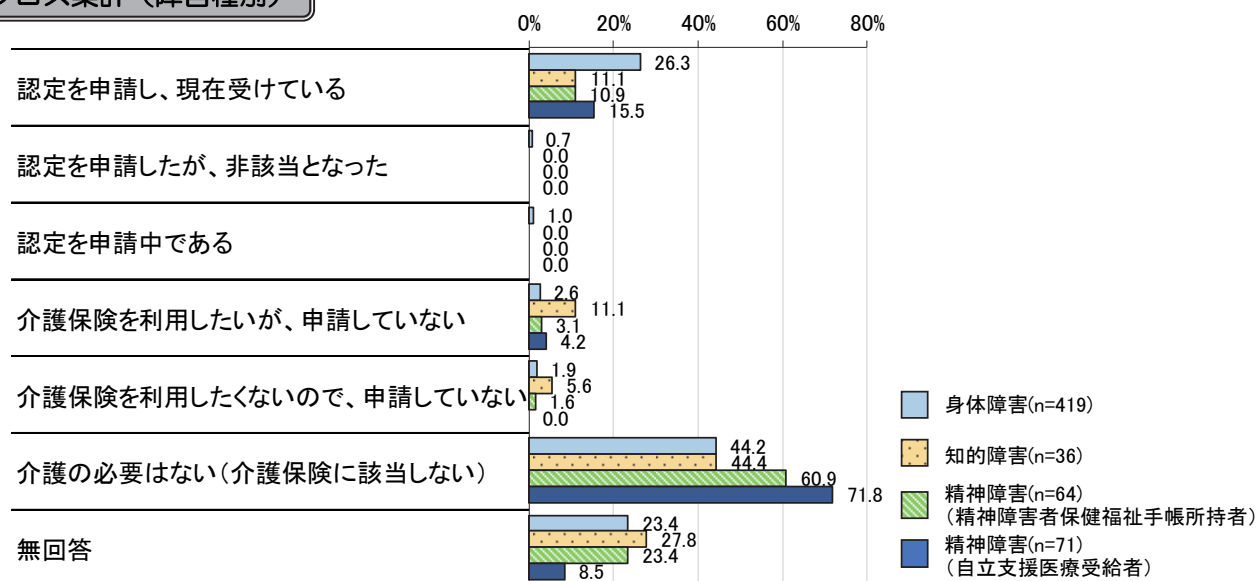
40歳以上の方の介護保険の認定状況をみると、全体では「介護の必要はない」と回答した人が5割近くを占め、「認定を申請し、現在受けている」人が22.4%となっています。

「認定を申請し、現在受けている」人は、身体障害では26.3%、精神障害(自立支援医療受給者)では15.5%を占め、他の障害の人は約1割となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



②要介護度

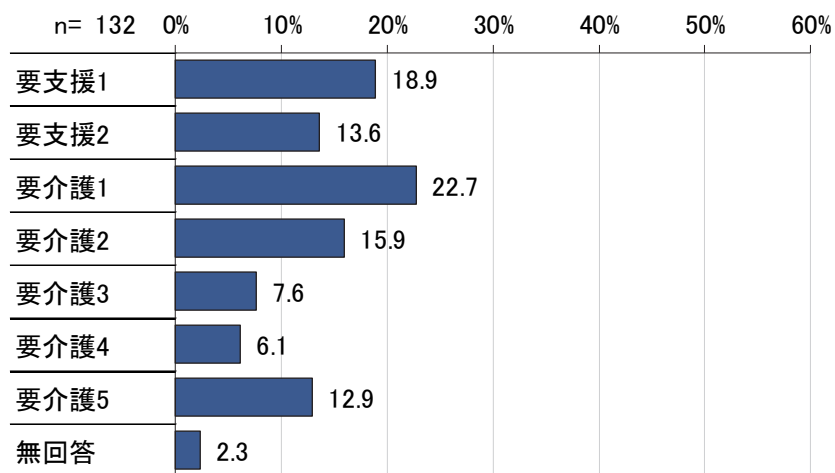
問 16-1 要介護度は次のどれですか

(○はひとつだけ)

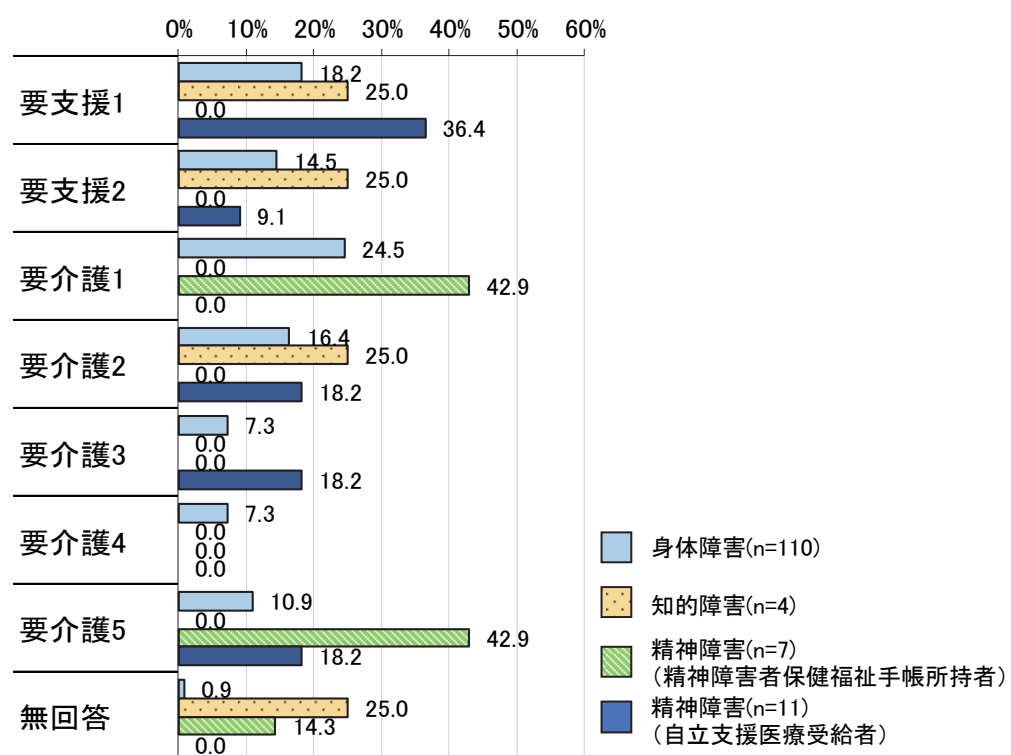
介護認定を申請し、現在受けていると回答した人の要介護度をみると、全体では「要介護1」が22.7%と最も高く、次いで「要支援1」(18.9%)、「要介護2」(15.9%)、「要支援2」(13.6%)となっています。

また、「要支援1」と「要支援2」を合わせると、“要支援”の人が32.5%と3人に1人の割合となっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(16) 日常生活の状況

問 17 日常生活で、次のことをどのようにしていますか

(①～⑩それぞれに、○をひとつずつ)

日常生活の状況をみると、「一人で行える」と回答した人は、全体では①食事、②トイレ、⑥家の中の移動などは8割を超え、③入浴、④衣服の着脱、⑤身だしなみ、⑧家族以外の人との意思疎通、などは7割台となっています。

⑦外出は60.4%で「一部介助が必要」と「全部介助が必要」を合わせた“介助が必要”な人が30.3%と3割を占めています。

身体障害では、①食事、②トイレ、⑥家の中の移動が8割を超え、③入浴、④衣服の着脱、⑤身だしなみ、⑧家族以外の人との意思疎通、⑨お金の管理、⑩薬の管理は7割以上となり、⑦外出は60.1%の人が「一人で行える」としています。

知的障害では、「一人で行える」と回答した人は⑥家の中の移動は8割を超え、①食事、②トイレが7割台、③入浴、④衣服の着脱は6割台となっています。

一方で、⑨お金の管理は46.6%の人、⑩薬の管理は45.2%の人、⑦外出は3割近くの人が「全部介助が必要」としています。

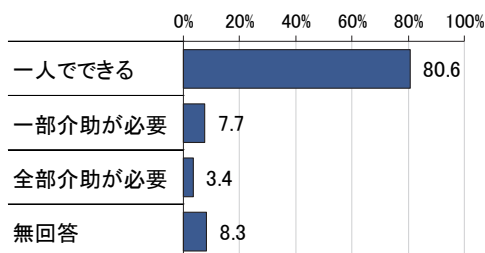
精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では、②トイレ、⑥家の中の移動については8割以上、①食事、③入浴、④衣服の着脱、⑤身だしなみはいずれも7割以上、⑦外出、⑧家族以外の人との意思疎通、⑩薬の管理は6割以上、⑨お金の管理は5割以上の人が「一人で行える」としています。

精神障害(自立支援医療受給者)では、①食事、②トイレ、④衣服の着脱、⑥家の中の移動は8割以上の人が、③入浴、⑤身だしなみ、⑦外出、⑧家族以外の人との意思疎通、⑨お金の管理、⑩薬の管理は7割以上の人が「一人で行える」としています。

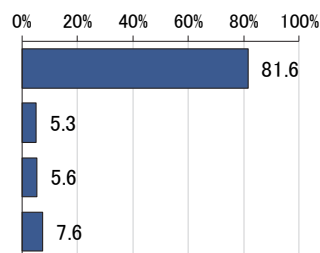
Ⅱ 障害のある人調査結果

全 体

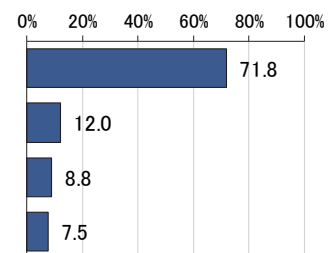
【①食事】



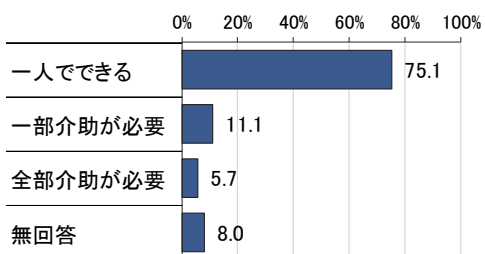
【②トイレ】



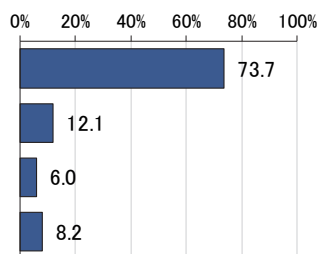
【③入浴】



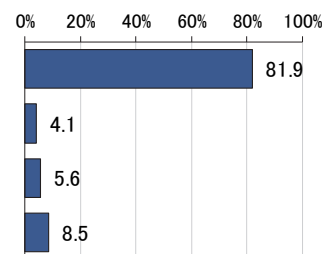
【④衣服の着脱】



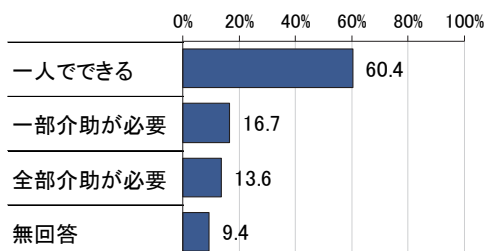
【⑤身だしなみ】



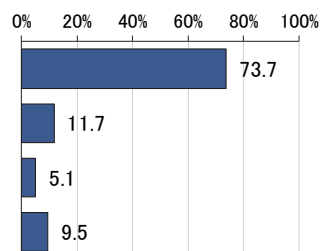
【⑥家の中の移動】



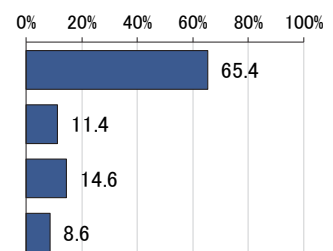
【⑦外出】



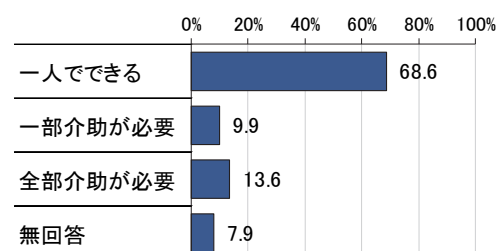
【⑧家族以外の人との
意思疎通】



【⑨お金の管理】



【⑩薬の管理】



クロス集計（障害種別）

(%)

		① 食事	② トイレ	③ 入浴	④ 衣服の着脱	⑤ 身だしなみ	⑥ 家の中の移動	⑦ 外出	⑧ 家族以外の 人との 意思疎通	⑨ お金の管理	⑩ 薬の管理
身体障害 (n=434)	一人でできる	82.9	82.7	71.2	74.2	76.3	81.1	60.1	77.6	72.1	74.7
	一部介助が必要	6.5	4.6	12.4	12.4	10.8	4.6	17.7	9.9	9.0	8.5
	全部介助が必要	2.8	5.5	9.4	5.8	5.3	5.8	13.4	3.2	10.6	9.9
	無回答	7.8	7.1	6.9	7.6	7.6	8.5	8.8	9.2	8.3	6.9
知的障害 (n=73)	一人でできる	76.7	74.0	61.6	69.9	52.1	84.9	45.2	53.4	23.3	27.4
	一部介助が必要	13.7	15.1	27.4	20.5	32.9	5.5	21.9	24.7	26.0	24.7
	全部介助が必要	6.8	8.2	8.2	6.8	11.0	5.5	28.8	16.4	46.6	45.2
	無回答	2.7	2.7	2.7	2.7	4.1	4.1	4.1	5.5	4.1	2.7
保健福祉 手帳所持者 (n=82)	一人でできる	70.7	80.5	75.6	78.0	73.2	80.5	63.4	64.6	58.5	64.6
	一部介助が必要	9.8	1.2	6.1	3.7	8.5	2.4	13.4	15.9	17.1	9.8
	全部介助が必要	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	3.7	6.1	4.9	9.8	9.8
	無回答	14.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	17.1	14.6	14.6	15.9
自立支援 医療受給者 (n=95)	一人でできる	81.1	83.2	78.9	81.1	78.9	84.2	70.5	78.9	72.6	75.8
	一部介助が必要	7.4	4.2	3.2	4.2	5.3	2.1	10.5	6.3	6.3	5.3
	全部介助が必要	2.1	4.2	9.5	5.3	6.3	6.3	9.5	5.3	12.6	9.5
	無回答	9.5	8.4	8.4	9.5	9.5	7.4	9.5	9.5	8.4	9.5

(17)主な介助者

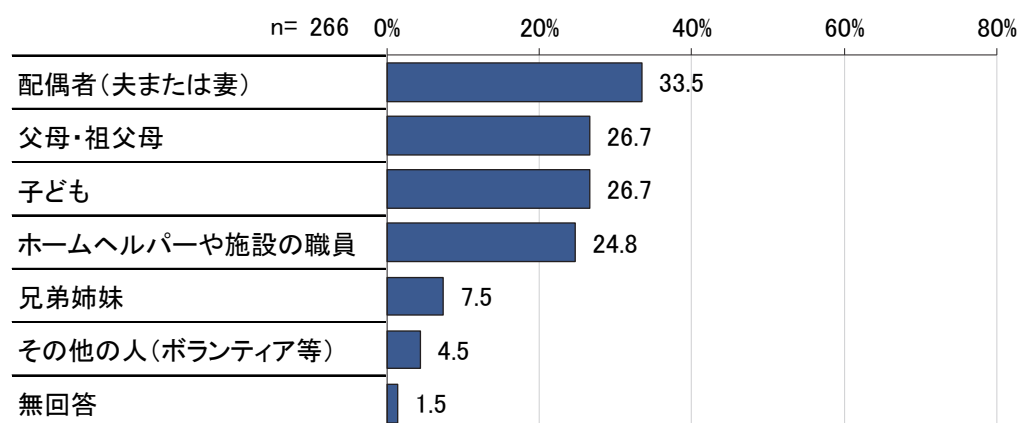
問 18 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか

(〇はいくつでも)

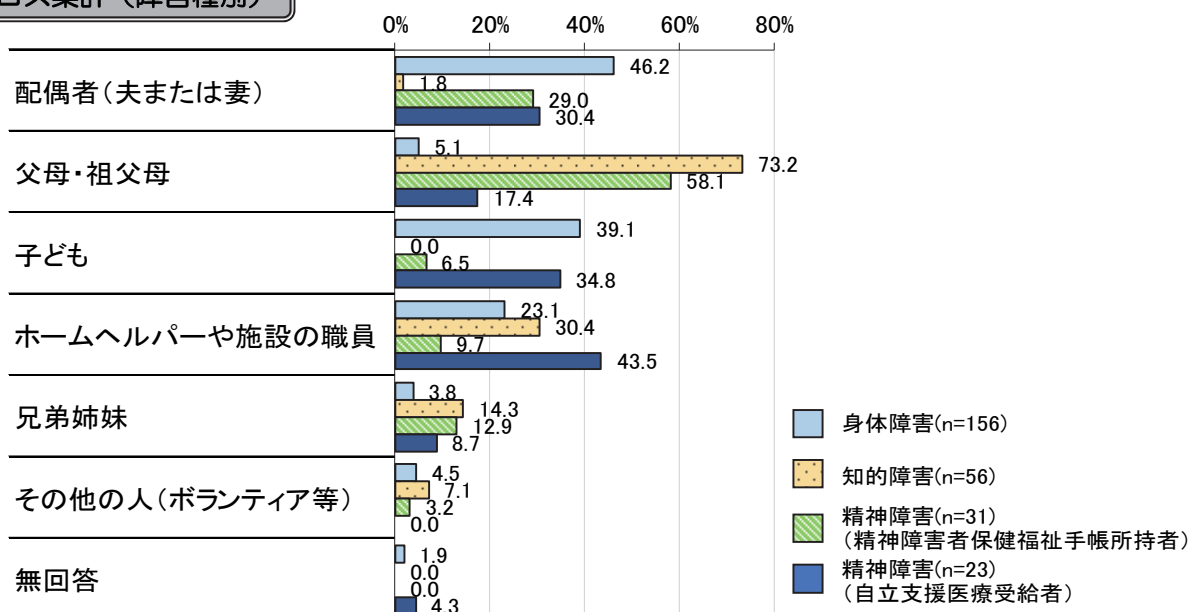
主な介助者をみると、「配偶者」が 33.5%で最も高く、次いで「父母、祖父母」「子ども」(各 26.7%)、「ホームヘルパーや施設の職員」(24.8%)となっています。

障害種別にみると、身体障害では「配偶者」、知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「父母・祖父母」、精神障害(自立支援医療受給者)では「ホームヘルパーや施設の職員」が最も多くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



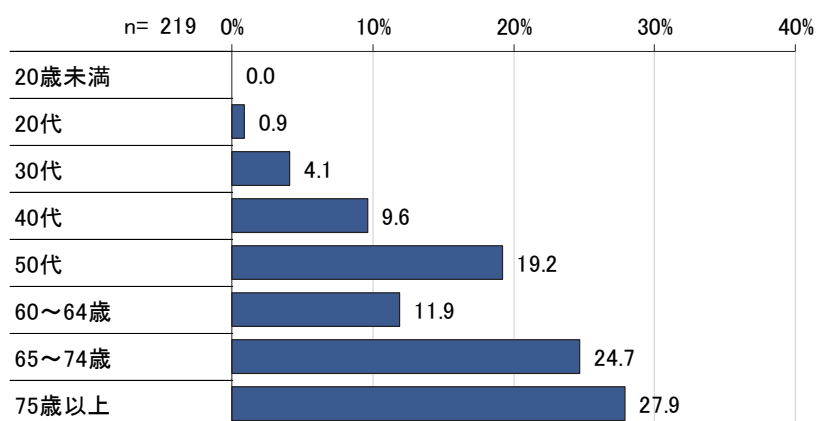
(18)主な介助者の年齢

問 18-1 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢は
おいくつですか

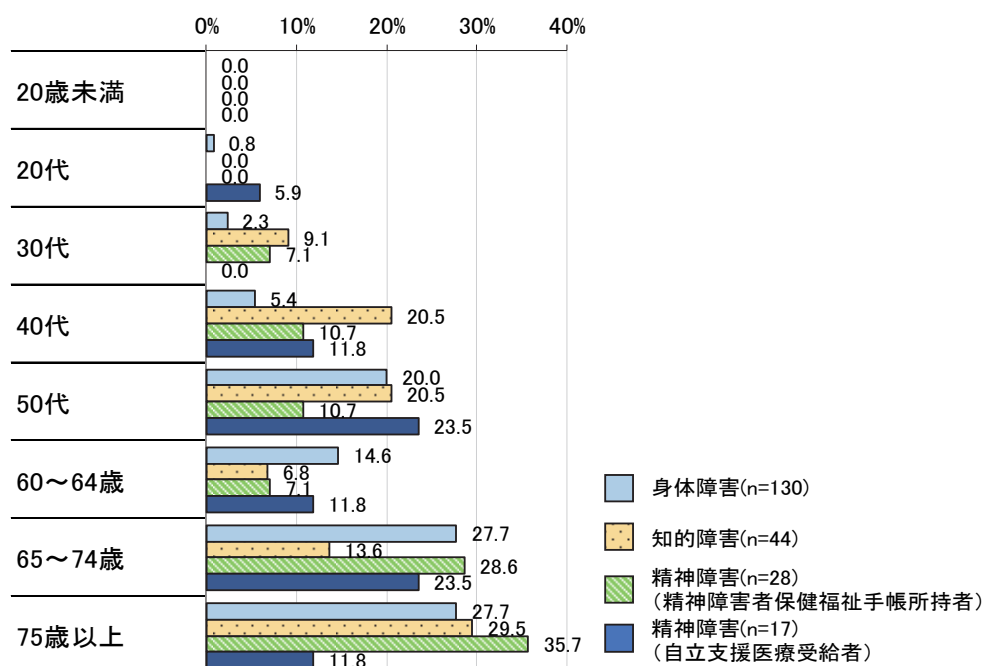
(○はひとつだけ)

介助してくれる家族の中で特に中心となっている人の年齢は、「65～74 歳」と「75 歳以上」を合わせた『65 歳以上』の割合が多く、身体障害で約5割以上、知的障害で4割、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)で6割、精神障害(自立支援医療受給者)でも3割を超えています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



2 住まいや生活について

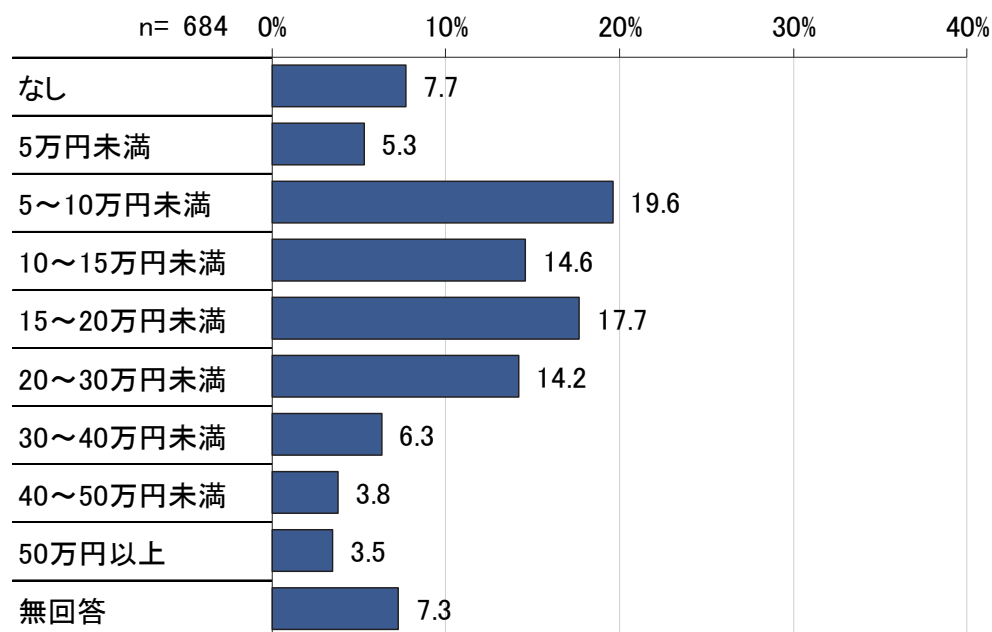
(1) 月収

問 19 月の収入はいくらですか。(年金や手当を含む)

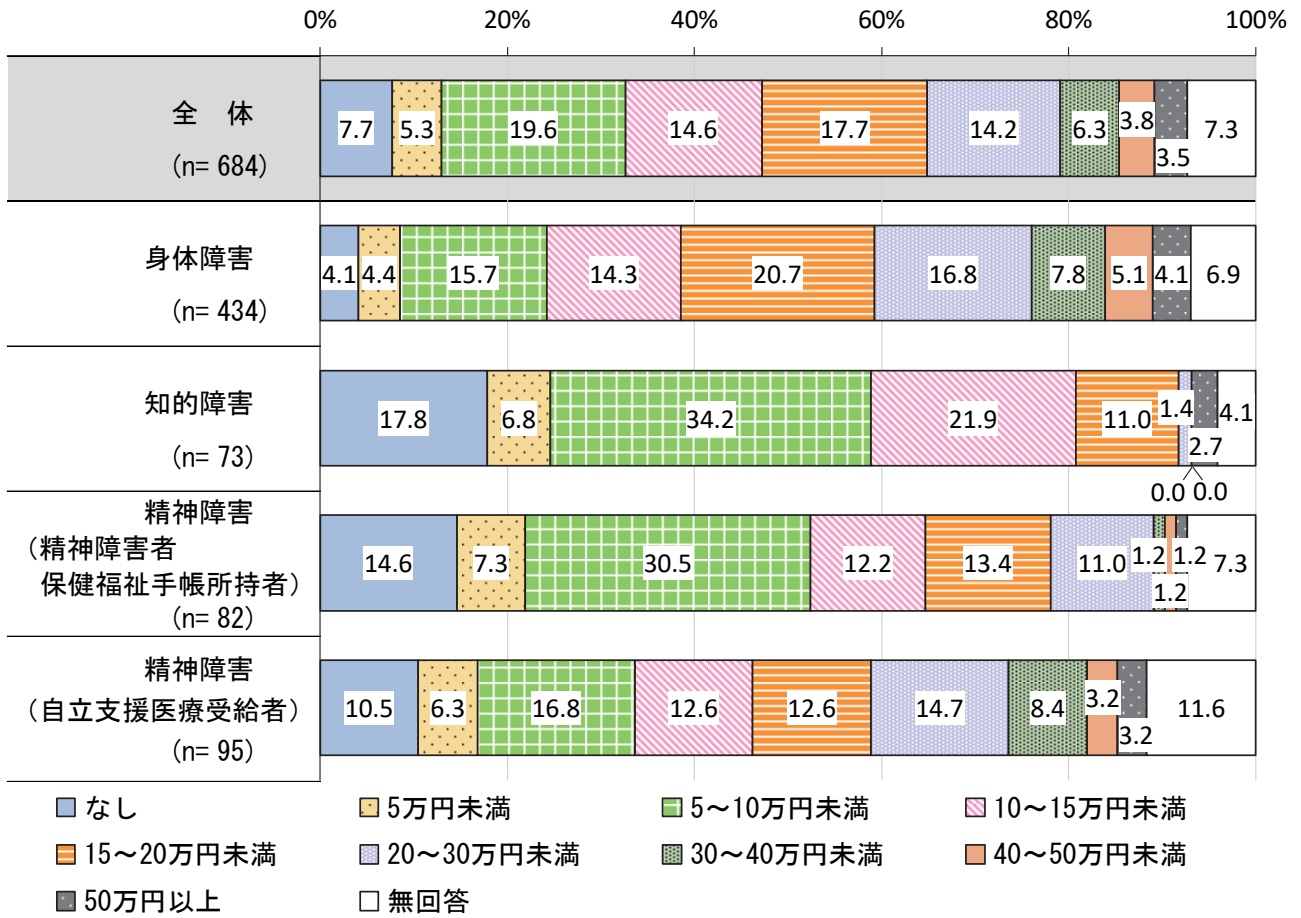
(○はひとつだけ)

身体障害では「15～20 万円未満」が約2割。知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)では「5～10 万円未満」が多く、知的障害では「なし」という回答が 17.8%となっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(2) 暮らしの状況

①現在の暮らし

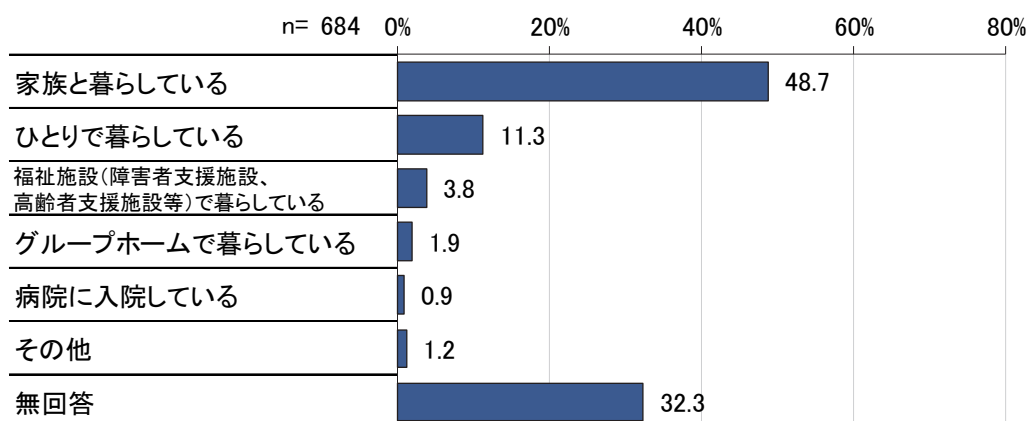
問 20 現在どのように暮らしていますか

(○はひとつだけ)

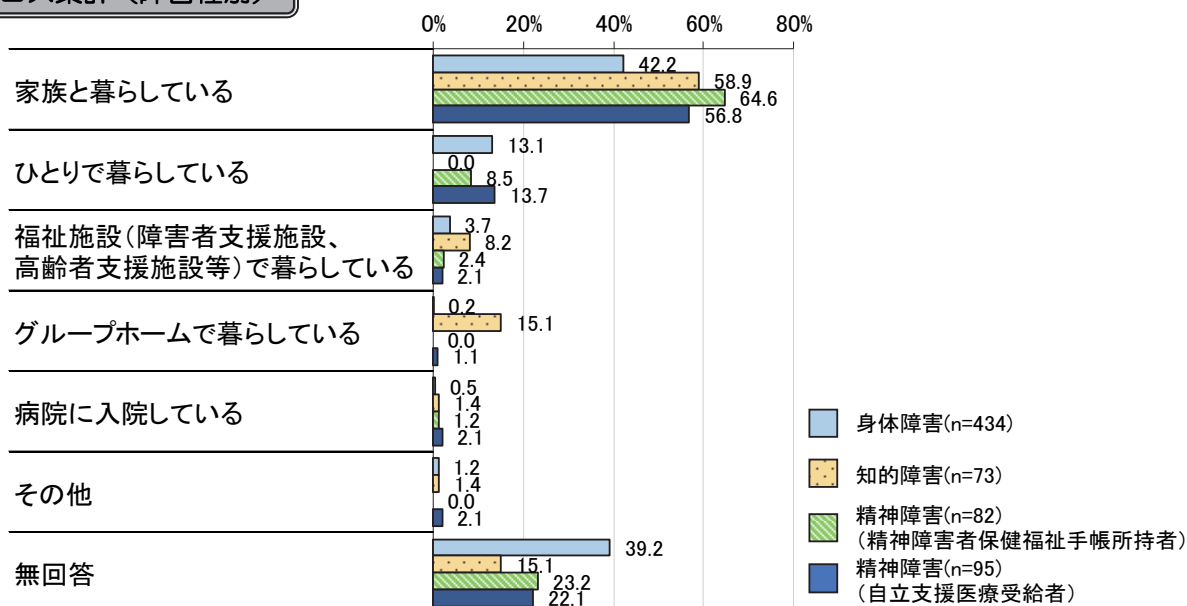
現在どのように暮らしているかについては、全体では「家族と暮らしている」人が5割近くを占め、「ひとりで暮らしている」人は11.3%となっています。

障害種別にみると、身体障害、精神障害(自立支援医療受給者)では「ひとりで暮らしている」人、知的障害では「グループホームで暮らしている」人、「福祉施設で暮らしている」人の割合が他の障害種別に比べてやや高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



②同居者

問 20 【2. 家族と暮らしている】一緒に暮らしている方

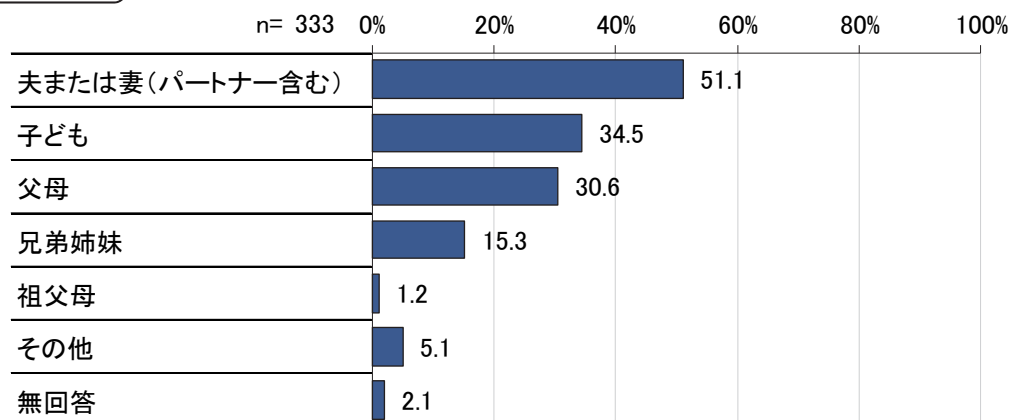
(暮らしている方すべてに○)

現在、家族と暮らしている人の同居者は、身体障害の人は「夫または妻(パートナー含む)」が66.1%で最も高く、次いで「子ども」が43.2%となっています。

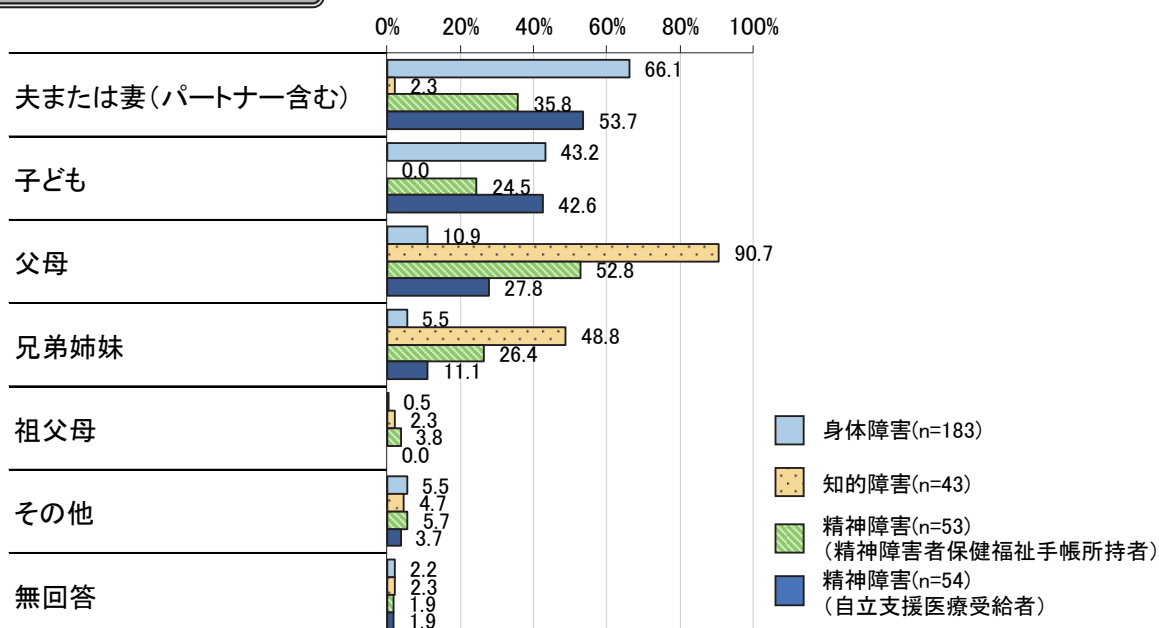
知的障害の人は「父母」が90.7%、「兄弟姉妹」が48.8%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)も「父母」が52.8%で最も高くなっています。

精神障害(自立支援医療受給者)では「夫または妻(パートナー含む)」が53.7%、「子ども」が42.6%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(3)地域での生活意向

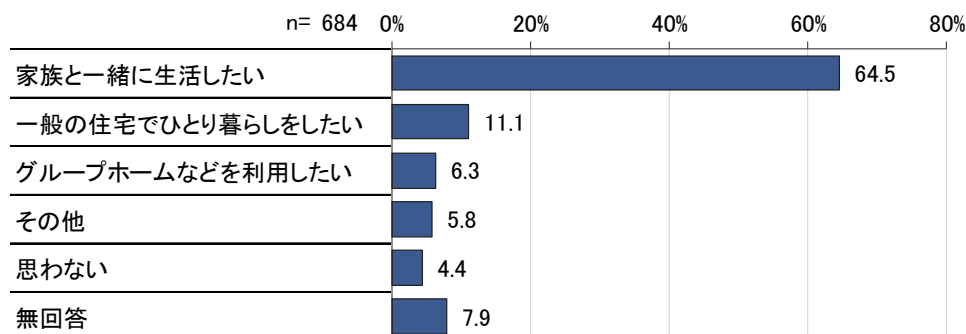
問 21 将来、現在暮らしている地域で生活したいと思いますか

(○はひとつだけ)

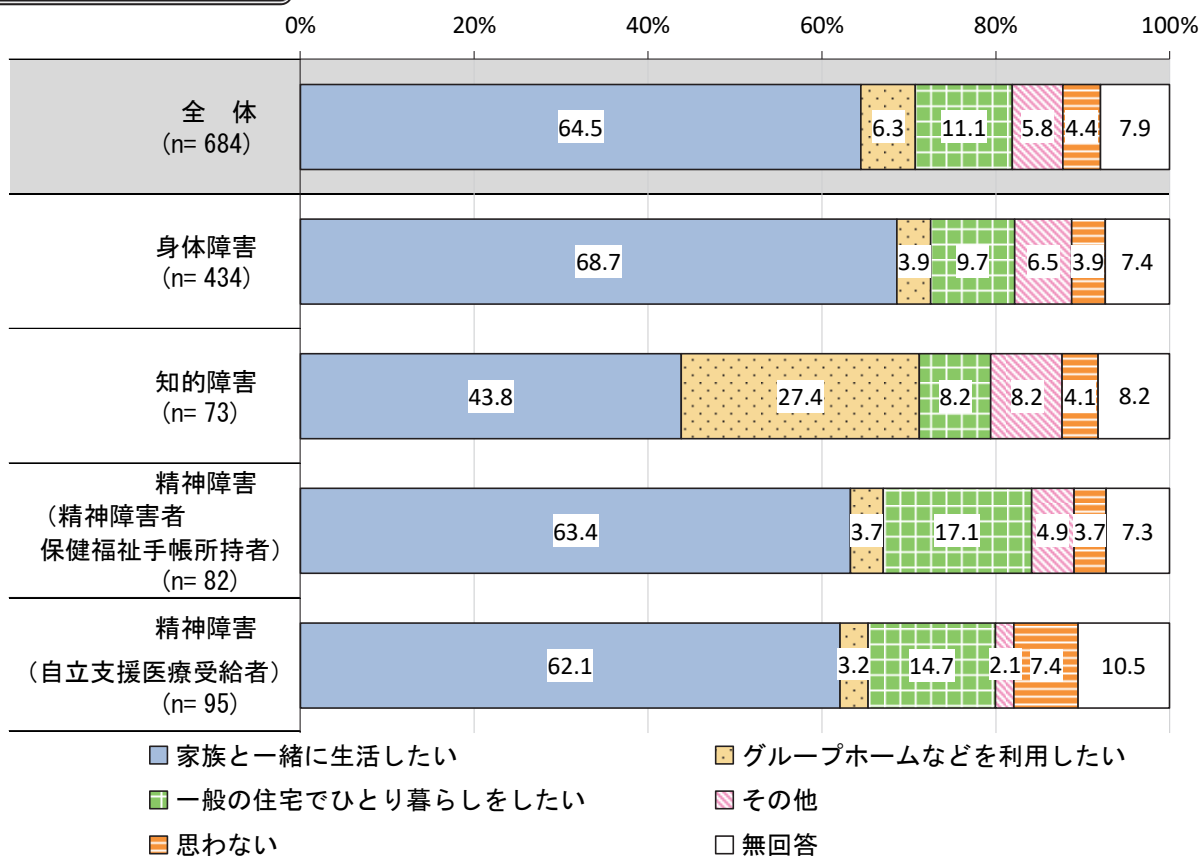
将来、地域で生活したいと思うかを聞いたところ、全体では「家族と一緒に生活したい」と回答した人が6割以上を占め、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が11.1%、他の項目は1割を下回っています。

障害種別にみると、いずれの障害においても、将来も「家族と一緒に暮らしたい」という意向が強いものの、知的障害では「グループホームなどを利用したい」、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」という回答も少なくありません。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(4) 地域で生活するための支援

問 22 施設や病院ではなく、現在暮らしている地域で生活するためには、
どのような支援があればよいと思いますか

(〇はいくつでも)

施設や病院ではなく、地域で生活するために、あればよいと思う支援としては、全体では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 46.9%で最も高く、次いで「経済的な負担の軽減」(45.6%)、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」(42.5%)となっています。

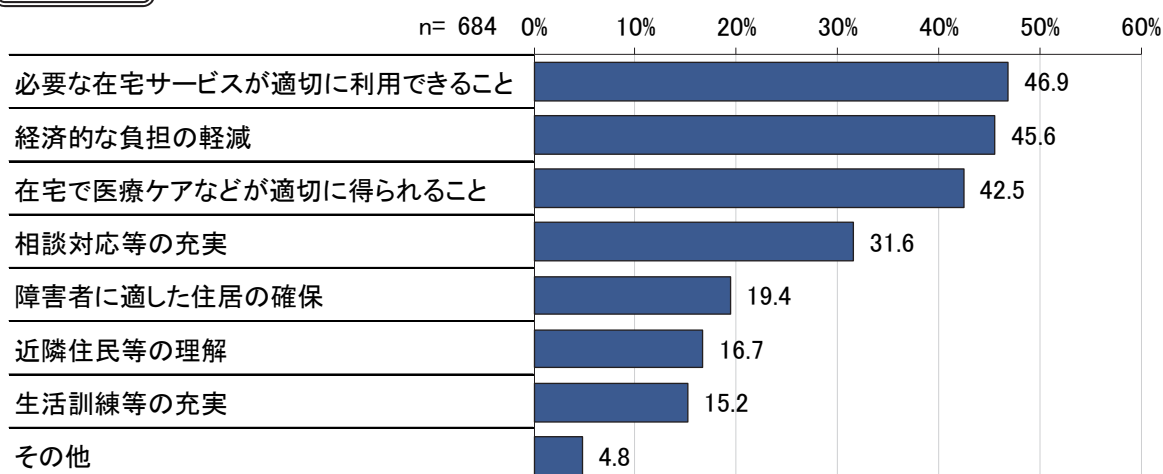
障害種別にみると、「経済的な負担の軽減」と回答した人が精神障害(自立支援医療受給者)(58.9%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)(57.3%)、知的障害(45.2%)で大きな割合を占めており、身体障害では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(50.5%)、知的障害では「近隣住民等の理解」(43.8%)、「障害者に適した住居の確保」(35.6%)をあげる人の割合が他の障害種別に比べて高くなっています。

年齢別にみると、身体障害の 18～64 歳では「経済的な負担の軽減」(56.4%)、65 歳以上では「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」(53.3%)、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(52.7%)をあげる人の割合が高くなっています。

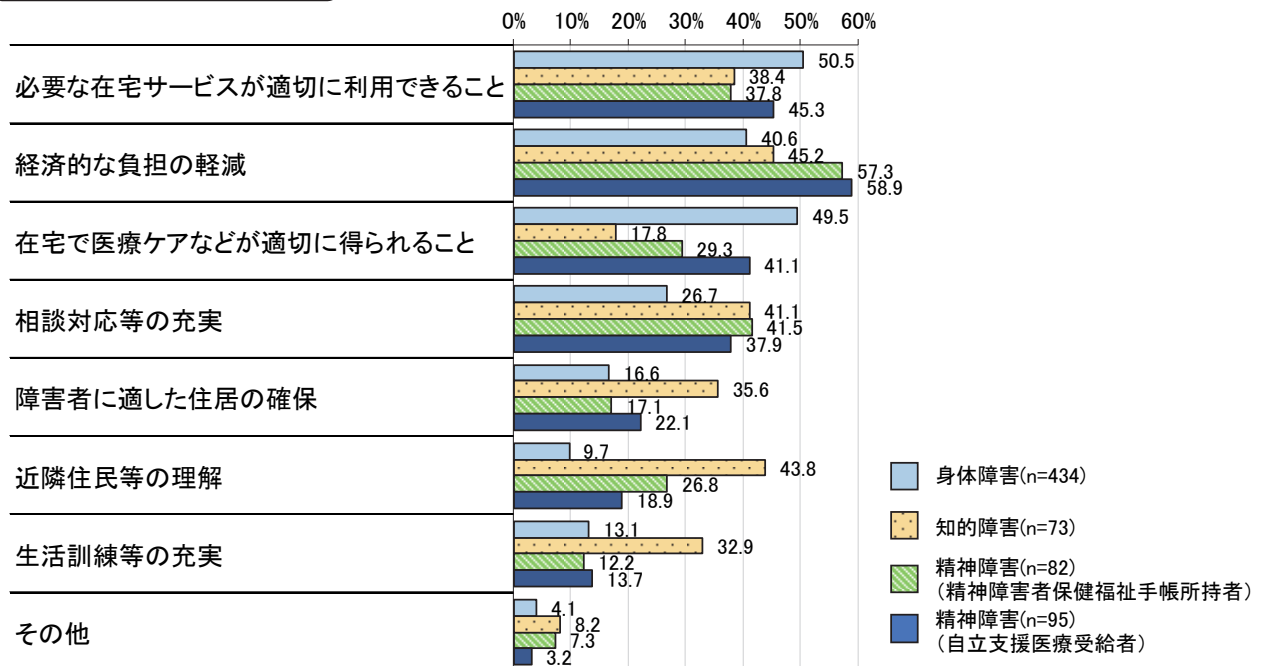
知的障害の 18 歳未満では「地域住民等の理解」(71.4%)、18～64 歳では「経済的な負担の軽減」(42.9%)、65 歳以上では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(66.7%)と回答された人が多くなっています。

精神障害(自立支援医療受給者)の 18～64 歳では「経済的な負担の軽減」(73.9%)、65 歳以上では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(58.6%)と回答された人の割合が高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	必要な在宅サービスが適切に利用できること	経済的な負担の軽減	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	相談対応等の充実	障害者に適した住居の確保	近隣住民等の理解
全体	434 人	50.5%	40.6%	49.5%	26.7%	16.6%	9.7%
18 歳未満	4 人	25.0%	100.0%	25.0%	75.0%	25.0%	50.0%
18～64 歳	78 人	42.3%	56.4%	33.3%	33.3%	34.6%	15.4%
65 歳以上	351 人	52.7%	36.5%	53.3%	24.8%	12.5%	8.0%
	n	生活訓練等の充実	その他	無回答			
全体	434 人	13.1%	4.1%	13.1%			
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	0.0%			
18～64 歳	78 人	12.8%	3.8%	12.8%			
65 歳以上	351 人	13.4%	4.3%	13.4%			

【知的障害・年齢別】

	n	必要な在宅サービスが適切に利用できること	経済的な負担の軽減	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	相談対応等の充実	障害者に適した住居の確保	近隣住民等の理解
全体	73 人	38.4%	45.2%	17.8%	41.1%	35.6%	43.8%
18 歳未満	14 人	42.9%	57.1%	0.0%	64.3%	28.6%	71.4%
18～64 歳	56 人	35.7%	42.9%	23.2%	35.7%	37.5%	39.3%
65 歳以上	3 人	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	n	生活訓練等の充実	その他	無回答			
全体	73 人	32.9%	8.2%	11.0%			
18 歳未満	14 人	64.3%	7.1%	0.0%			
18～64 歳	56 人	26.8%	8.9%	12.5%			
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	33.3%			

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	必要な在宅サービスが適切に利用できること	経済的な負担の軽減	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	相談対応等の充実	障害者に適した住居の確保	近隣住民等の理解
全体	82 人	37.8%	57.3%	29.3%	41.5%	17.1%	26.8%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	35.0%	70.0%	26.7%	48.3%	16.7%	26.7%
65 歳以上	21 人	47.6%	23.8%	38.1%	23.8%	14.3%	28.6%
	n	生活訓練等の充実	その他	無回答			
全体	82 人	12.2%	7.3%	8.5%			
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%			
18～64 歳	60 人	11.7%	6.7%	8.3%			
65 歳以上	21 人	9.5%	9.5%	9.5%			

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	必要な在宅サービスが適切に利用できること	経済的な負担の軽減	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	相談対応等の充実	障害者に適した住居の確保	近隣住民等の理解
全体	95 人	45.3%	58.9%	41.1%	37.9%	22.1%	18.9%
18 歳未満	1 人	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	43.5%	73.9%	37.0%	52.2%	28.3%	28.3%
65 歳以上	29 人	58.6%	41.4%	51.7%	31.0%	6.9%	10.3%
	n	生活訓練等の充実	その他	無回答			
全体	95 人	13.7%	3.2%	13.7%			
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%			
18～64 歳	46 人	13.0%	4.3%	8.7%			
65 歳以上	29 人	17.2%	0.0%	13.8%			

(5)5年後の過ごし方

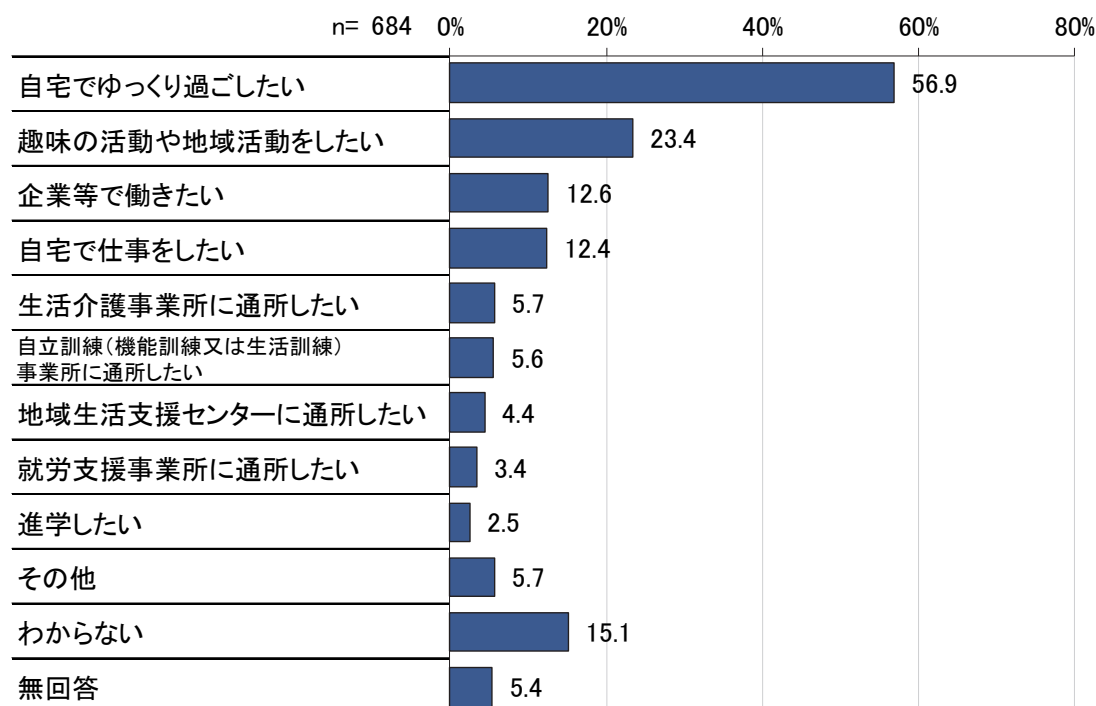
問 23 5年後、どのように過ごしたいですか

(〇は3つまで)

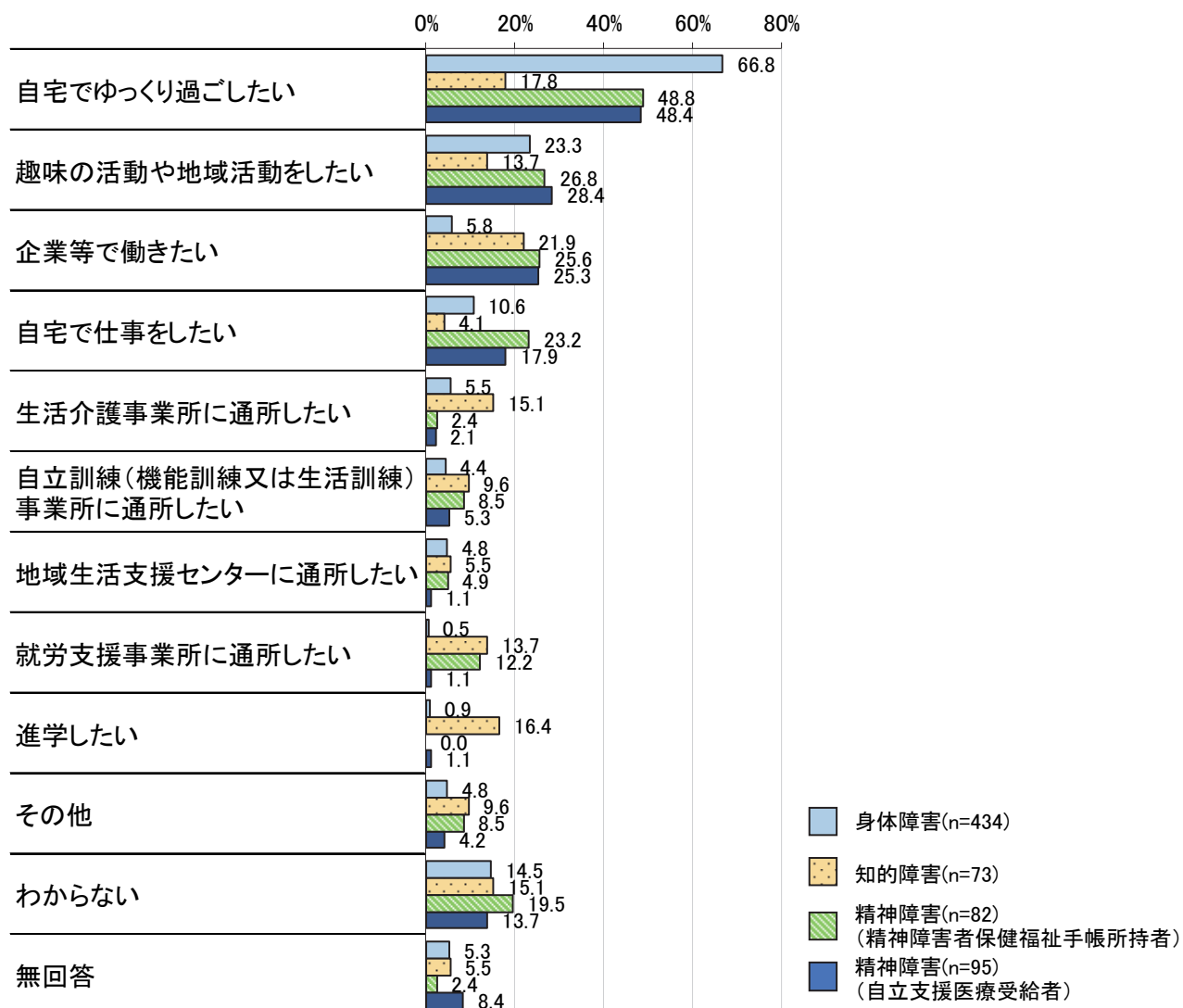
5年後、どのように暮らしたいかを聞いたところ、全体では「自宅でゆっくり過ごしたい」が56.9%で最も高く、次いで「趣味の活動や地域活動をしたい」(23.4%)となっています。

障害種別にみると、回答者に高齢者が多いこともあり、身体障害では「自宅でゆっくり過ごしたい」が6割台半ばを超えています。精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)では「企業等で働きたい」が25%以上を占めています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	自宅でゆっくり 過ごしたい	趣味の活動や 地域活動をし たい	企業等で働き たい	自宅で仕事を したい	生活介護事 業所に通所し たい	自立訓練事 業所に通所し たい
全体	434 人	66.8%	23.3%	5.8%	10.6%	5.5%	4.4%
18 歳未満	4 人	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	60.3%	29.5%	21.8%	24.4%	0.0%	2.6%
65 歳以上	351 人	68.7%	21.9%	2.0%	7.7%	6.8%	4.8%
	n	地域生活支 援センターに通 所したい	就労支援事 業所に通所し たい	進学したい	その他	わからない	無回答
全体	434 人	4.8%	0.5%	0.9%	4.8%	14.5%	5.3%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	6.4%	0.0%	1.3%	10.3%	14.1%	1.3%
65 歳以上	351 人	4.6%	0.6%	0.0%	3.7%	14.8%	6.3%

【知的障害・年齢別】

	n	自宅でゆっくり 過ごしたい	趣味の活動や 地域活動をし たい	企業等で働き たい	自宅で仕事を したい	生活介護事 業所に通所し たい	自立訓練事 業所に通所し たい
全体	73 人	17.8%	13.7%	21.9%	4.1%	15.1%	9.6%
18 歳未満	14 人	0.0%	21.4%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%
18～64 歳	56 人	21.4%	12.5%	25.0%	5.4%	16.1%	10.7%
65 歳以上	3 人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	n	地域生活支 援センターに通 所したい	就労支援事 業所に通所し たい	進学したい	その他	わからない	無回答
全体	73 人	5.5%	13.7%	16.4%	9.6%	15.1%	5.5%
18 歳未満	14 人	0.0%	14.3%	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%
18～64 歳	56 人	7.1%	14.3%	3.6%	5.4%	16.1%	7.1%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	自宅でゆっくり 過ごしたい	趣味の活動や 地域活動をし たい	企業等で働き たい	自宅で仕事を したい	生活介護事 業所に通所し たい	自立訓練事 業所に通所し たい
全体	82 人	48.8%	26.8%	25.6%	23.2%	2.4%	8.5%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	41.7%	33.3%	35.0%	30.0%	0.0%	10.0%
65 歳以上	21 人	71.4%	9.5%	0.0%	4.8%	9.5%	0.0%
	n	地域生活支 援センターに通 所したい	就労支援事 業所に通所し たい	進学したい	その他	わからない	無回答
全体	82 人	4.9%	12.2%	0.0%	8.5%	19.5%	2.4%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	5.0%	13.3%	0.0%	10.0%	21.7%	3.3%
65 歳以上	21 人	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	14.3%	0.0%

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	自宅でゆっくり 過ごしたい	趣味の活動や 地域活動をし たい	企業等で働き たい	自宅で仕事を したい	生活介護事 業所に通所し たい	自立訓練事 業所に通所し たい
全体	95 人	48.4%	28.4%	25.3%	17.9%	2.1%	5.3%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	37.0%	41.3%	47.8%	26.1%	0.0%	0.0%
65 歳以上	29 人	65.5%	20.7%	3.4%	6.9%	3.4%	10.3%
	n	地域生活支 援センターに通 所したい	就労支援事 業所に通所し たい	進学したい	その他	わからない	無回答
全体	95 人	1.1%	1.1%	1.1%	4.2%	13.7%	8.4%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	0.0%	2.2%	0.0%	4.3%	10.9%	4.3%
65 歳以上	29 人	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	13.8%	10.3%

(6) 日常生活における困りごとや不安に思うこと

問 24 普段の生活で、特に困ったり不安に思っていることは何ですか

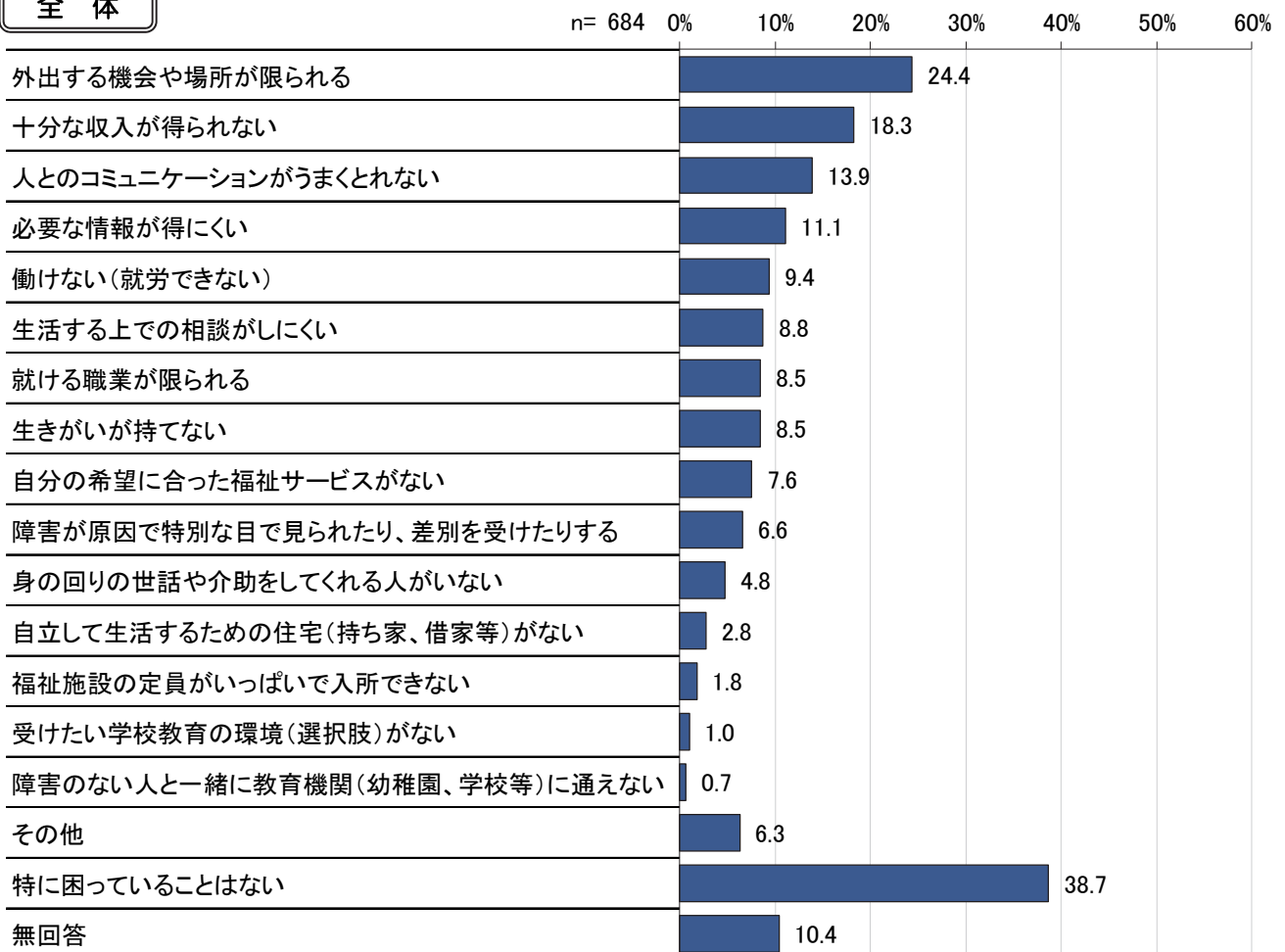
(〇はいくつでも)

普段の生活で特に困ったり、不安に思っていることは、「特に困っていることはない」との回答が 38.7%で最も多く、身体障害では 46.3%と5割近くを占めています。

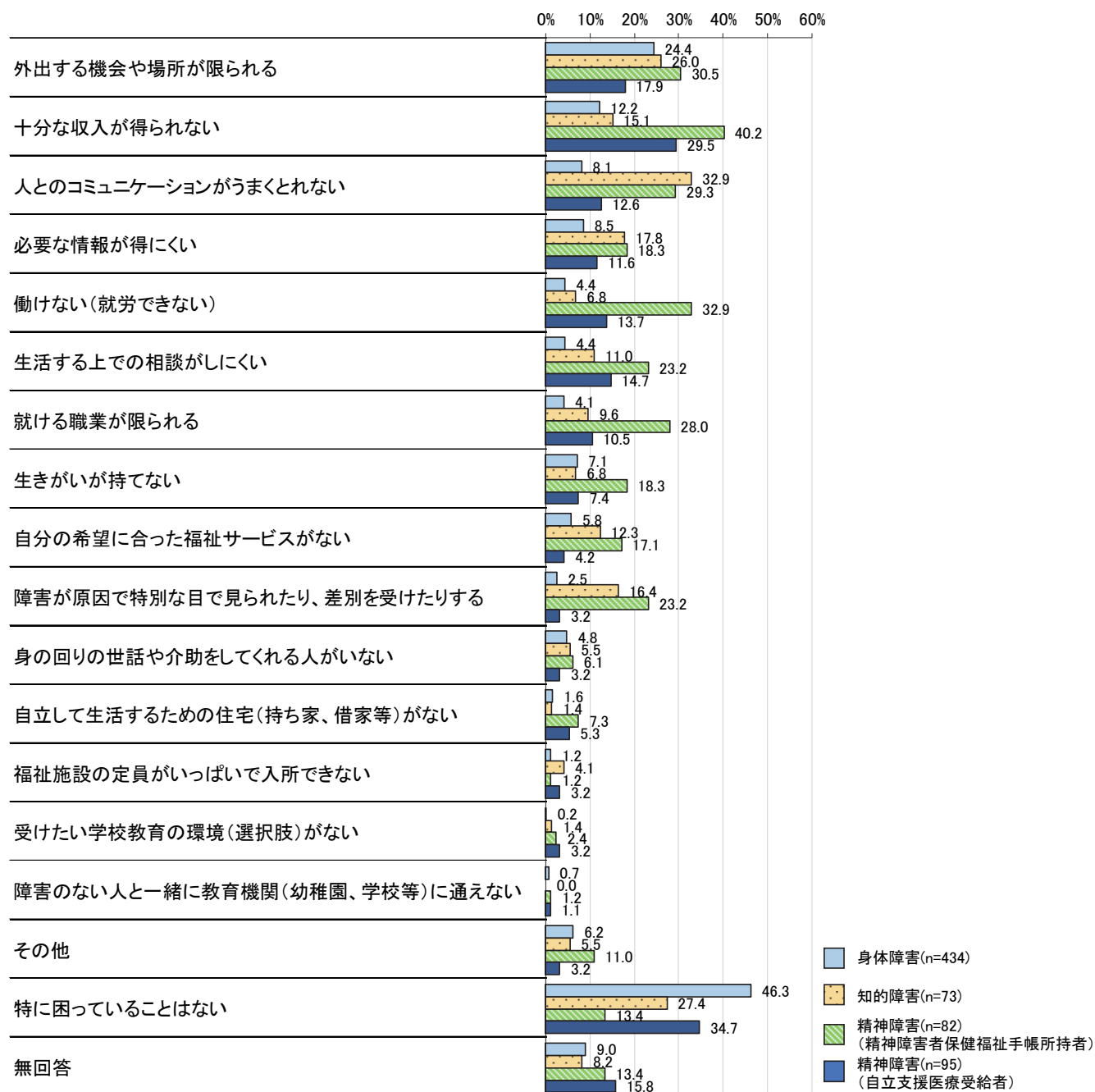
困りごとや不安に思うこととしては、全体では「外出する機会や場所が限られる」が 24.4%で最も高く、次いで「十分な収入が得られない」が 18.3%、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が 13.9%となっています。

障害種別にみると、身体障害では「外出する機会や場所が限られる」(24.4%)を、精神障害(自立支援医療受給者)では「十分な収入が得られない」(29.5%)をあげる人が最も高くなっています。知的障害では「人とのコミュニケーションがうまくとれない」(32.9%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「十分な収入が得られない」(40.2%)、「働けない(就労できない)」(32.9%)、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」(29.3%)をあげる人の割合が他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	外出する機会 や場所が限ら れる	十分な収入が 得られない	人とのコミュニ ケーションがうまく とれない	必要な情報が 得にくい	働けない（就 労できない）	生活する上で の相談がしにく い
全体	434 人	24.4%	12.2%	8.1%	8.5%	4.4%	4.4%
18 歳未満	4 人	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
18～64 歳	78 人	25.6%	32.1%	7.7%	15.4%	15.4%	9.0%
65 歳以上	351 人	24.5%	7.7%	8.0%	6.6%	2.0%	3.1%
	n	就ける職業が 限られる	生きがいを持 てない	自分の希望に 合った福祉サ ービスがない	障害が原因で 特別な目で見 られたり、差別 を受けたりする	身の回りの世 話や介助をし てくれる人がい ない	自立して生活 するための住 宅（持ち家、 借家等）がな い
全体	434 人	4.1%	7.1%	5.8%	2.5%	4.8%	1.6%
18 歳未満	4 人	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	14.1%	6.4%	9.0%	10.3%	1.3%	5.1%
65 歳以上	351 人	1.7%	7.4%	4.8%	0.9%	5.7%	0.9%
	n	福祉施設の定 員がいっぱいで 入所できない	受けたい学校 教育の環境 （選択肢）が ない	障害のない人 と一緒に教育 機関（幼稚 園、学校等） に通えない	その他	特に困っている ことはない	無回答
全体	434 人	1.2%	0.2%	0.7%	6.2%	46.3%	9.0%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
18～64 歳	78 人	1.3%	1.3%	1.3%	6.4%	34.6%	3.8%
65 歳以上	351 人	1.1%	0.0%	0.3%	6.3%	49.0%	10.0%

普段の生活で、特に困ったり不安に思っていることとしては、身体障害の 65 歳以上では全体同様「外出する機会や場所が限られる」、18 歳未満では「必要な情報が得にくい」、18～64 歳では「十分な収入が得られない」との回答が最も高くなっています。

【知的障害・年齢別】

	n	外出する機会 や場所が限ら れる	十分な収入が 得られない	人とのコミュニ ケーションがうまくとれない	必要な情報が 得にくい	働けない（就 労できない）	生活する上で の相談がしにく い
全体	73 人	26.0%	15.1%	32.9%	17.8%	6.8%	11.0%
18 歳未満	14 人	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	21.4%
18～64 歳	56 人	28.6%	17.9%	35.7%	16.1%	8.9%	8.9%
65 歳以上	3 人	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	n	就ける職業が 限られる	生きがいを持 てない	自分の希望に 合った福祉サ ービスがない	障害が原因で 特別な目で見 られたり、差別 を受けたりする	身の回りの世 話や介助をし てくれる人がい ない	自立して生活 するための住 宅（持ち家、 借家等）がな い
全体	73 人	9.6%	6.8%	12.3%	16.4%	5.5%	1.4%
18 歳未満	14 人	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
18～64 歳	56 人	10.7%	7.1%	10.7%	17.9%	5.4%	1.8%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	n	福祉施設の定 員がいっぱいで 入所できない	受けたい学校 教育の環境 （選択肢）が ない	障害のない人 と一緒に教育 機関（幼稚 園、学校等） に通えない	その他	特に困っている ことはない	無回答
全体	73 人	4.1%	1.4%	0.0%	5.5%	27.4%	8.2%
18 歳未満	14 人	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
18～64 歳	56 人	5.4%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	10.7%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%

普段の生活で、特に困ったり不安に思っていることとしては、知的障害の 18 歳未満では「必要な情報が得にくい」「人とのコミュニケーションがうまくとれない」、18～64 歳でも「人とのコミュニケーションがうまくとれない」との回答が最も高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	外出する機会 や場所が限ら れる	十分な収入が 得られない	人とのコミュニ ケーションがうま くとれない	必要な情報が 得にくい	働けない（就 労できない）	生活する上で の相談がしにく い
全体	82 人	30.5%	40.2%	29.3%	18.3%	32.9%	23.2%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	30.0%	48.3%	35.0%	21.7%	40.0%	30.0%
65 歳以上	21 人	33.3%	19.0%	14.3%	9.5%	14.3%	4.8%
	n	就ける職業が 限られる	生きがいを持 てない	自分の希望に 合った福祉サ ービスがない	障害が原因で 特別な目で見 られたり、差別 を受けたりする	身の回りの世 話や介助をし てくれる人がい ない	自立して生活 するための住 宅（持ち家、 借家等）がな い
全体	82 人	28.0%	18.3%	17.1%	23.2%	6.1%	7.3%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	36.7%	21.7%	20.0%	30.0%	8.3%	8.3%
65 歳以上	21 人	4.8%	9.5%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%
	n	福祉施設の定 員がいっぱいで 入所できない	受けたい学校 教育の環境 （選択肢）が ない	障害のない人 と一緒に教育 機関（幼稚 園、学校等） に通えない	その他	特に困っている ことはない	無回答
全体	82 人	1.2%	2.4%	1.2%	11.0%	13.4%	13.4%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	1.7%	3.3%	1.7%	13.3%	8.3%	8.3%
65 歳以上	21 人	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	28.6%	23.8%

普段の生活で、特に困ったり不安に思っていることとしては、精神障害（精神障害者保健福祉手帳所持者）の 18～64 歳では、「十分な収入が得られない」、「働けない（就労できない）」をあげる人の割合が4割以上を占め、65 歳以上に比べて高いのが目立ちます。

65 歳以上では、「外出する機会や場所が限られる」が最も高くなっています。

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	外出する機会 や場所が限ら れる	十分な収入が 得られない	人とのコミュニ ケーションがうまく とれない	必要な情報が 得にくい	働けない（就 労できない）	生活する上で の相談がしにく い
全体	95 人	17.9%	29.5%	12.6%	11.6%	13.7%	14.7%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	17.4%	43.5%	19.6%	17.4%	21.7%	19.6%
65 歳以上	29 人	20.7%	20.7%	6.9%	10.3%	6.9%	13.8%
	n	就ける職業が 限られる	生きがいを持 てない	自分の希望に 合った福祉サ ービスがない	障害が原因で 特別な目で見 られたり、差別 を受けたりする	身の回りの世 話や介助をし てくれる人がい ない	自立して生活 するための住 宅（持ち家、 借家等）がな い
全体	95 人	10.5%	7.4%	4.2%	3.2%	3.2%	5.3%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	15.2%	10.9%	6.5%	6.5%	2.2%	10.9%
65 歳以上	29 人	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%
	n	福祉施設の定 員がいっぱいで 入所できない	受けたい学校 教育の環境 （選択肢）が ない	障害のない人 と一緒に教育 機関（幼稚 園、学校等） に通えない	その他	特に困っている ことはない	無回答
全体	95 人	3.2%	3.2%	1.1%	3.2%	34.7%	15.8%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	4.3%	2.2%	2.2%	4.3%	30.4%	6.5%
65 歳以上	29 人	3.4%	6.9%	0.0%	0.0%	37.9%	17.2%

普段の生活で、特に困ったり不安に思っていることとしては、精神障害（自立支援医療受給者）の 18～64 歳では「十分な収入が得られない」との回答が最も高く、65 歳以上では、「外出する機会や場所が限られる」「十分な収入が得られない」が高くなっています。

3 日中活動や就労・通園・通学について

(1) 外出頻度

問 25 1 週間にどの程度外出しますか

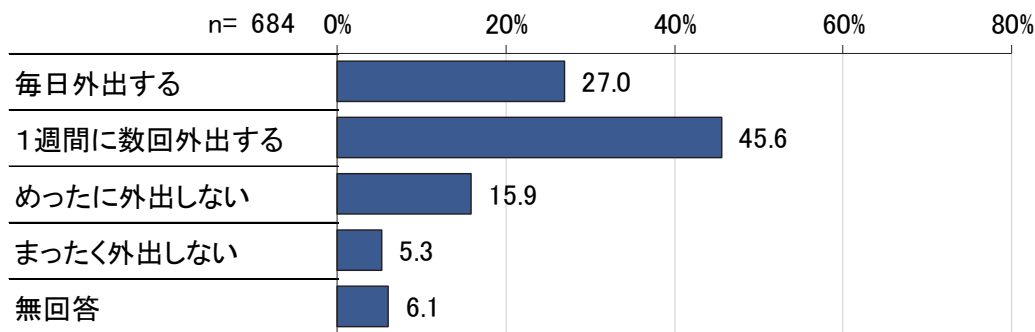
(○はひとつだけ)

外出の頻度をみると、全体では「1週間に数回外出する」人が4割以上を占め、「毎日外出する」人は27.0%と4人に1人以上の割合となっています。

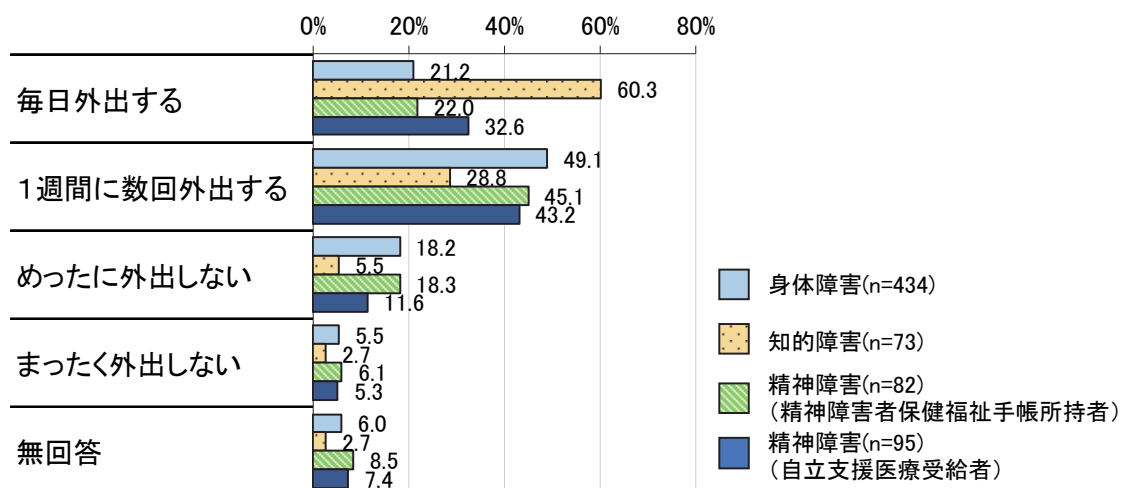
一方、「めったに外出しない」人は15.9%、「まったく外出しない」人は5.3%となっています。

障害種別にみると、知的障害では「毎日外出する」と回答した人の割合が6割を超え、他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(2)外出の際の同伴者

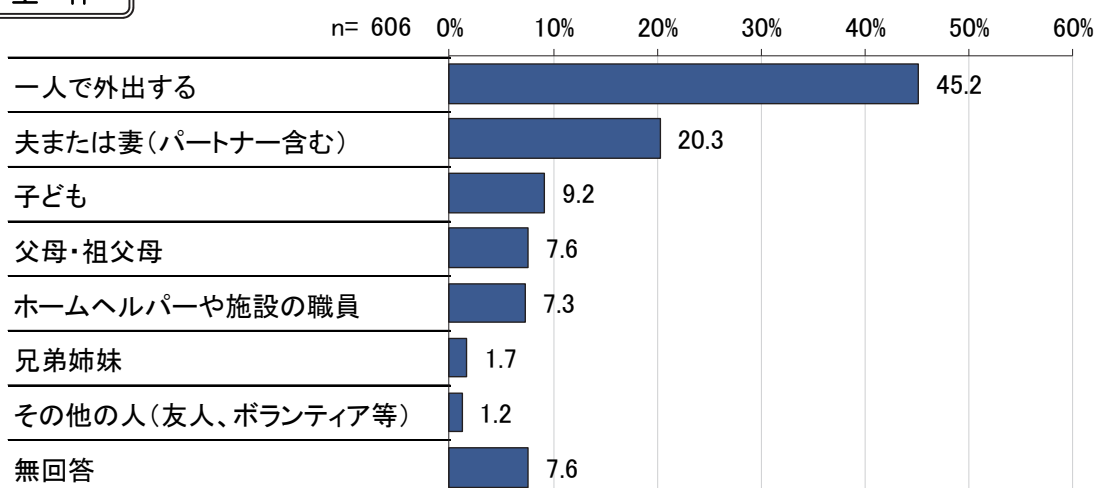
問 26 外出する際の主な同伴者は誰ですか

(○はひとつだけ)

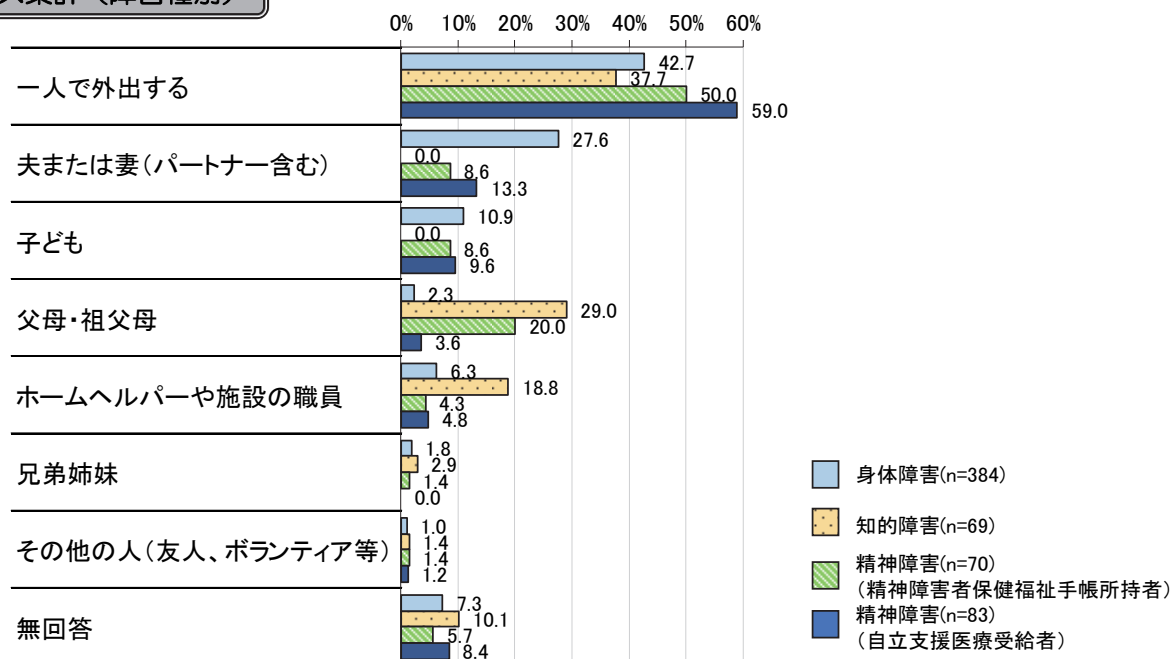
外出の際の主な同伴者をみると、全体では「一人で外出する」との回答が4割以上を占め、「夫または妻」(20.3%)、「子ども」(9.2%)、「父母・祖父母」(7.6%)となっています。

障害種別にみると、身体障害では「夫または妻」、知的障害では「父母・祖父母」、「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が他の障害種別に比べて高く、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では5割以上、精神障害(自立支援医療受給者)では6割近くの人が「一人で外出できる」としています。

全 体



クロス集計(障害種別)



(3)外出の目的

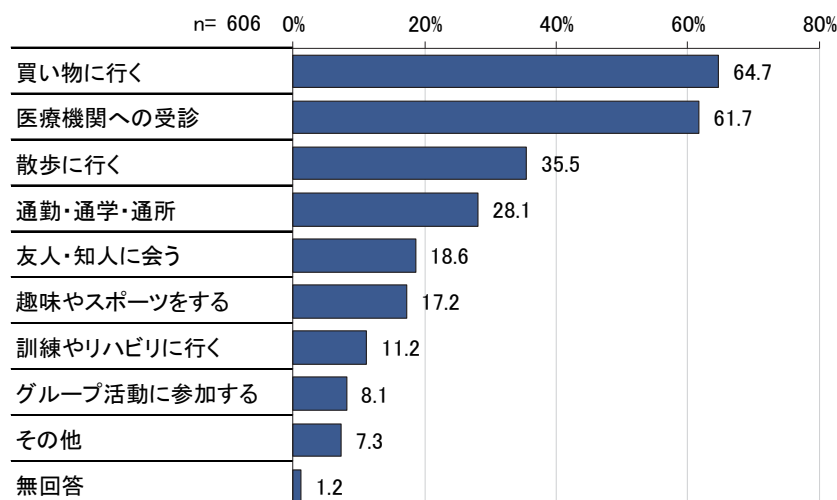
問 27 どのような目的で外出することが多いですか

(○はいくつでも)

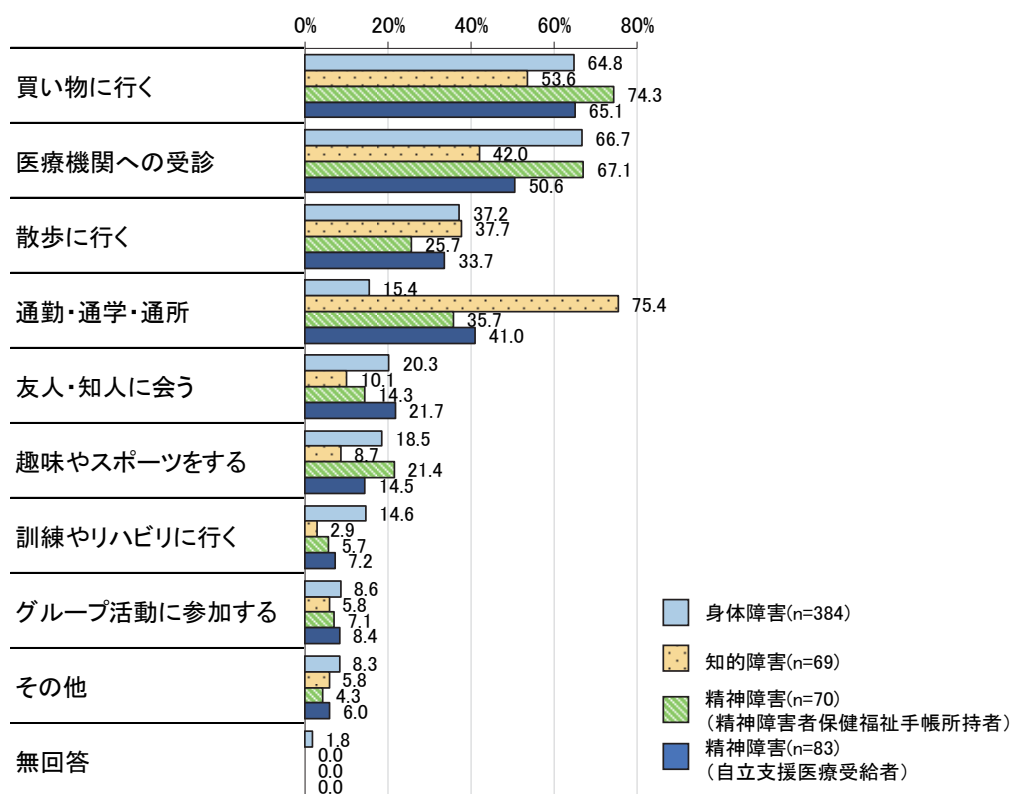
外出の目的は、全体では「買い物に行く」、「医療機関への受診」が6割を超えています。

障害種別にみると、知的障害では「通勤・通学・通所」の割合が75.4%と、他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(4)外出時の交通手段

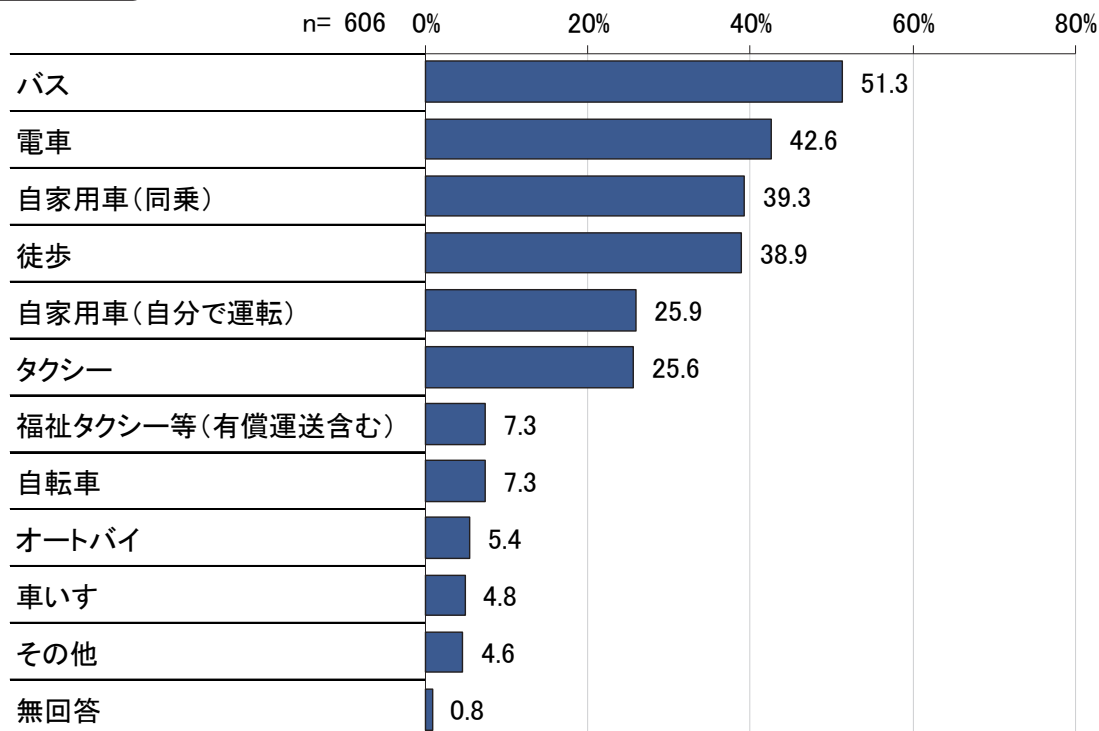
問 28 あなたが外出する場合の交通手段は何ですか

(〇はいくつでも)

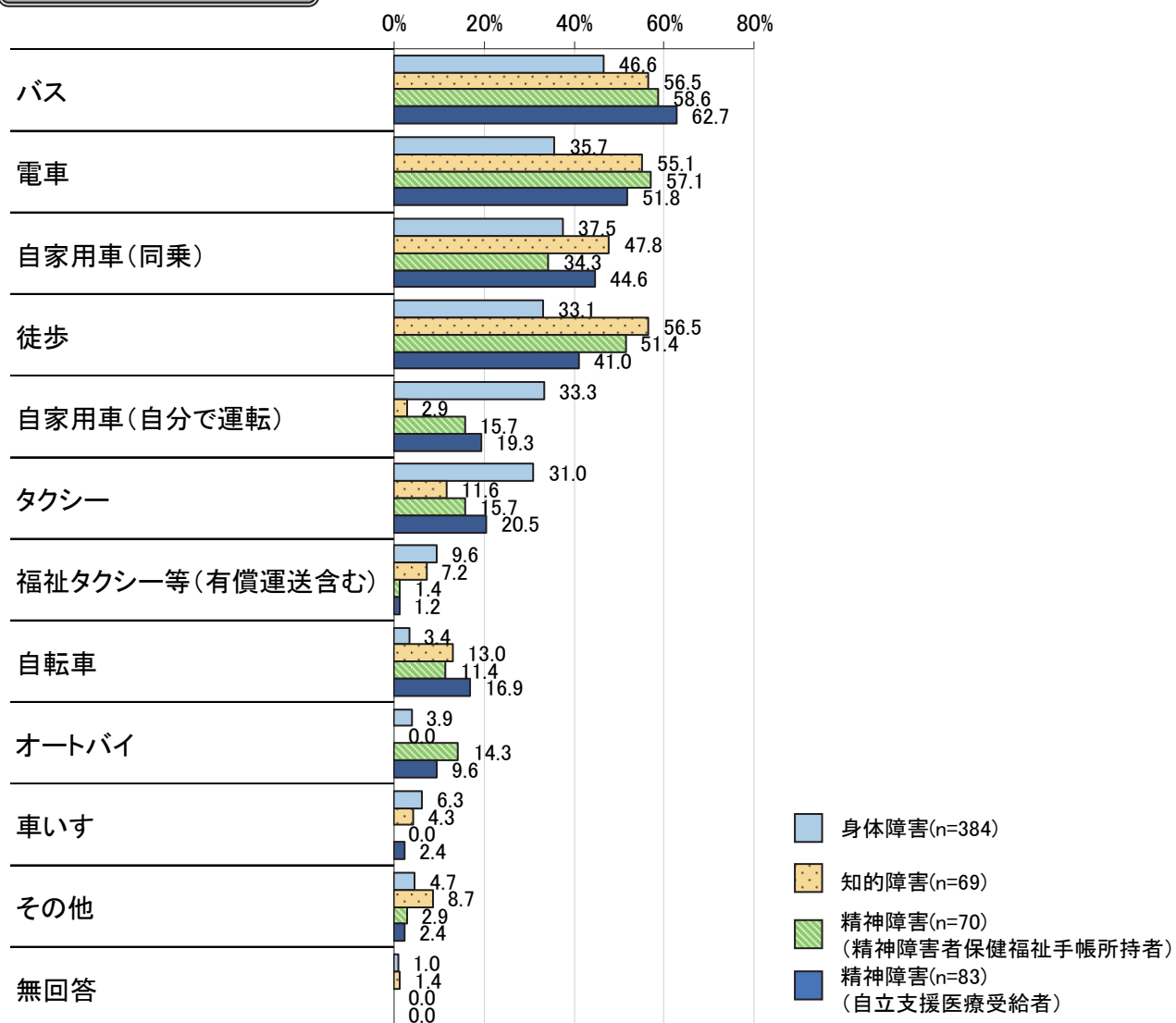
外出時の交通手段は、全体では「バス」が51.3%で最も高く、次いで「電車」(42.6%)、「自家用車(同乗)」(39.3%)、「徒歩」(38.9%)となっています。

障害種別にみると、知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)、ともに「バス」「電車」の割合が5割以上と他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(5)外出時の困りごと

問 29 外出する時に困ることは何ですか

(〇はいくつでも)

外出をする時に困ることとしては、全体では「特に困ることはない」が32.6%で最も高く、次いで「路上に障害物、階段や段差が多い」(23.1%)、「移動の経費がかかる」(22.8%)、「交通機関の乗り降りが不便である」(18.0%)となっています。

障害種別にみると、身体障害では「路上に障害物、階段や段差が多い」(29.0%)、知的障害では「人とのコミュニケーションがとりにくい」(42.5%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「移動の経費がかかる」(39.0%)、「人とのコミュニケーションがとりにくい」(30.5%)をあげる人が他の障害種別に比べて高くなっています。

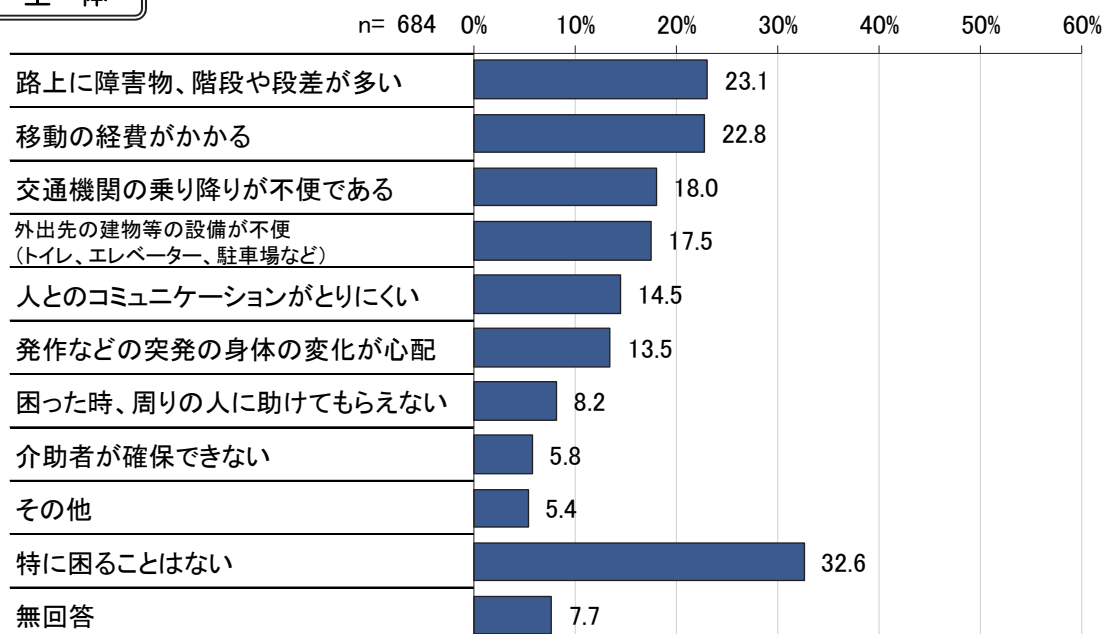
年齢別にみると、身体障害者では18歳未満では「発作などの突発の身体の変化が心配」、18～64歳では「外出先の建物等の設備が不便」、65歳以上では「路上に障害物、階段や段差が多い」との回答が多くなっています。

知的障害では、18歳未満、18～64歳では、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」、65歳以上では「交通機関の乗り降りが不便である」と回答した人の割合が高くなっています。

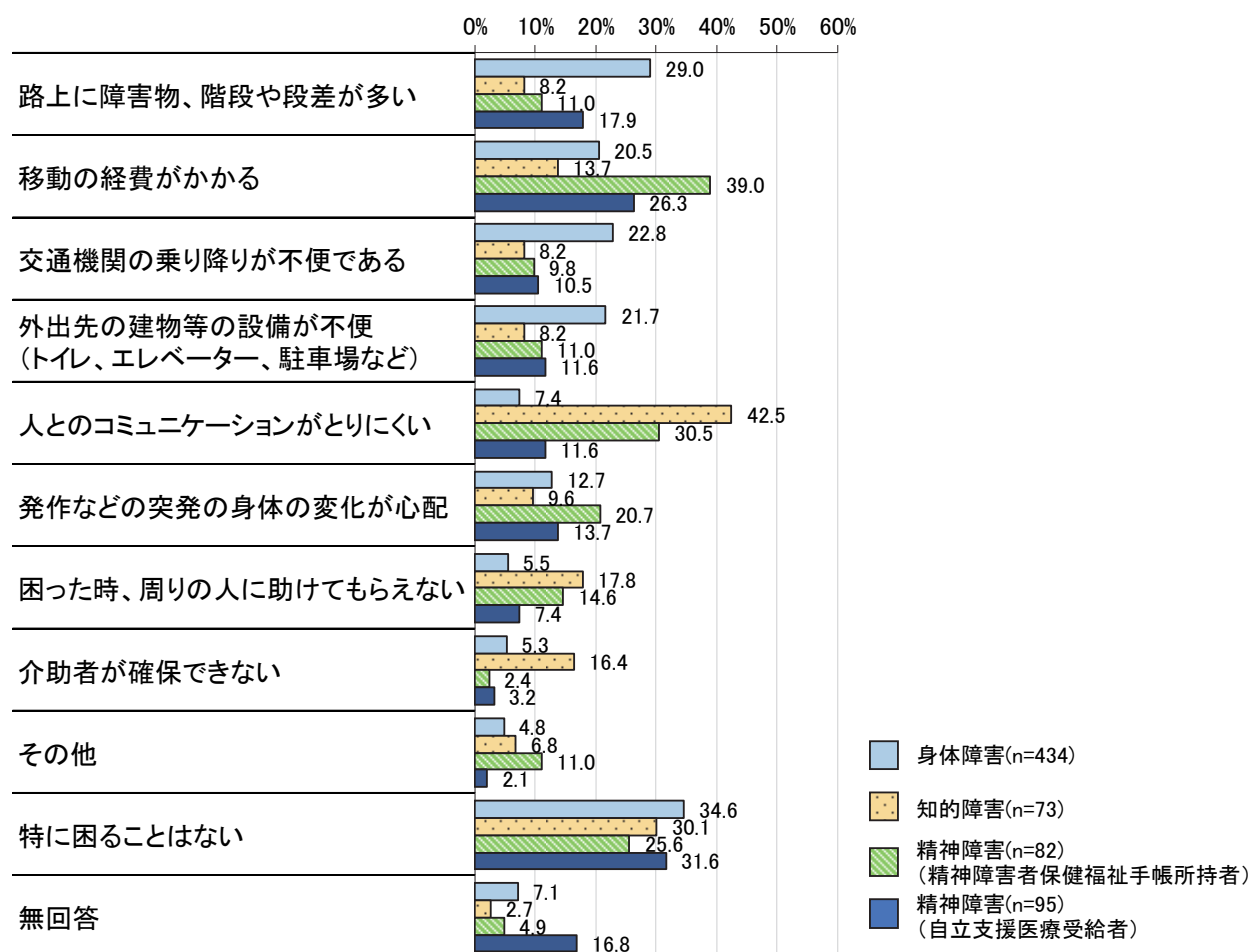
精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の18～64歳では「移動の経費がかかる」が4割以上、65歳以上では「路上に障害物、階段や段差が多い」「特に困ることはない」との回答が多くなっています。

精神障害(自立支援医療受給者)の18歳未満では「外出先の建物等の設備が不便」、18～64歳では「移動の経費がかかる」、65歳以上では「特に困ることはない」が最も多い回答となっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	路上に障害物、階段や段差が多い	移動の経費がかかる	交通機関の乗り降りが不便である	外出先の建物等の設備が不便	人とのコミュニケーションがとりにくい	発作などの突発の身体の変化が心配
全体	434 人	29.0%	20.5%	22.8%	21.7%	7.4%	12.7%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%
18～64 歳	78 人	35.9%	21.8%	25.6%	38.5%	14.1%	14.1%
65 歳以上	351 人	27.9%	20.2%	22.5%	18.2%	5.7%	12.0%
	n	困った時、周りの人に助けてもらえない	介助者が確保できない	その他	特に困ることはない	無回答	
全体	434 人	5.5%	5.3%	4.8%	34.6%	7.1%	
18 歳未満	4 人	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
18～64 歳	78 人	11.5%	6.4%	2.6%	21.8%	11.5%	
65 歳以上	351 人	4.0%	5.1%	5.1%	37.6%	6.3%	

【知的障害・年齢別】

	n	路上に障害物、階段や段差が多い	移動の経費がかかる	交通機関の乗り降りが不便である	外出先の建物等の設備が不便	人とのコミュニケーションがとりにくい	発作などの突発の身体の変化が心配
全体	73 人	8.2%	13.7%	8.2%	8.2%	42.5%	9.6%
18 歳未満	14 人	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	71.4%	0.0%
18～64 歳	56 人	7.1%	12.5%	5.4%	10.7%	37.5%	12.5%
65 歳以上	3 人	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	n	困った時、周りの人に助けてもらえない	介助者が確保できない	その他	特に困ることはない	無回答	
全体	73 人	17.8%	16.4%	6.8%	30.1%	2.7%	
18 歳未満	14 人	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	
18～64 歳	56 人	16.1%	19.6%	5.4%	37.5%	3.6%	
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	路上に障害物、階段や段差が多い	移動の経費がかかる	交通機関の乗り降りが不便である	外出先の建物等の設備が不便	人とのコミュニケーションがとりにくい	発作などの突発の身体の変化が心配
全体	82 人	11.0%	39.0%	9.8%	11.0%	30.5%	20.7%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	6.7%	46.7%	6.7%	10.0%	33.3%	25.0%
65 歳以上	21 人	23.8%	19.0%	19.0%	14.3%	19.0%	9.5%
	n	困った時、周りの人に助けてもらえない	介助者が確保できない	その他	特に困ることはない	無回答	
全体	82 人	14.6%	2.4%	11.0%	25.6%	4.9%	
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
18～64 歳	60 人	20.0%	1.7%	10.0%	26.7%	3.3%	
65 歳以上	21 人	0.0%	4.8%	14.3%	23.8%	9.5%	

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	路上に障害物、階段や段差が多い	移動の経費がかかる	交通機関の乗り降りが不便である	外出先の建物等の設備が不便	人とのコミュニケーションがとりにくい	発作などの突発の身体の変化が心配
全体	95 人	17.9%	26.3%	10.5%	11.6%	11.6%	13.7%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	10.9%	43.5%	10.9%	8.7%	10.9%	17.4%
65 歳以上	29 人	20.7%	10.3%	10.3%	13.8%	10.3%	13.8%
	n	困った時、周りの人に助けてもらえない	介助者が確保できない	その他	特に困ることはない	無回答	
全体	95 人	7.4%	3.2%	2.1%	31.6%	16.8%	
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
18～64 歳	46 人	8.7%	2.2%	2.2%	34.8%	6.5%	
65 歳以上	29 人	10.3%	6.9%	0.0%	37.9%	20.7%	

(6) 日中の過ごし方

問 30 平日の日中を主にどのように過ごしていますか

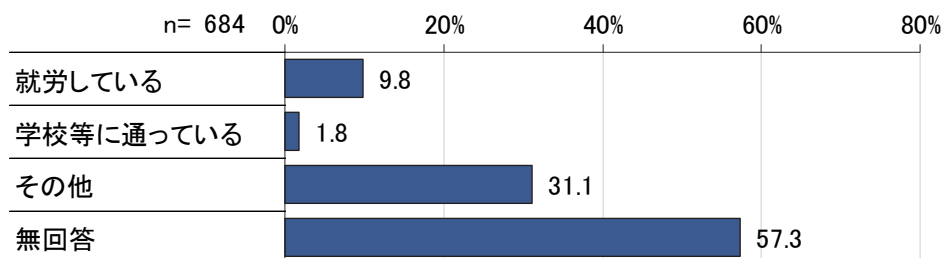
(○はひとつだけ)

平日の日中の主な過ごし方をみると、全体では「就労している」人は 9.8%、「学校等に通っている」人は 1.8%、「その他」が3割を占めています。

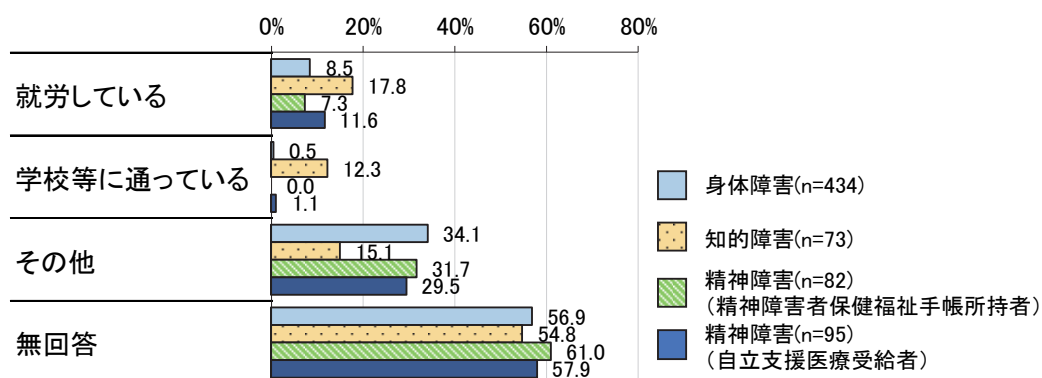
障害種別にみると、知的障害では「学校等に通っている」人の割合が高いのが目立ちます。

現在「就労している」人は、知的障害は 17.8%、精神障害(自立支援医療受給者)が 11.6%、身体障害が 8.5%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)が 7.3%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(7) 日中の活動場所・内容

① 勤務形態

問 31-1 【就労している】 どのような勤務形態で働いていますか

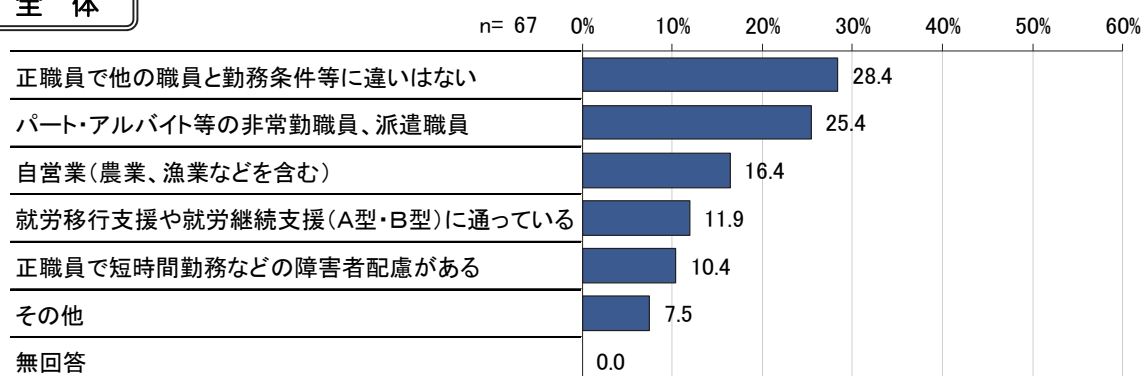
(○はひとつだけ)

現在就労している人の勤務形態をみると、全体では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が28.4%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」(25.4%)、「自営業(農業、漁業などを含む)」(16.4%)となっています。

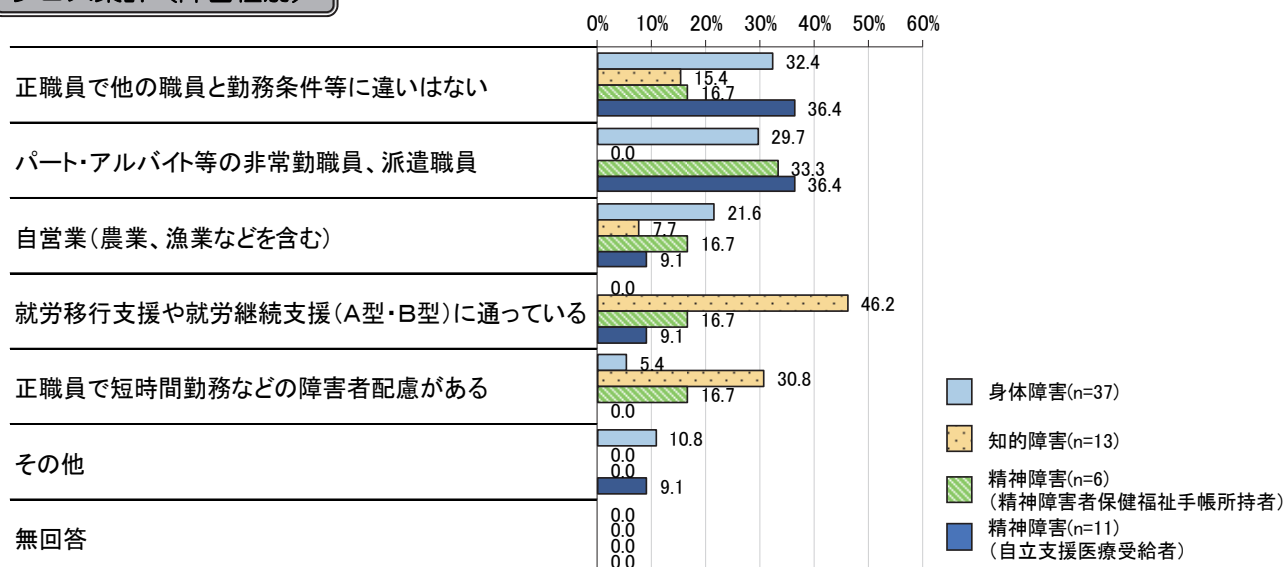
現在就労している人の勤務形態をみると、身体障害、精神障害(自立支援医療受給者)では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が3割以上と他の障害種別に比べて高く、知的障害以外の障害種別では「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」も3割前後を占めています。

知的障害では、「就労移行支援や就労継続支援に通っている」が4割以上と、他の障害種別と比べて高い割合となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



②就労先をみつけた方法

問 32-1 【就労している】 現在の就労先はどのような方法でみつけましたか

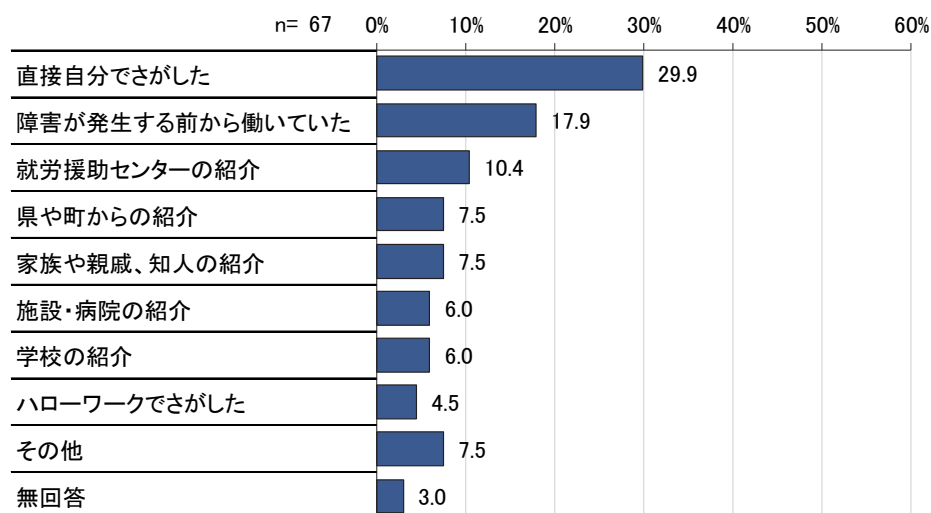
(○はひとつだけ)

現在就労している人の、就労先をみつけた方法をみると、全体では「直接自分でさがした」人が 29.9%、「障害が発生する前から働いていた」人が 17.9%、「就労援助センターの紹介」が 10.4%、他の方法は1割を下回っています。

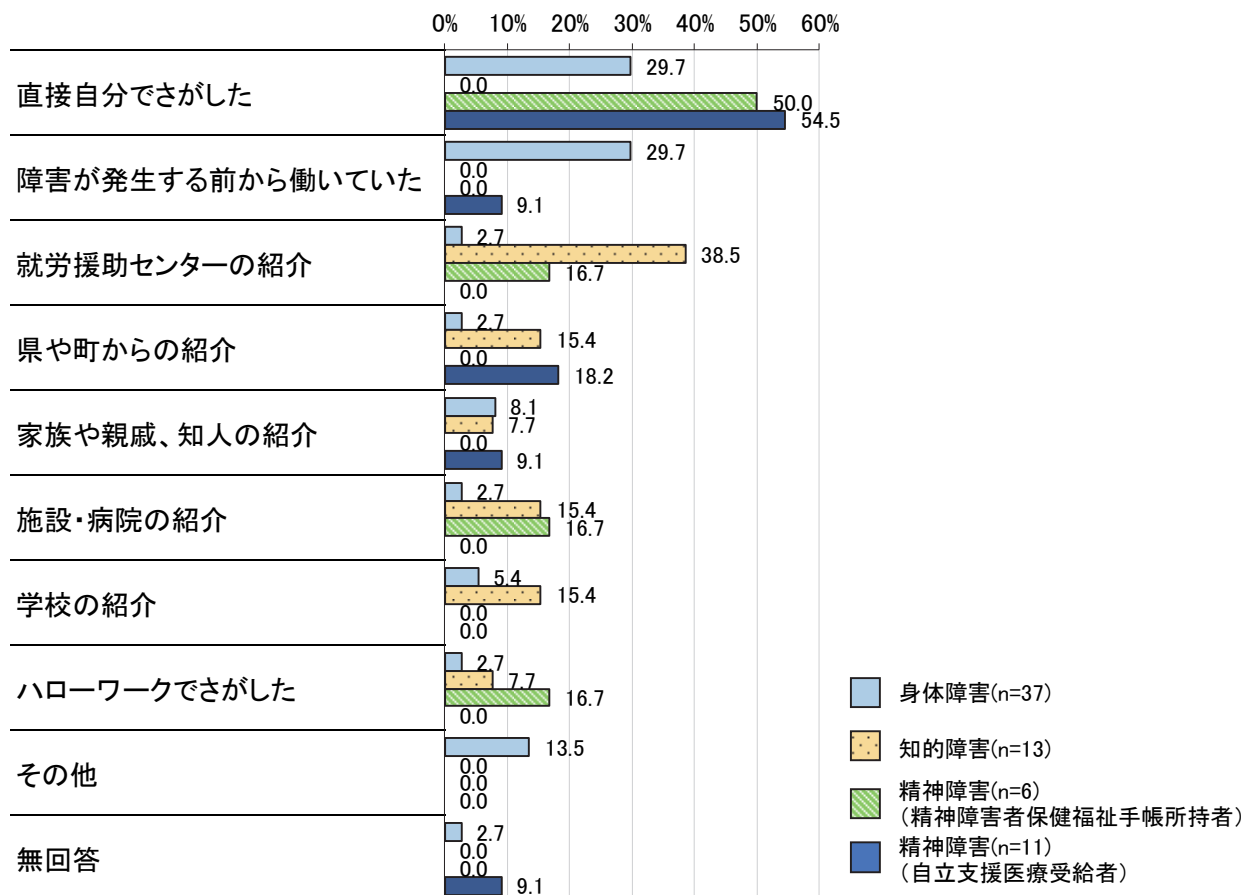
障害種別にみると、身体障害では「障害が発生する前から働いていた」(29.7%)、知的障害では「就労援助センターの紹介」(38.5%)の割合が他の障害種別に比べて高くなっています。

精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「直接自分でさがした」(50.0%)、精神障害(自立支援医療受給者)では「直接自分でさがした」(54.5%)と回答した人の割合が高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



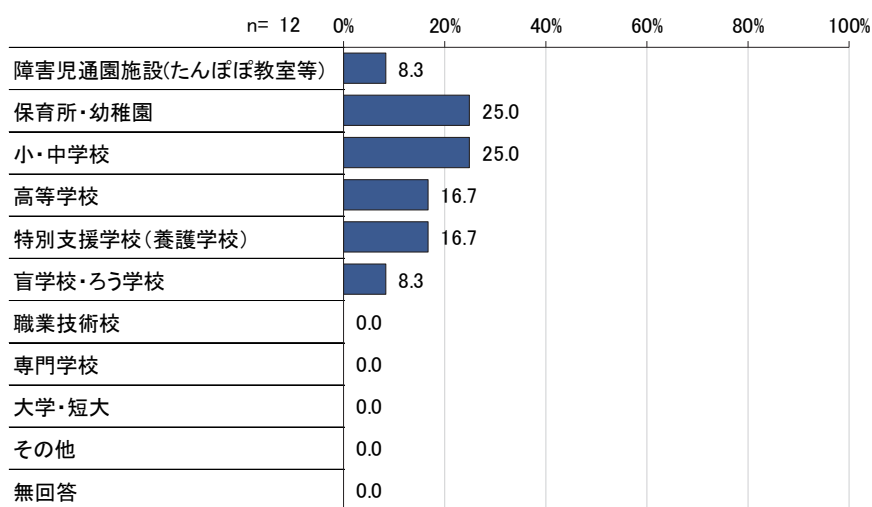
③通園・通学先

問 31-2 【学校等に通っている】 通っているところはどこですか

(○はひとつだけ)

平日の日中、学校等に通っている人の通園・通学先は、全体では「保育所・幼稚園」「小・中学校」が各 25.0%、「高等学校」「特別支援学校(養護学校)」が、各 16.7%、「障害児通園施設」「盲学校・ろう学校」が各 8.3%となっています。

全 体



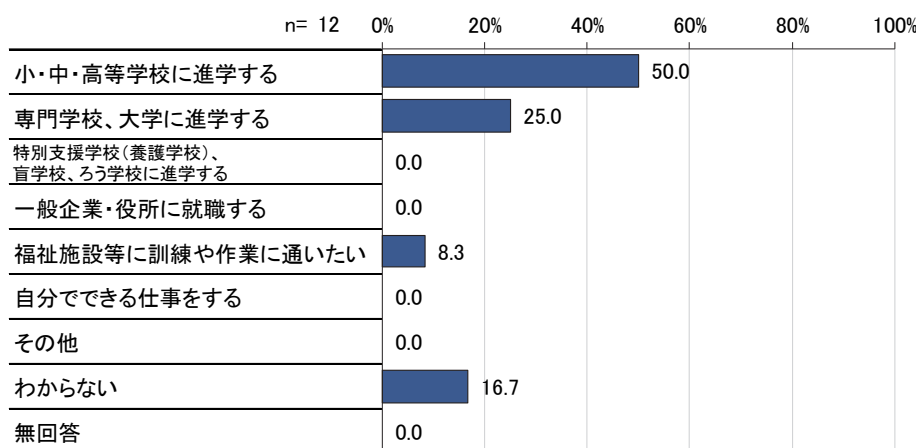
④園や学校卒業後の進路

問 32-2 【学校等に通っている】 現在の園、学校の卒業後の進路についてどのようにお考えですか

(○はひとつだけ)

今後の進路については、全体では「小・中・高等学校に進学する」が 50.0%、「専門学校、大学に進学する」が 25.0%、「福祉施設等に訓練や作業に通いたい」が 8.3%、「わからない」が 16.7%となっています。

全 体



⑤その他の日中の過ごし方

問 31-3 【その他】 どのように過ごしていますか

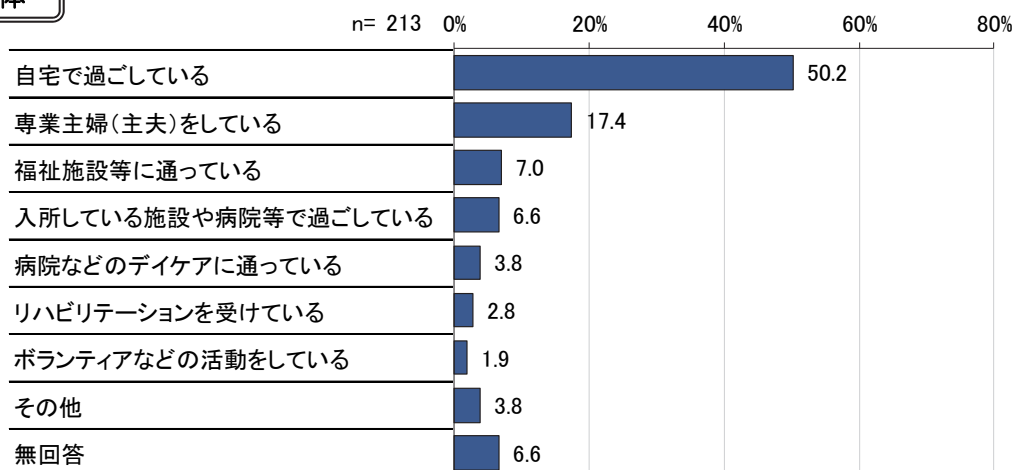
(○はひとつだけ)

現在、就労していない、または学校等に通っていない人の過ごし方をみると、全体では「自宅で過ごしている」が 50.2%と最も高く、次いで「専業主婦(主夫)をしている」(17.4%)、「福祉施設等に通っている」(7.0%)となっています。

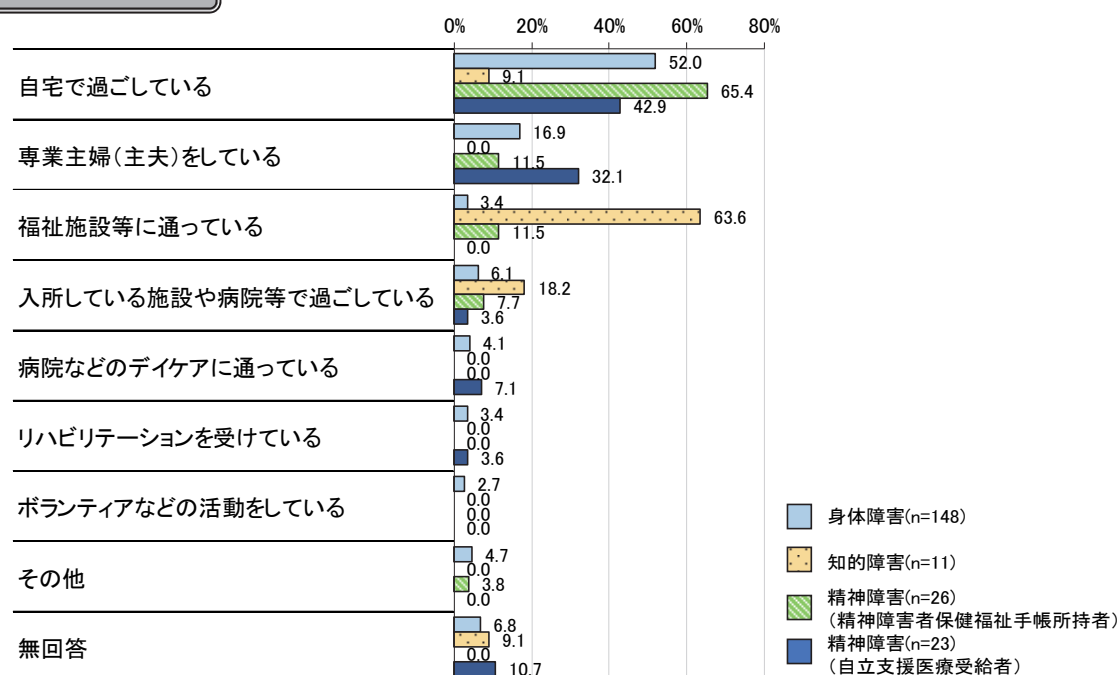
障害種別にみると、知的障害では「福祉施設等に通っている」人が6割を超え、「入所している施設や病院等で過ごしている」が 18.2%となっています。

身体障害では「自宅で過ごしている」人が半数を超え、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)も6割以上を占めています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(8)就労意向

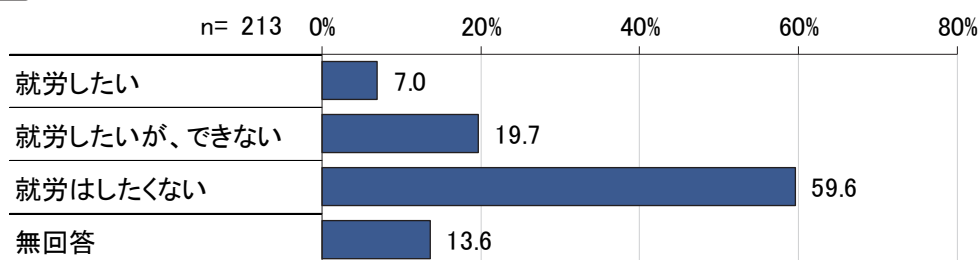
問 32-3-1 【その他】 今後、就労をしたいと思いますか

(○はひとつだけ)

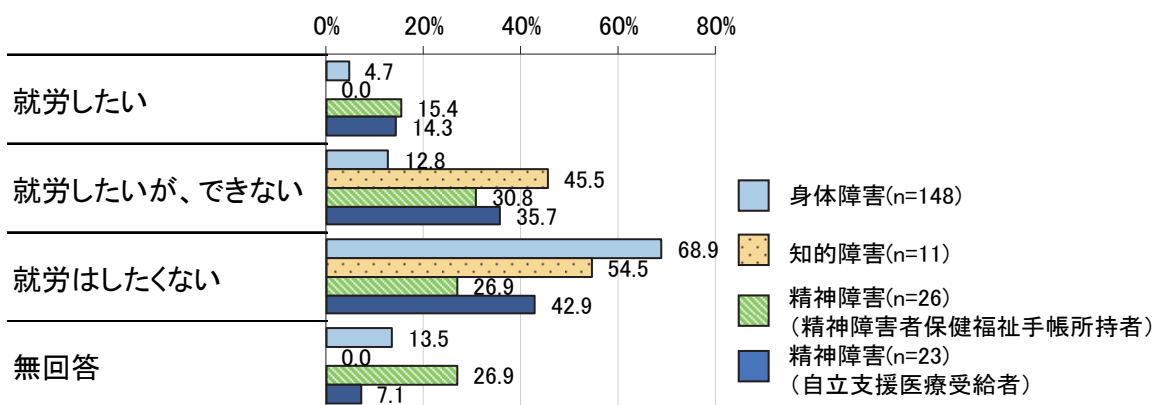
就労、通園・通学していない人に就労をしたいと思うかを聞いたところ、全体では「就労したい」と回答した人が7.0%、「就労したいが、できない」人が19.7%、「就労はしたくない」人が59.6%を占めています。

障害種別にみると、「就労したい」では精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)(15.4%)、「就労したいが、できない」では知的障害者(45.5%)、「就労はしたくない」では身体障害者(68.9%)が最も高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(9)職業訓練意向

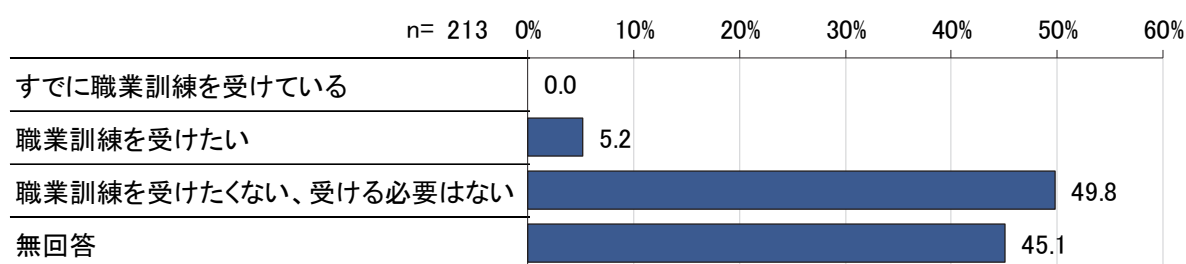
問 32-3-2 【その他】 職業訓練などを受けたいと思いますか

(○はひとつだけ)

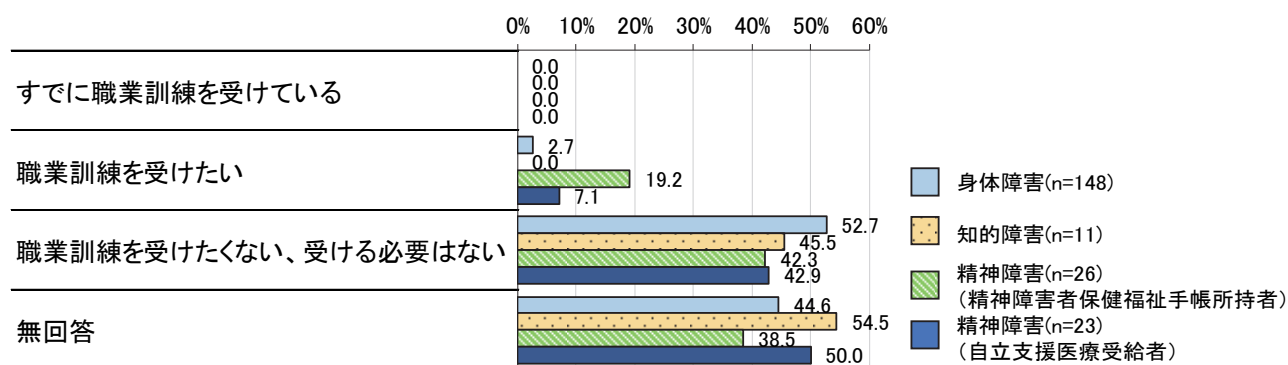
就労、通園・通学していない人に、職業訓練などを受けたいと思うかを聞いたところ、全体では「すでに職業訓練を受けている」と回答した人はおらず、「職業訓練を受けたい」人は 5.2%、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」人が 49.8%と5割近くを占めています。

障害種別にみると、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「職業訓練を受けたい」と回答する人の割合が 19.2%と他の障害種別に比べて高いのが目立ちます。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(10) 就労支援として必要なこと

問 33 障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか

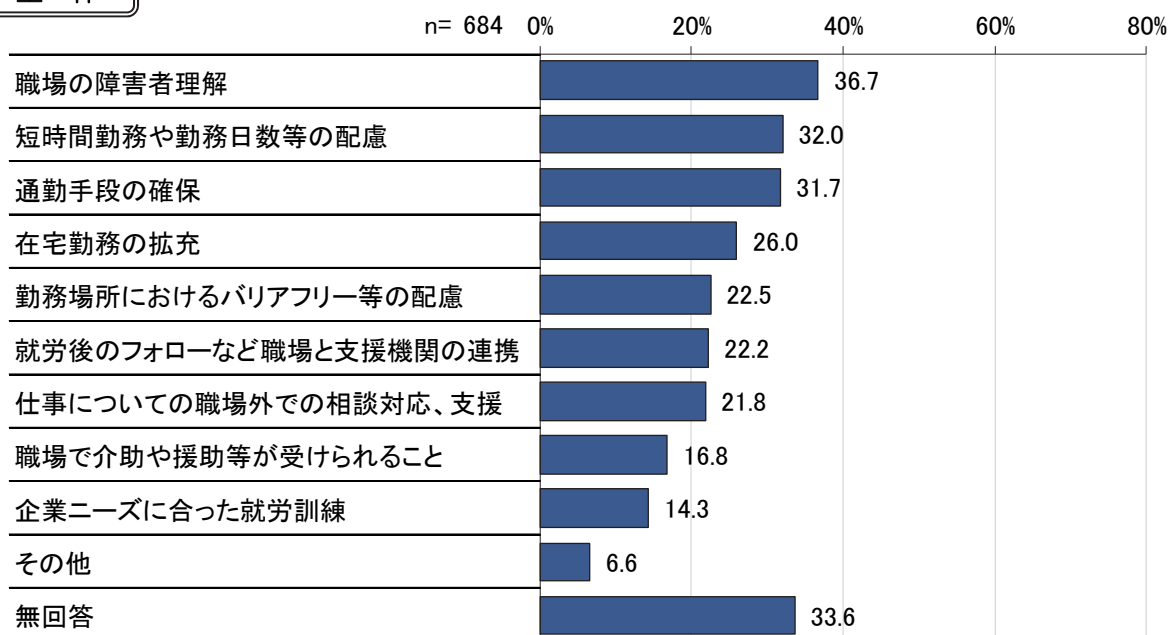
(○はいくつでも)

障害者の就労支援として必要だと思うことは、全体では「職場の障害者理解」(36.7%)、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(32.0%)、「通勤手段の確保」(31.7%)をあげる人が3割以上と高くなっています。

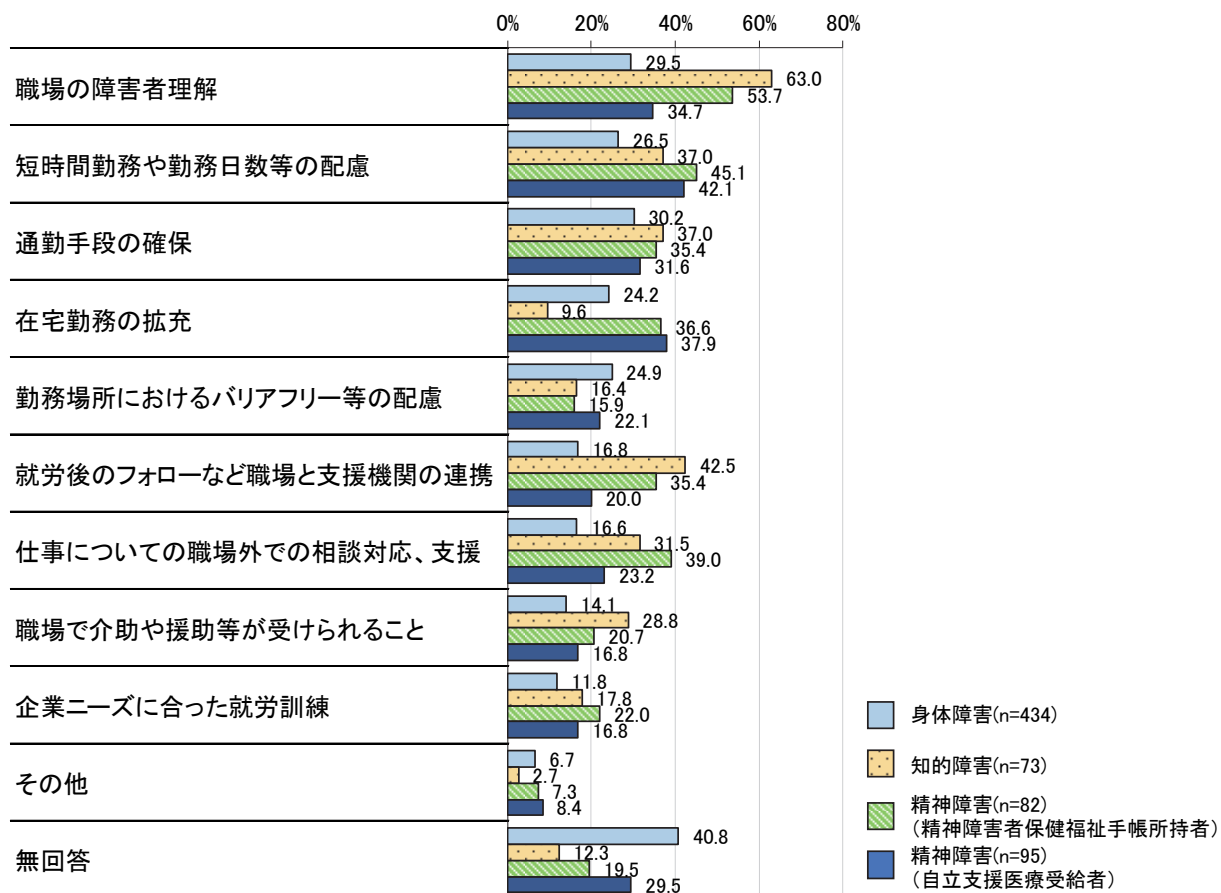
障害種別にみると、身体障害では「通勤手段の確保」(30.2%)、知的障害では「職場の障害者理解」(63.0%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「職場の障害者理解」(53.7%)、精神障害(自立支援医療受給者)では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(42.1%)をあげる人の割合が多くなっています。その他、知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」の割合が3割台半ばを超え、他の障害種別に比べて高くなっています。

年齢層別にみると、身体障害の18～64歳で5割近くの人が、回答者のいない年齢層を除く全ての障害種別の18歳未満～64歳で5割以上の人が「職場の障害者理解」をあげています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	職場の障害者理解	短時間勤務や勤務日数等の配慮	通勤手段の確保	在宅勤務の拡充	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
全体	434 人	29.5%	26.5%	30.2%	24.2%	24.9%	16.8%
18 歳未満	4 人	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	75.0%
18～64 歳	78 人	48.7%	39.7%	47.4%	38.5%	38.5%	23.1%
65 歳以上	351 人	25.1%	23.6%	26.8%	20.8%	22.2%	14.8%
	n	仕事についての職場外での相談対応、支援	職場で介助や援助等が受けられること	企業ニーズに合った就労訓練	その他	無回答	
全体	434 人	16.6%	14.1%	11.8%	6.7%	40.8%	
18 歳未満	4 人	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
18～64 歳	78 人	29.5%	12.8%	12.8%	3.8%	12.8%	
65 歳以上	351 人	13.1%	14.0%	11.7%	7.4%	47.3%	

【知的障害・年齢別】

	n	職場の障害者理解	短時間勤務や勤務日数等の配慮	通勤手段の確保	在宅勤務の拡充	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
全体	73 人	63.0%	37.0%	37.0%	9.6%	16.4%	42.5%
18 歳未満	14 人	100.0%	42.9%	28.6%	35.7%	14.3%	71.4%
18～64 歳	56 人	57.1%	37.5%	37.5%	3.6%	16.1%	37.5%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	n	仕事についての職場外での相談対応、支援	職場で介助や援助等が受けられること	企業ニーズに合った就労訓練	その他	無回答	
全体	73 人	31.5%	28.8%	17.8%	2.7%	12.3%	
18 歳未満	14 人	50.0%	57.1%	35.7%	7.1%	0.0%	
18～64 歳	56 人	28.6%	23.2%	14.3%	1.8%	14.3%	
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	職場の障害者理解	短時間勤務や勤務日数等の配慮	通勤手段の確保	在宅勤務の拡充	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
全体	82 人	53.7%	45.1%	35.4%	36.6%	15.9%	35.4%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	63.3%	53.3%	40.0%	41.7%	18.3%	46.7%
65 歳以上	21 人	28.6%	19.0%	23.8%	23.8%	9.5%	4.8%
	n	仕事についての職場外での相談対応、支援	職場で介助や援助等が受けられること	企業ニーズに合った就労訓練	その他	無回答	
全体	82 人	39.0%	20.7%	22.0%	7.3%	19.5%	
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
18～64 歳	60 人	45.0%	23.3%	28.3%	5.0%	13.3%	
65 歳以上	21 人	23.8%	14.3%	4.8%	14.3%	38.1%	

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	職場の障害者理解	短時間勤務や勤務日数等の配慮	通勤手段の確保	在宅勤務の拡充	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
全体	95 人	34.7%	42.1%	31.6%	37.9%	22.1%	20.0%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	56.5%	69.6%	45.7%	54.3%	28.3%	30.4%
65 歳以上	29 人	17.2%	20.7%	20.7%	24.1%	17.2%	10.3%
	n	仕事についての職場外での相談対応、支援	職場で介助や援助等が受けられること	企業ニーズに合った就労訓練	その他	無回答	
全体	95 人	23.2%	16.8%	16.8%	8.4%	29.5%	
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
18～64 歳	46 人	39.1%	26.1%	23.9%	6.5%	2.2%	
65 歳以上	29 人	10.3%	10.3%	10.3%	10.3%	48.3%	

(11) 日中の過ごし方の満足度

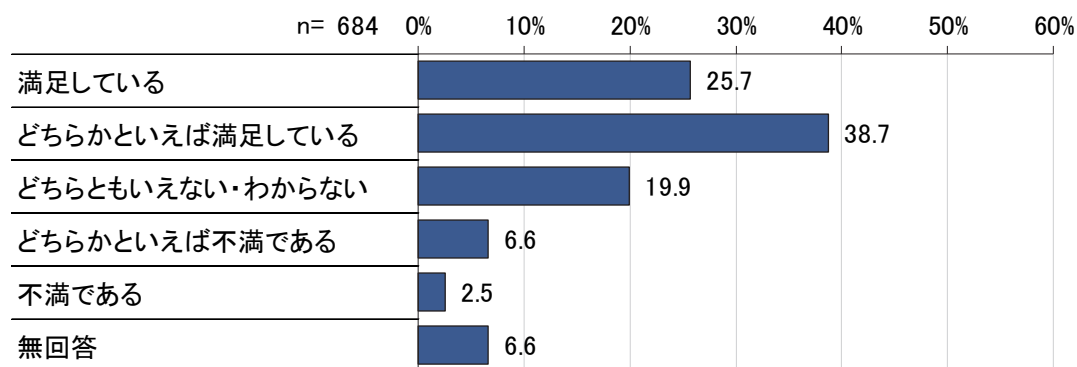
問 34 現在の日中の過ごし方に満足していますか

(○はひとつだけ)

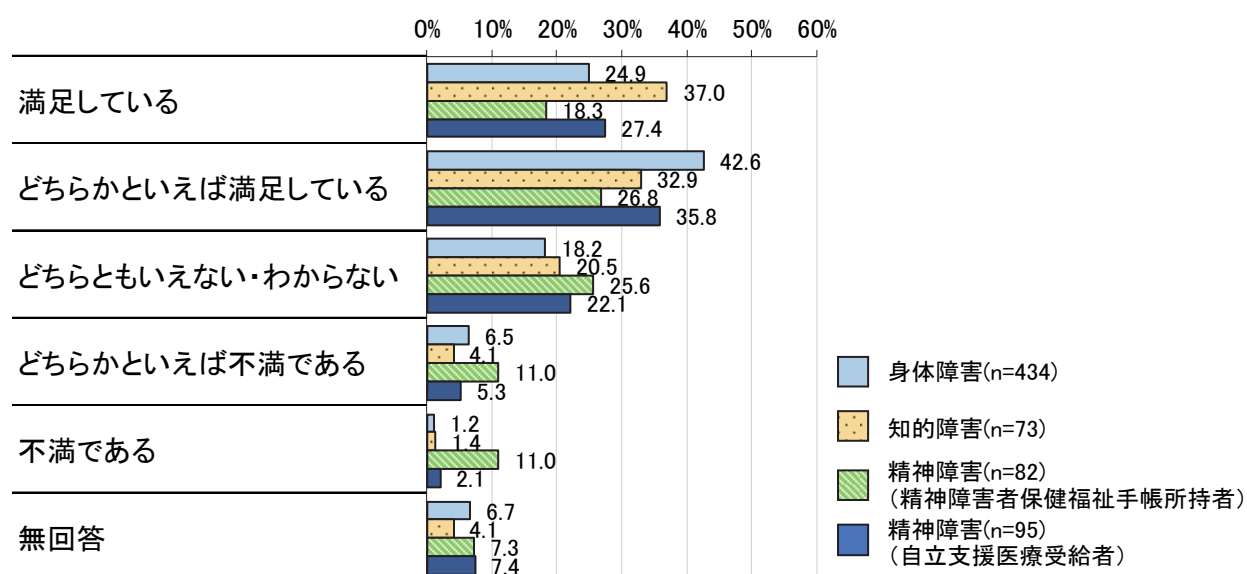
現在の日中の過ごし方に満足しているかを聞いたところ、全体では「どちらかといえば満足している」が4割近くを占め、「満足している」と合わせると、“満足”と回答した人が64.4%と半数を超えています。

障害種別にみると、“満足”と回答した人は身体障害(67.5%)と知的障害(69.9%)はともに7割近くを占め、精神障害(自立支援医療受給者)は63.2%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



4 障害福祉サービス等の利用について

(1) 障害程度区分・障害支援区分の認定状況

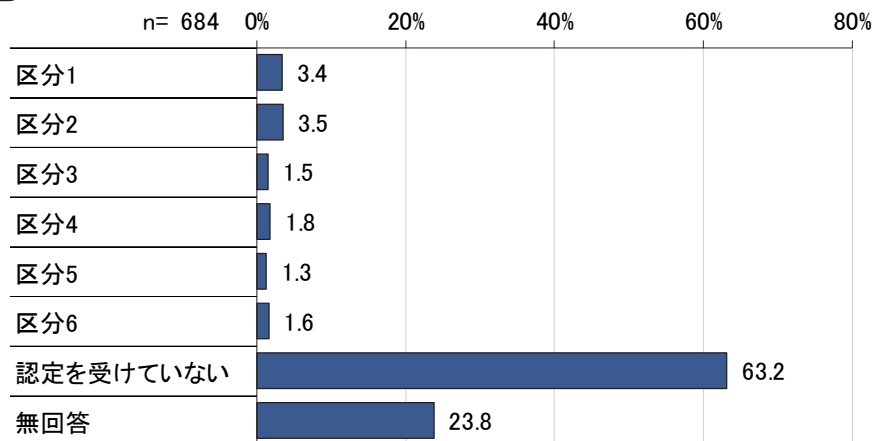
問 35 障害程度区分または障害支援区分の認定を受けていますか

(○はひとつだけ)

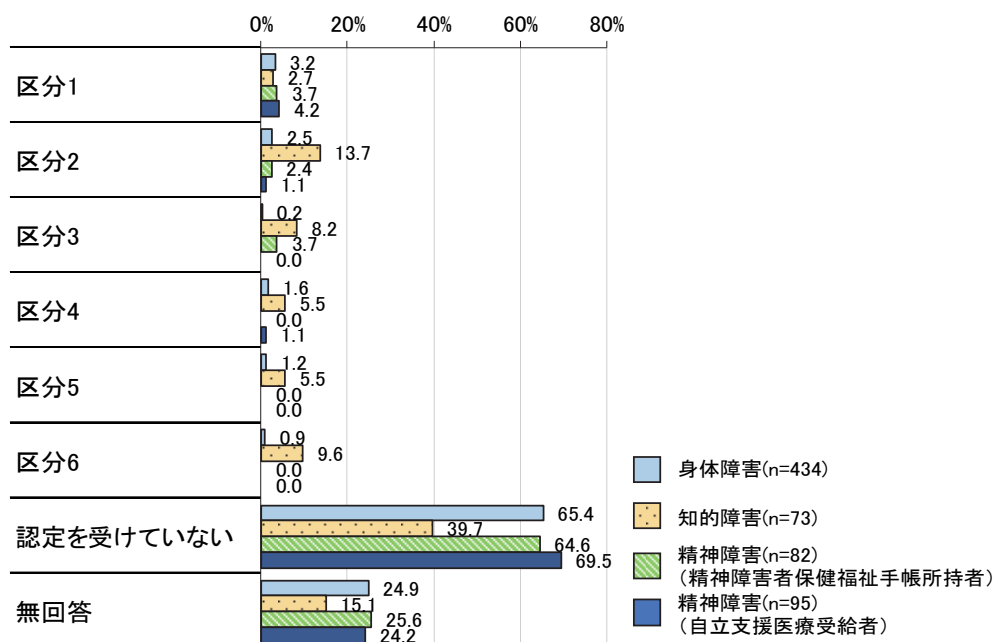
障害程度区分または障害支援区分の認定を受けているかについては、全体では「受けていない」が6割を占め、認定者率は13.1%となっています。

障害種別にみると、精神障害(自立支援医療受給者)では「受けていない」人の割合が約7割と他の障害種別に比べて高いのが目立ちます。知的障害の人の認定者率は45.2%で、「区分2」が13.7%で最も高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(2)サービスの利用状況と今後の利用意向

問 36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、これから利用する予定はありますか

(①から⑳のサービスごとに、「現在の利用」と「今後3年以内の利用予定」の両方の、それぞれあてはまる番号に○をしてください)。

※⑱～㉔のサービスは18歳未満の方のみお答えください。

※「利用していない」「利用予定がない」に○をされた方は、さらに別表から、その理由も選んでお答えください。

(○はひとつだけ・別表の理由はいくつでも)

サービスの利用状況を見ると、全体では⑯「計画相談支援」が11.4%と最も利用率が高く、次いで⑫「自立訓練(機能訓練・生活訓練)」(5.4%)、⑨「生活介護」(4.2%)、①「居宅介護(ホームヘルプ)」(3.2%)、⑦「短期入所(ショートステイ)」(3.1%)となっています。

今後の利用意向を見ると、全体では⑯「計画相談支援」(9.9%)、⑱「地域定着支援」(5.3%)で今後利用予定ありと回答した人の割合が高くなっています。

(%)

	サービスの利用有無			サービスを利用していない理由								
	利用している	利用していない	無回答	要サービスを受けないため	含まれない対象者	既に別のサービスを受けているため	都合が合わない時間帯のため	地域にサービス提供がないため	利用料金がかかるため	サービスがなかったこと	その他	無回答
① 居宅介護(ホームヘルプ)	3.2	34.2	62.6	68.8	5.6	3.8	0.9	0.0	1.3	0.9	1.7	17.1
② 重度訪問介護	0.3	34.6	65.1	67.1	8.0	4.6	0.4	0.0	0.8	0.4	1.3	17.3
③ 同行援護	0.0	34.8	65.2	66.8	10.1	2.1	0.4	0.0	0.8	0.4	2.1	17.2
④ 行動援護	1.9	33.9	64.2	64.7	8.6	2.2	0.4	0.4	0.9	3.0	2.2	17.7
⑤ 重度障害者等包括支援	0.6	34.2	65.2	68.8	8.1	2.6	0.4	0.0	0.9	0.4	1.7	17.1
⑥ 施設入所支援	2.2	33.8	64.0	70.6	5.2	2.2	0.0	0.4	0.9	0.4	2.6	17.7
⑦ 短期入所(ショートステイ)	3.1	33.0	63.9	69.0	5.3	3.1	0.9	0.0	0.9	0.4	2.7	17.7
⑧ 療養介護	0.9	33.8	65.4	70.1	6.1	2.2	0.0	0.0	0.9	0.9	3.0	16.9
⑨ 生活介護	4.2	32.0	63.7	69.9	5.0	1.8	0.0	0.5	0.9	0.9	3.2	17.8
⑩ 自立生活援助	2.8	32.6	64.6	67.3	6.3	2.7	0.0	0.0	2.2	3.6	3.1	14.8
⑪ 共同生活援助(グループホーム)	2.5	33.2	64.3	68.7	4.8	2.2	0.4	1.3	2.2	1.3	3.5	15.4
⑫ 自立訓練(機能訓練、生活訓練)	5.4	31.7	62.9	66.4	5.5	1.8	0.0	1.8	1.4	4.6	3.2	15.2
⑬ 就労移行支援	0.9	34.6	64.5	62.9	6.3	2.1	0.8	0.4	2.1	3.0	4.6	17.7
⑭ 就労継続支援(A型、B型)	2.8	33.5	63.7	64.6	6.1	2.2	1.3	0.9	1.3	2.2	4.4	17.0
⑮ 就労定着支援	1.5	33.9	64.6	64.2	7.3	1.7	0.9	0.9	1.3	2.6	4.3	16.8
⑯ 計画相談支援	11.4	27.8	60.8	61.1	5.3	2.1	0.5	0.0	1.6	8.4	4.2	16.8
⑰ 地域移行支援	1.9	34.1	64.0	60.9	5.2	2.6	0.0	0.9	1.7	7.7	4.3	16.7
⑱ 地域定着支援	2.3	32.9	64.8	60.0	2.7	2.7	0.0	1.8	0.9	8.9	5.8	17.3
⑲ 児童発達支援	1.2	20.6	78.2	58.2	17.7	0.7	0.0	0.0	0.7	1.4	2.1	19.1
⑳ 医療型児童発達支援	0.3	21.1	78.7	59.0	17.4	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	1.4	19.4
㉑ 放課後等デイサービス	1.3	20.5	78.2	57.9	17.9	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	2.9	19.3
㉒ 障害児相談支援	1.5	20.6	77.9	58.2	17.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	2.1	19.9
㉓ 居宅訪問型児童発達支援	0.1	21.2	78.7	60.0	17.9	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	20.0
㉔ 保育所等訪問支援	0.3	21.1	78.7	58.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	20.8
㉕ 福祉型児童入所施設	0.0	21.2	78.8	58.6	18.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	20.7
㉖ 医療型児童入所施設	0.1	21.1	78.8	59.0	18.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	20.8

Ⅱ 障害のある人調査結果

(%)

	今後3年以内の利用予定					サービス利用予定がない理由								
	増 や す 予 定	今 よ り も 利 用 を	利 用 予 定 が な い	減 ら す 予 定	今 よ り も 利 用 を	無 回 答	要 サ ー ビ ス を 受 け る 必 ず な い た め	サ ー ビ ス の 対 象 者 に 含 ま れ な い た め	提 供 に 受 け て い る サ ー ビ ス の 他 の サ ー ビ ス と の 区 別 が な い た め	都 合 が 合 わ な い 時 間 の 制 限 が あ る た め	場 所 が な い た め	利 用 料 金 が か か る た め	サ ー ビ ス が あ る こ と を 知 ら な か つ た た め	そ の 他
① 居宅介護(ホームヘルプ)	2.6	2.2	0.1	30.1	64.9	70.9	9.7	2.9	1.0	0.0	1.5	0.0	3.9	10.2
② 重度訪問介護	0.9	0.6	0.0	31.1	67.4	70.4	11.7	3.3	0.5	0.0	0.9	0.0	4.2	8.9
③ 同行援護	1.0	0.6	0.0	31.1	67.3	70.4	13.1	1.9	0.5	0.0	0.9	0.0	4.2	8.9
④ 行動援護	1.9	0.9	0.0	30.7	66.5	68.6	11.9	1.9	0.5	0.5	1.0	1.4	5.2	9.0
⑤ 重度障害者等包括支援	0.9	0.3	0.0	31.3	67.5	71.0	12.1	1.9	0.5	0.0	0.9	0.0	4.2	9.3
⑥ 施設入所支援	2.8(利用予定あり)			30.0	67.3	72.2	8.3	2.0	0.0	0.5	1.5	0.5	5.4	9.8
⑦ 短期入所(ショートステイ)	4.1	1.5	0.0	29.2	65.2	68.0	9.5	2.5	0.0	1.0	2.0	0.5	6.5	10.0
⑧ 療養介護	1.9	0.4	0.1	30.8	66.7	70.1	10.4	1.9	0.0	0.9	1.4	0.9	5.7	8.5
⑨ 生活介護	2.6	1.8	0.0	29.7	65.9	70.4	8.9	2.0	0.0	1.0	1.5	0.5	5.9	9.9
⑩ 自立生活援助	3.1	1.8	0.1	29.1	65.9	68.3	8.0	3.0	0.0	0.0	3.5	1.5	6.5	9.0
⑪ 共同生活援助(グループホーム)	2.3(利用予定あり)			29.8	67.8	67.2	8.8	2.0	0.0	0.5	2.9	1.5	6.9	10.3
⑫ 自立訓練(機能訓練、生活訓練)	2.6	2.5	0.1	28.5	66.2	68.7	8.2	2.1	0.0	0.5	1.5	2.1	7.2	9.7
⑬ 就労移行支援	1.3	0.3	0.0	30.8	67.5	66.8	10.0	2.8	0.0	0.0	1.4	2.4	6.6	10.0
⑭ 就労継続支援(A型、B型)	1.5	1.0	0.0	29.8	67.7	67.6	8.8	2.0	0.5	0.0	1.5	2.5	7.4	9.8
⑮ 就労定着支援	1.2	0.7	0.0	30.6	67.5	66.5	9.1	2.4	0.0	1.0	1.4	2.9	6.2	10.5
⑯ 計画相談支援	9.9(利用予定あり)			24.3	65.8	65.7	7.8	2.4	0.0	0.0	1.2	3.6	7.2	12.0
⑰ 地域移行支援	3.8(利用予定あり)			28.9	67.3	66.7	9.1	3.0	0.0	1.0	1.0	3.5	6.1	9.6
⑱ 地域定着支援	5.3(利用予定あり)			27.6	67.1	65.1	8.5	2.6	0.0	1.6	1.1	4.8	6.9	9.5
⑲ 児童発達支援	0.7	0.4	0.0	20.3	78.5	59.0	21.6	0.7	0.0	0.0	0.7	2.2	2.2	13.7
⑳ 医療型児童発達支援	0.6	0.1	0.0	20.2	79.1	63.0	20.3	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	1.4	13.0
㉑ 放課後等デイサービス	0.6	0.7	0.1	19.7	78.8	60.0	21.5	0.0	0.0	0.0	0.7	2.2	2.2	13.3
㉒ 障害児相談支援	1.2(利用予定あり)			19.9	78.9	59.6	20.6	0.0	0.0	0.0	0.7	2.2	2.9	14.0
㉓ 居宅訪問型児童発達支援	0.3	0.0	0.0	21.2	78.5	62.1	21.4	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	1.4	13.1
㉔ 保育所等訪問支援	0.4	0.0	0.0	20.9	78.7	60.8	21.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	2.1	13.3
㉕ 福祉型児童入所施設	0.0(利用予定あり)			21.1	78.9	61.1	21.5	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	2.1	13.2
㉖ 医療型児童入所施設	0.1(利用予定あり)			20.9	78.9	60.8	21.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	2.1	13.3

(3)地域生活支援事業のサービスの利用状況と今後の利用意向

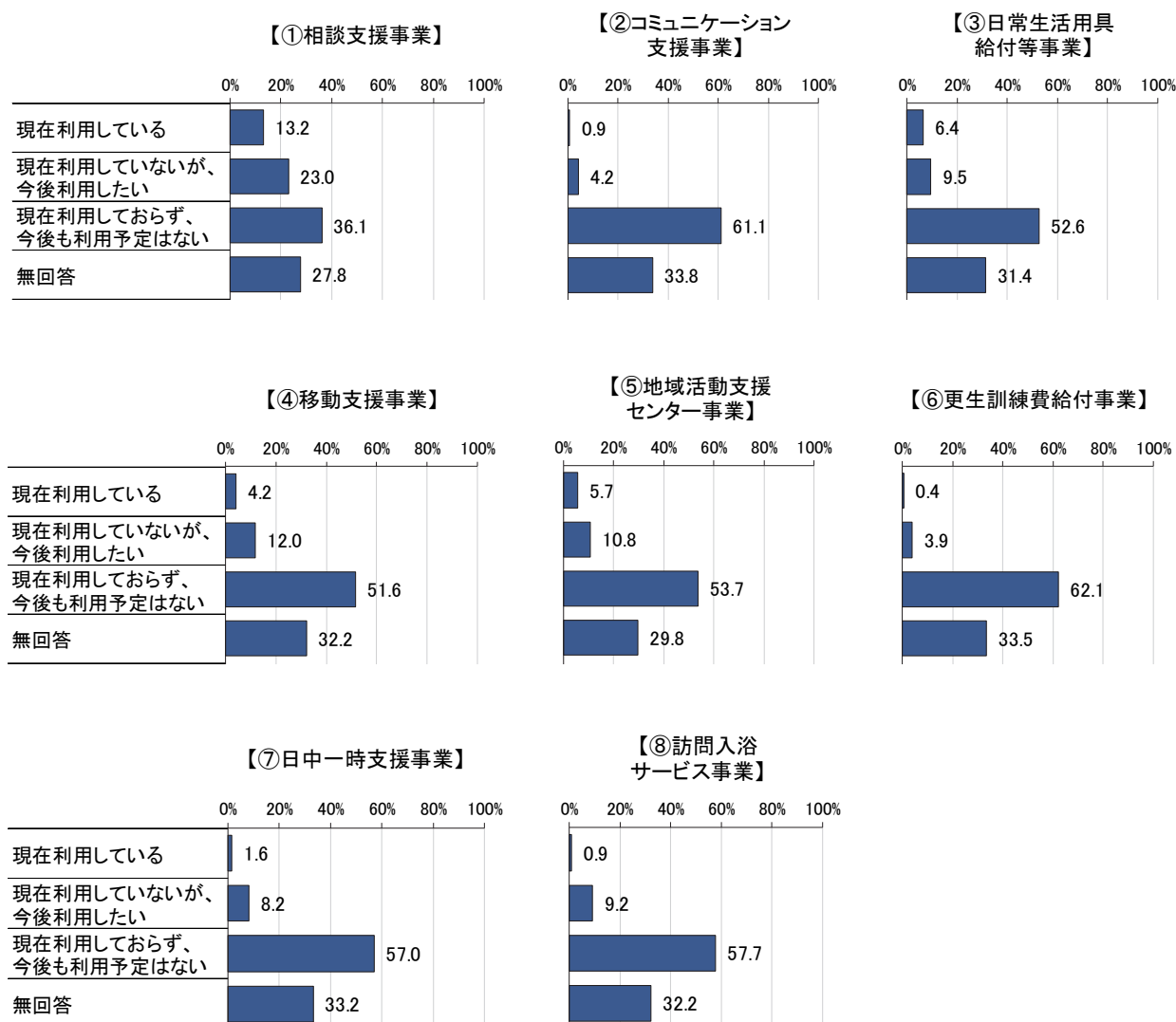
問 37 次の地域生活支援事業のサービスについて、現在利用しているものと、今後利用したいものについて教えてください。

(①から⑧について、それぞれ1～3ののひとつだけに○)

地域生活支援事業のサービスの現在の利用状況をみると、全体では①「相談支援事業」を利用している人の割合が13.2%で最も高く、次いで③「日常生活用具給付等事業」が6.4%、⑤「地域活動支援センター事業」が5.7%となっています。

今後の利用意向をみると、全体では①「相談支援事業」を利用したいと回答した人が23.0%で最も高く、次いで④「移動支援事業」(12.0%)、⑤「地域活動支援センター事業」(10.8%)、③「日常生活用具給付等事業」(9.5%)、⑧「訪問入浴サービス事業」(9.2%)となっています。

全 体



(4) 計画相談支援について

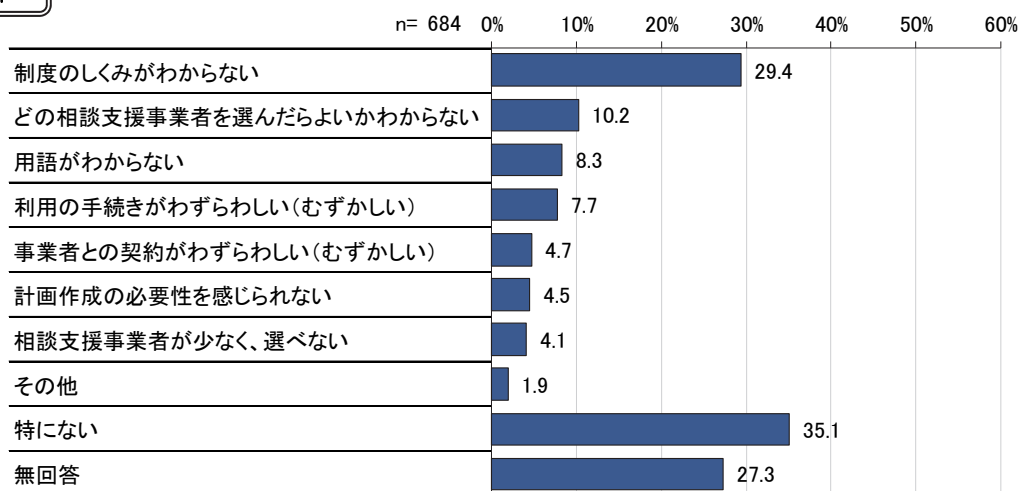
問 38 計画相談支援（サービス等利用計画）について、どのように感じていますか

（〇はいくつでも）

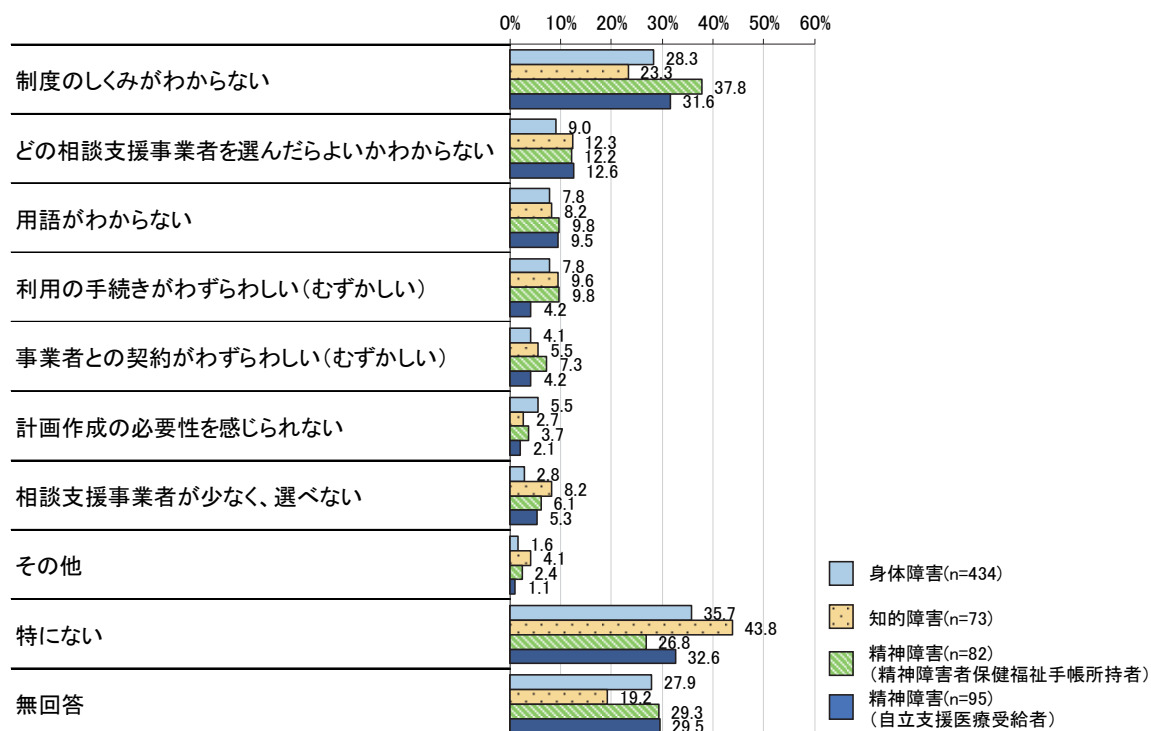
計画相談支援について聞いたところ、全体では「特にない」が 35.1%と最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」(29.4%)、「どの相談支援事業者を選んだらよいかわからない」(10.2%)、「用語がわからない」(8.3%)、「利用の手続きがわずらわしい」(7.7%)などとなっています。

障害種別にみると、身体障害、知的障害、精神障害（自立支援医療受給者）においては、「特にない」が最も多く、次いで「制度のしくみがわからない」となっています。精神障害（精神障害者保健福祉手帳所持者）においては、「制度のしくみがわからない」(37.8%)が最も高く、他の障害種別に比べ高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(5)障害福祉サービスの利用についての困りごと

問 39 障害福祉サービスの利用について、何か困っていることはありますか

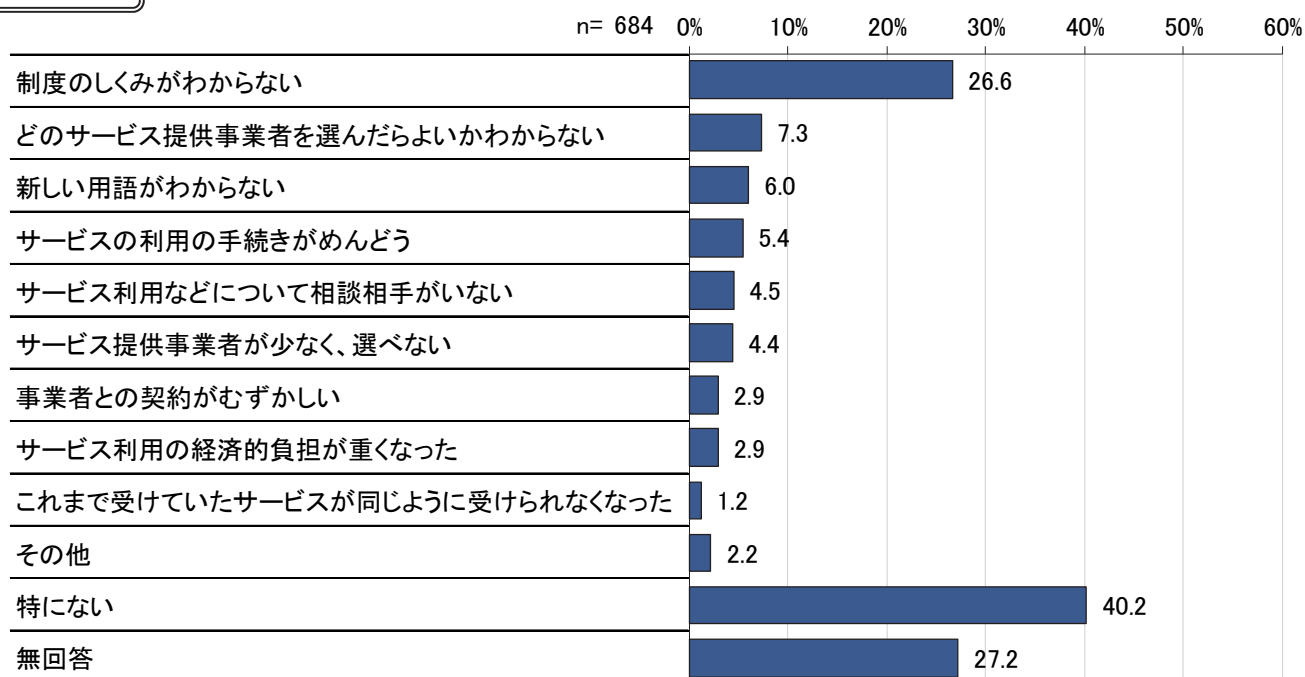
(○はいくつでも)

障害福祉サービスの利用について困っていることは、全体では「特にない」(40.2%)と回答した人の割合が高く、次いで「制度のしくみがわからない」(26.6%)、「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」(7.3%)、「新しい用語がわからない」(6.0%)となっています。

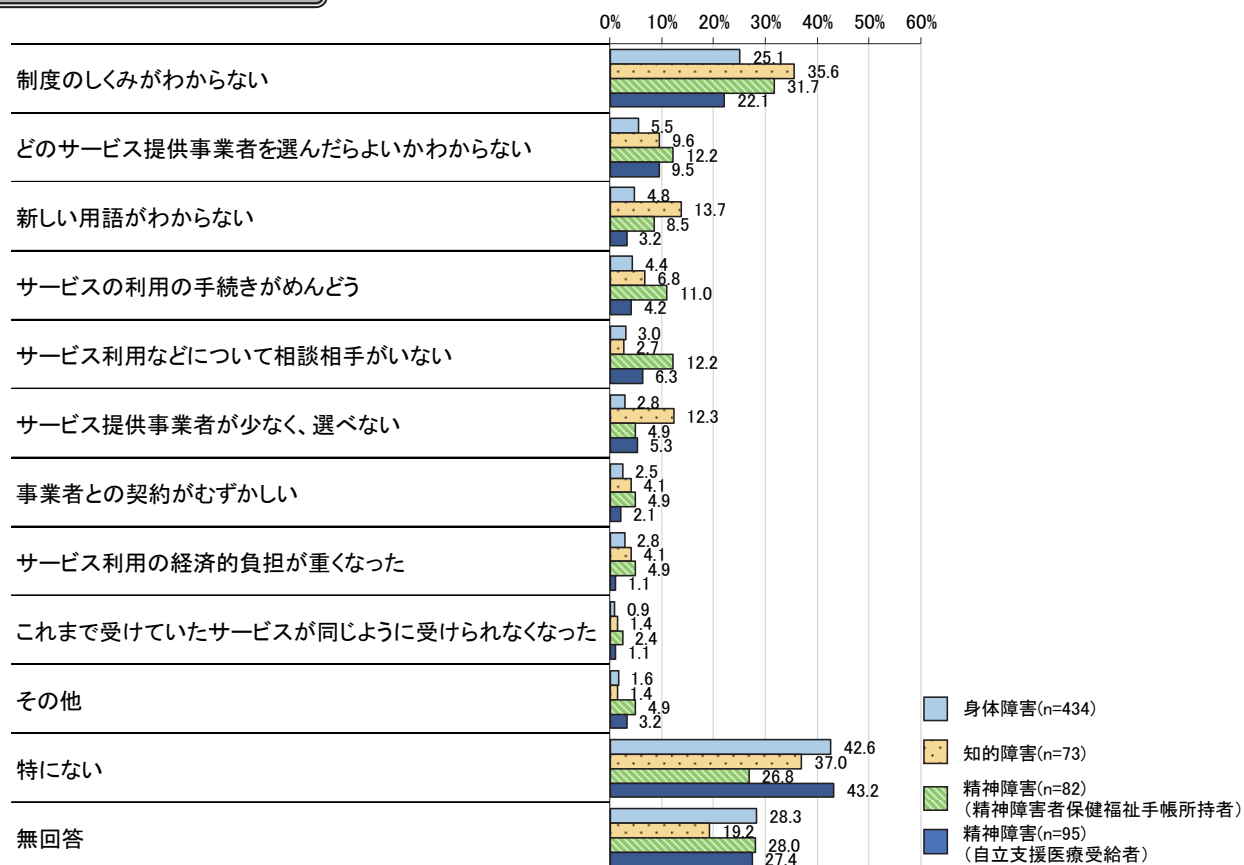
障害種別にみると、身体障害、知的障害、精神障害(自立支援医療受給者)においては、「特にない」が最も高く、次いで「制度のしくみがわからない」となっています。精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)においては、「制度のしくみがわからない」(31.7%)が最も高くなっています。

年齢別にみると、知的障害の18歳未満では「制度の仕組みがわからない」との回答が5割を超え、身体障害の18～64歳では約4割、知的障害と精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の18～64歳も3割以上の回答がみられます。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	制度のしくみがわからない	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない	新しい用語がわからない	サービスの利用の手続きがめんどろ	サービス利用などについて相談相手がいない	サービス提供事業者が少なく、選べない
全体	434 人	25.1%	5.5%	4.8%	4.4%	3.0%	2.8%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	39.7%	11.5%	6.4%	10.3%	6.4%	7.7%
65 歳以上	351 人	22.2%	4.3%	4.6%	3.1%	2.3%	1.7%
	n	事業者との契約がむずかしい	サービス利用の経済的負担が重くなった	これまで受けていたサービスが同じように受けられなくなった	その他	特にない	無回答
全体	434 人	2.5%	2.8%	0.9%	1.6%	42.6%	28.3%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	5.1%	3.8%	1.3%	1.3%	42.3%	14.1%
65 歳以上	351 人	2.0%	2.6%	0.9%	1.7%	42.2%	31.6%

【知的障害・年齢別】

	n	制度のしくみがわからない	どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない	新しい用語がわからない	サービスの利用の手続きがめんどろ	サービス利用などについて相談相手がいない	サービス提供事業者が少なく、選べない
全体	73 人	35.6%	9.6%	13.7%	6.8%	2.7%	12.3%
18 歳未満	14 人	57.1%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	56 人	32.1%	10.7%	12.5%	7.1%	3.6%	16.1%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	n	事業者との契約がむずかしい	サービス利用の経済的負担が重くなった	これまで受けていたサービスが同じように受けられなくなった	その他	特にない	無回答
全体	73 人	4.1%	4.1%	1.4%	1.4%	37.0%	19.2%
18 歳未満	14 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%
18～64 歳	56 人	5.4%	5.4%	1.8%	1.8%	39.3%	21.4%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	制度のしくみが わからない	どのサービス提 供事業者を選 んだらよいかわ からない	新しい用語が わからない	サービスの利用 の手続きがめ んどう	サービス利用な どについて相談 相手がいない	サービス提供 事業者が少な く、選べない
全体	82 人	31.7%	12.2%	8.5%	11.0%	12.2%	4.9%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	35.0%	13.3%	10.0%	13.3%	15.0%	6.7%
65 歳以上	21 人	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%
	n	事業者との契 約が難しい	サービス利用の 経済的負担が 重くなった	これまで受けて いたサービスが 同じように受け られなくなった	その他	特にない	無回答
全体	82 人	4.9%	4.9%	2.4%	4.9%	26.8%	28.0%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	6.7%	5.0%	3.3%	6.7%	30.0%	20.0%
65 歳以上	21 人	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	19.0%	52.4%

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	制度のしくみが わからない	どのサービス提 供事業者を選 んだらよいかわ からない	新しい用語が わからない	サービスの利 用の手続きが めんどう	サービス利用 などについて相 談相手がいな い	サービス提供 事業者が少な く、選べない
全体	95 人	22.1%	9.5%	3.2%	4.2%	6.3%	5.3%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	26.1%	13.0%	4.3%	4.3%	8.7%	6.5%
65 歳以上	29 人	10.3%	3.4%	3.4%	0.0%	3.4%	3.4%
	n	事業者との契 約が難しい	サービス利用 の経済的負担 が重くなった	これまで受けて いたサービスが 同じように受け られなくなった	その他	特にない	無回答
全体	95 人	2.1%	1.1%	1.1%	3.2%	43.2%	27.4%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	54.3%	13.0%
65 歳以上	29 人	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	34.5%	44.8%

5 相談相手について

(1) 差別や嫌な思いをした経験

問 40 障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか

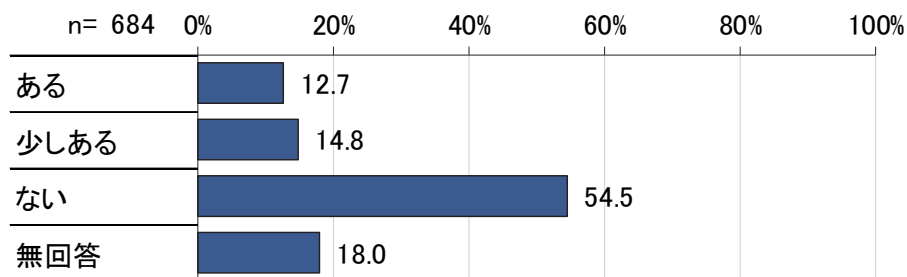
（○はひとつだけ）

障害があることで差別や嫌な思いをする、したことがあるかを聞いたところ、全体では「ある」が12.7%、「少しある」が14.8%、「ない」が54.5%と約半数を占めています。

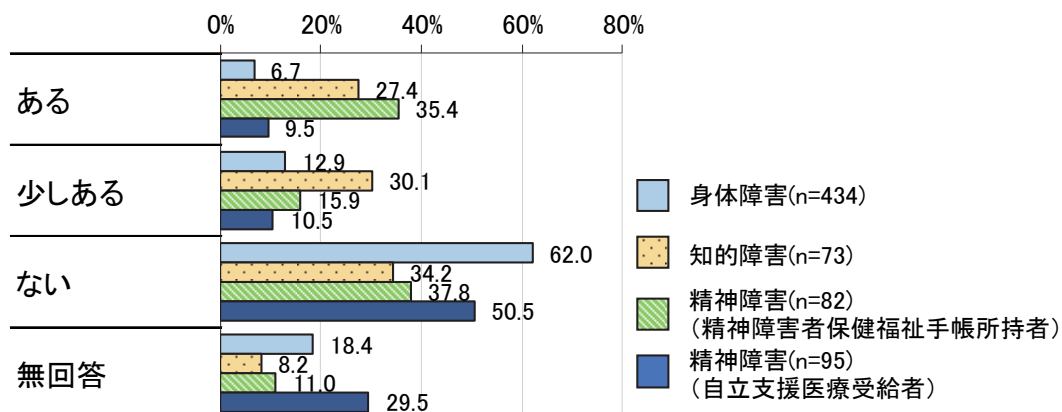
障害種別にみると、知的障害(27.4%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)(35.4%)では「ある」との回答が多くみられます。

また知的障害では「少しある」が30.1%、身体障害では「ない」(62.0%)と回答した人の割合が他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(2) 差別や嫌な思いをした場所

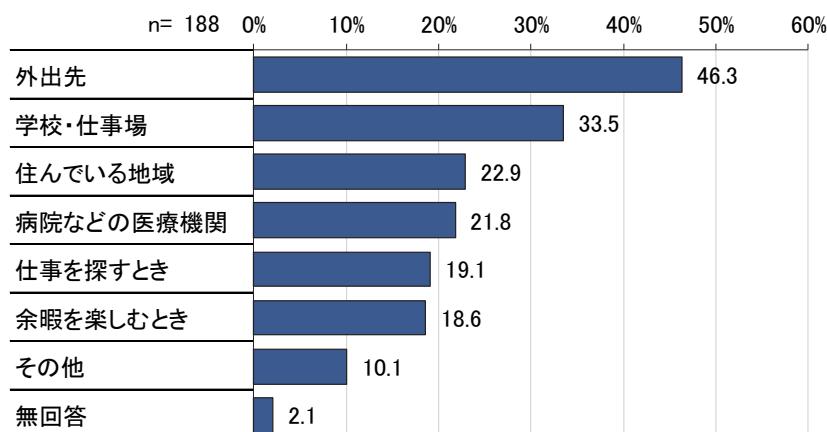
問 40-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか

(〇はいくつでも)

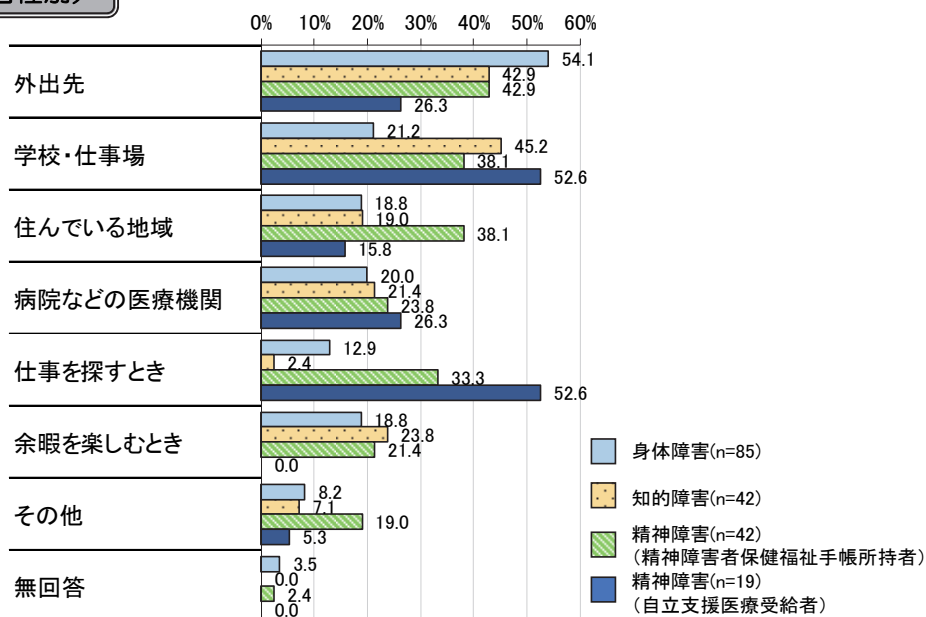
障害があることで差別や嫌な思いをした場所について、全体では「外出先」が46.3%で最も高く、「学校・仕事場」(33.5%)、「住んでいる地域」(22.9%)となっています。

障害種別にみると、身体障害の人は「外出先」(54.1%)、知的障害の人は「学校・仕事場」(45.2%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「外出先」(42.9%)、精神障害(自立支援医療受給者)では「学校・仕事場」「仕事を探すとき」(各 52.6%)が最も高くなっています。「学校・仕事場」については、知的障害、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)も4割前後と高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(3) 困ったときの相談相手

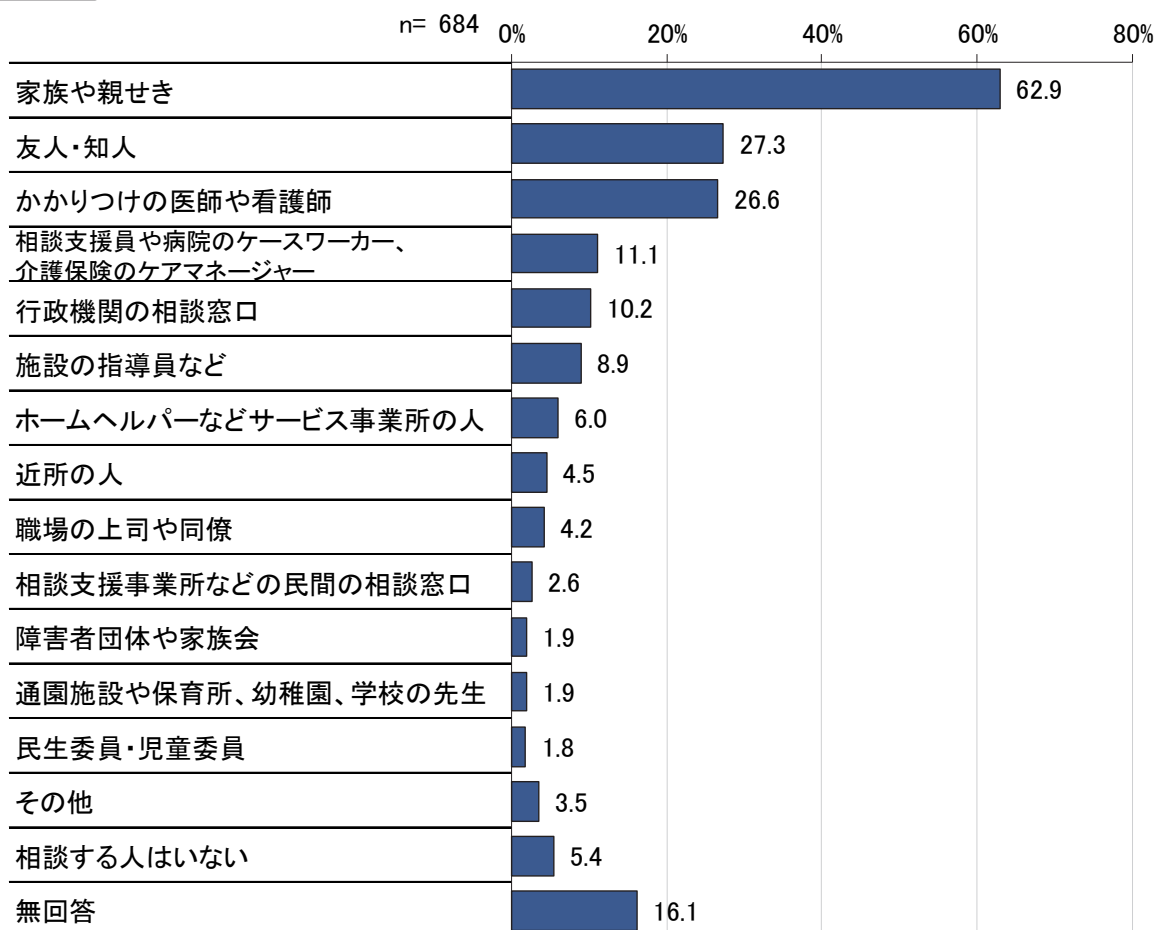
問 41 悩みや困ったことをどなたに相談しますか

(〇はいくつでも)

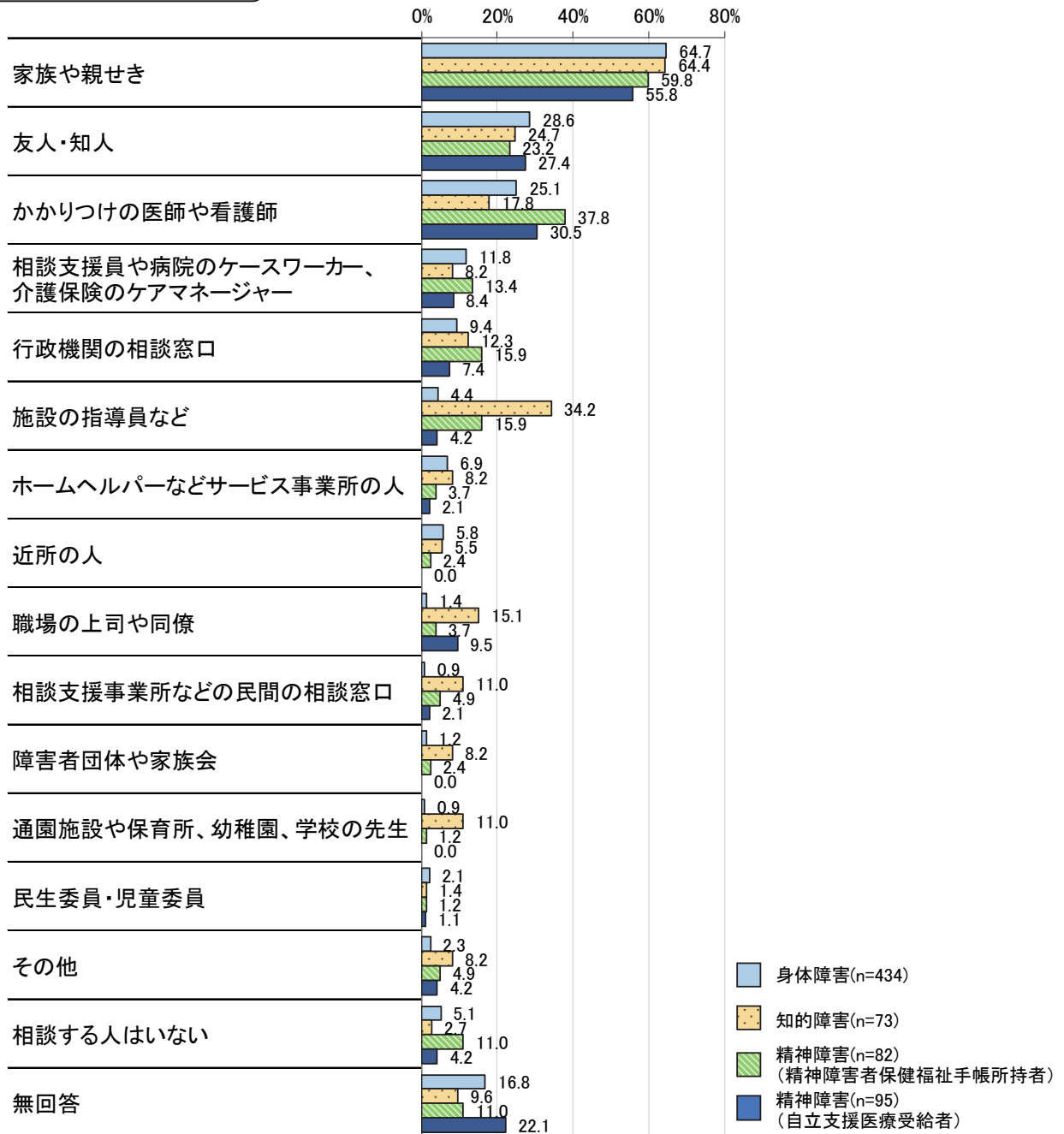
悩みや困ったことなどを相談する相手は、「家族や親せき」が 62.9%と突出して高く、「友人・知人」が 27.3%、「かかりつけの医師や看護師」が 26.6%となっています。

障害種別にみると、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)では「かかりつけの医師や看護師」、知的障害では「施設の指導員など」と回答した人の割合が他の障害種別に比べて高いのが目立ちます。

全 体



クロス集計（障害種別）



(4) 相談するために必要なこと

問 42 困ったときの相談等について、どのようなことをしてほしいですか

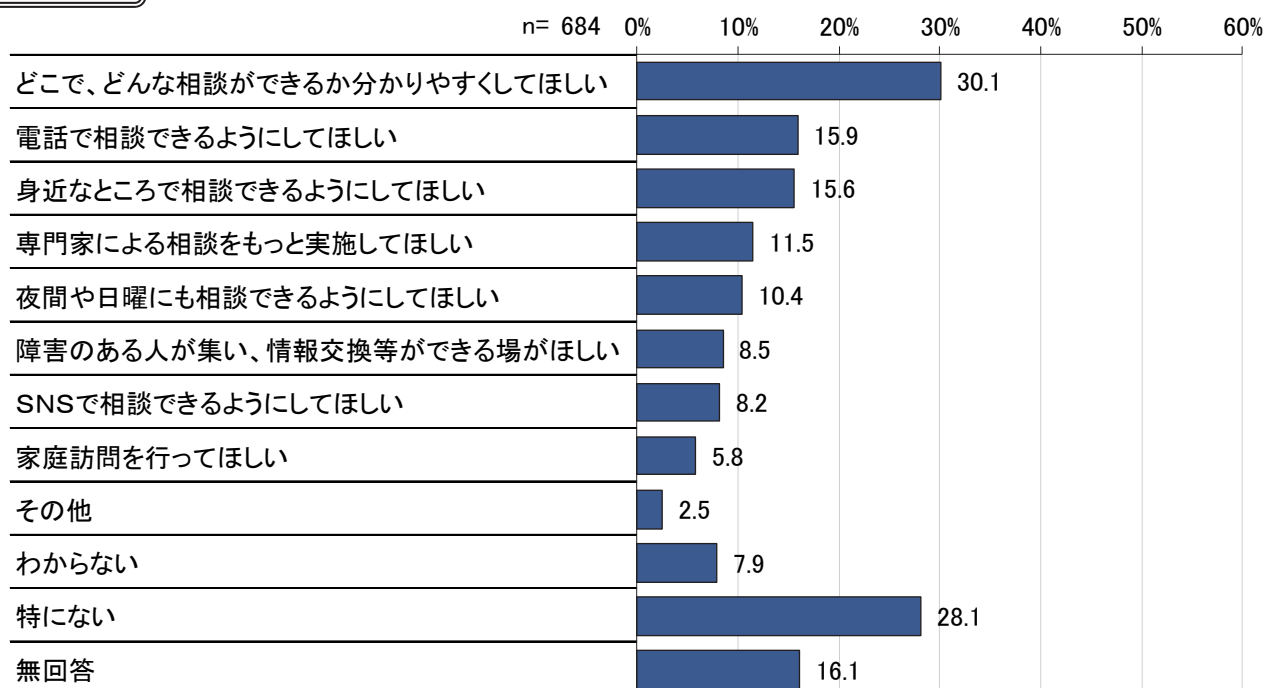
(○はいくつでも)

困ったときの相談等の際にしてほしいこととしては、全体では「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくしてほしい」が 30.1%と最も高く、次いで「電話で相談できるようにしてほしい」(15.9%)、「身近なところで相談できるようにしてほしい」(15.6%)となっています。

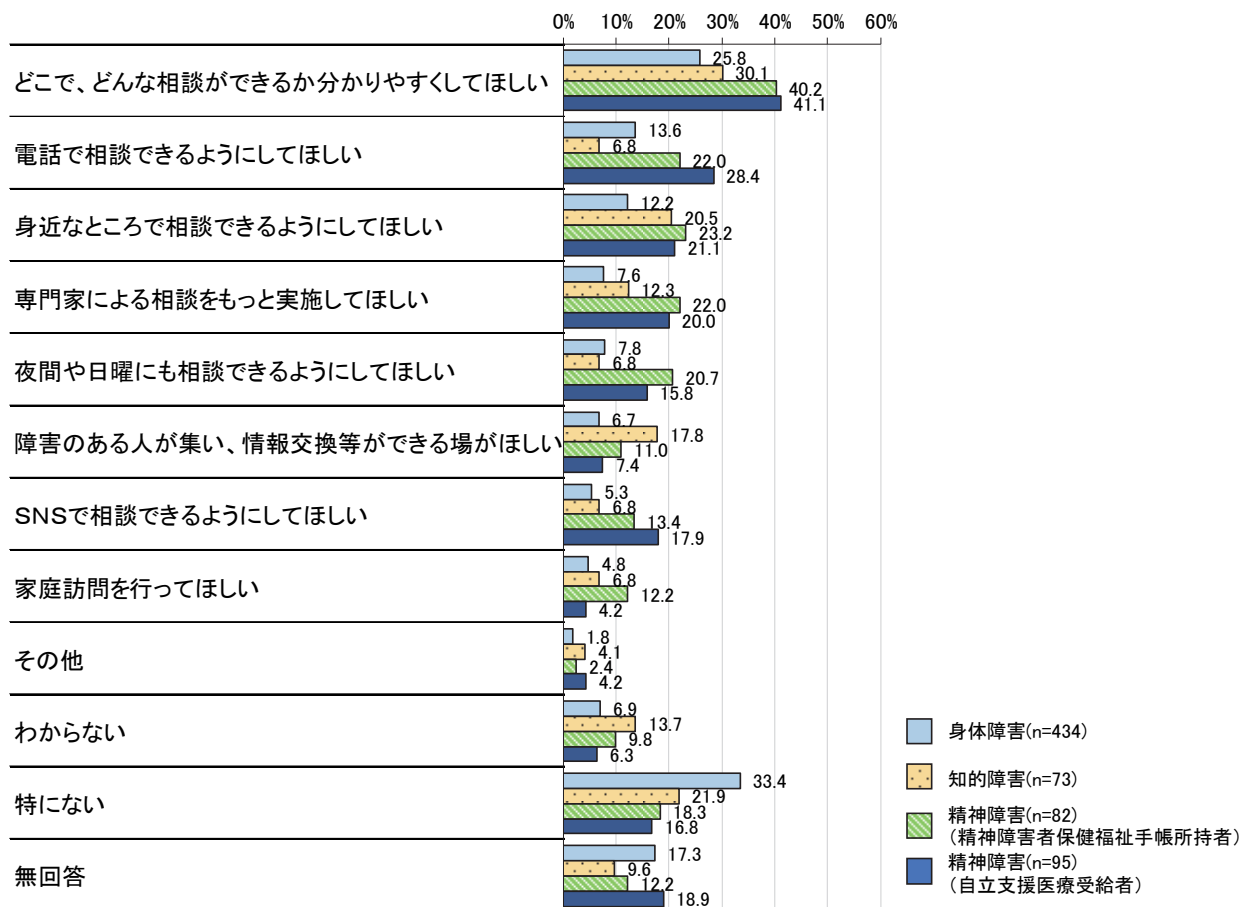
障害種別にみると、身体障害では「特にない」(33.4%)が、最も高く、次いで「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくしてほしい」(25.8%)となっています。他の障害種別では「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくしてほしい」が最も高くなっています。また、精神障害(自立支援医療受給者)の約3割が「電話で相談できるようにしてほしい」と回答しています。

年齢別にみると、知的障害の18歳未満の人では「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくしてほしい」(50.0%)、「身近なところで相談できるようにしてほしい」(35.7%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の18～64歳の人では「どこで、どんな相談ができるか分かりやすくしてほしい」(40.0%)、精神障害(自立支援医療受給者)の18～64歳の人では「電話で相談できるようにしてほしい」(47.8%)をあげる人の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	どこで、どんな 相談ができるか 分かりやすくし てほしい	電話で相談で きるようにして ほしい	身近なところで 相談できるよう にしてほしい	専門家による 相談をもっと実 施してほしい	夜間や日曜に も行ってほしい	障害のある人 が集い、情報 交換等ができ る場がほしい
全体	434 人	25.8%	13.6%	12.2%	7.6%	7.8%	6.7%
18 歳未満	4 人	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
18～64 歳	78 人	44.9%	16.7%	20.5%	7.7%	12.8%	11.5%
65 歳以上	351 人	21.7%	13.1%	10.5%	7.4%	6.3%	5.1%
	n	S N Sで相談 できるようにし てほしい	家庭訪問を行 ってほしい	その他	わからない	特にない	無回答
全体	434 人	5.3%	4.8%	1.8%	6.9%	33.4%	17.3%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	21.8%	2.6%	2.6%	5.1%	25.6%	7.7%
65 歳以上	351 人	1.7%	5.4%	1.7%	7.4%	35.3%	19.7%

【知的障害・年齢別】

	n	どこで、どんな 相談ができるか 分かりやすくし てほしい	電話で相談で きるようにして ほしい	身近なところで 相談できるよう にしてほしい	専門家による 相談をもっと実 施してほしい	夜間や日曜に も行ってほしい	障害のある人 が集い、情報 交換等ができ る場がほしい
全体	73 人	30.1%	6.8%	20.5%	12.3%	6.8%	17.8%
18 歳未満	14 人	50.0%	7.1%	35.7%	28.6%	0.0%	21.4%
18～64 歳	56 人	26.8%	7.1%	17.9%	8.9%	8.9%	17.9%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	n	S N Sで相談 できるようにし てほしい	家庭訪問を行 ってほしい	その他	わからない	特にない	無回答
全体	73 人	6.8%	6.8%	4.1%	13.7%	21.9%	9.6%
18 歳未満	14 人	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
18～64 歳	56 人	5.4%	8.9%	3.6%	12.5%	26.8%	10.7%
65 歳以上	3 人	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	どこで、どんな 相談ができるか 分かりやすくし てほしい	電話で相談で きるようにして ほしい	身近なところで 相談できるよう にしてほしい	専門家による 相談をもっと実 施してほしい	夜間や日曜に も行ってほしい	障害のある人 が集い、情報 交換等ができ る場がほしい
全体	82 人	40.2%	22.0%	23.2%	22.0%	20.7%	11.0%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	40.0%	23.3%	25.0%	26.7%	25.0%	10.0%
65 歳以上	21 人	38.1%	19.0%	14.3%	9.5%	4.8%	14.3%
	n	S N Sで相談 できるようにし てほしい	家庭訪問を行 ってほしい	その他	わからない	特にない	無回答
全体	82 人	13.4%	12.2%	2.4%	9.8%	18.3%	12.2%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	15.0%	10.0%	3.3%	8.3%	20.0%	15.0%
65 歳以上	21 人	9.5%	19.0%	0.0%	14.3%	14.3%	4.8%

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	どこで、どんな 相談ができるか 分かりやすくし てほしい	電話で相談で きるようにして ほしい	身近なところで 相談できるよう にしてほしい	専門家による 相談をもっと実 施してほしい	夜間や日曜に も行ってほしい	障害のある人 が集い、情報 交換等ができ る場がほしい
全体	95 人	41.1%	28.4%	21.1%	20.0%	15.8%	7.4%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	56.5%	47.8%	30.4%	32.6%	23.9%	15.2%
65 歳以上	29 人	31.0%	17.2%	10.3%	10.3%	10.3%	0.0%
	n	S N Sで相談 できるようにし てほしい	家庭訪問を行 ってほしい	その他	わからない	特にない	無回答
全体	95 人	17.9%	4.2%	4.2%	6.3%	16.8%	18.9%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	30.4%	4.3%	6.5%	6.5%	10.9%	4.3%
65 歳以上	29 人	6.9%	3.4%	0.0%	3.4%	24.1%	27.6%

(5)障害や福祉サービスに関する情報の入手先

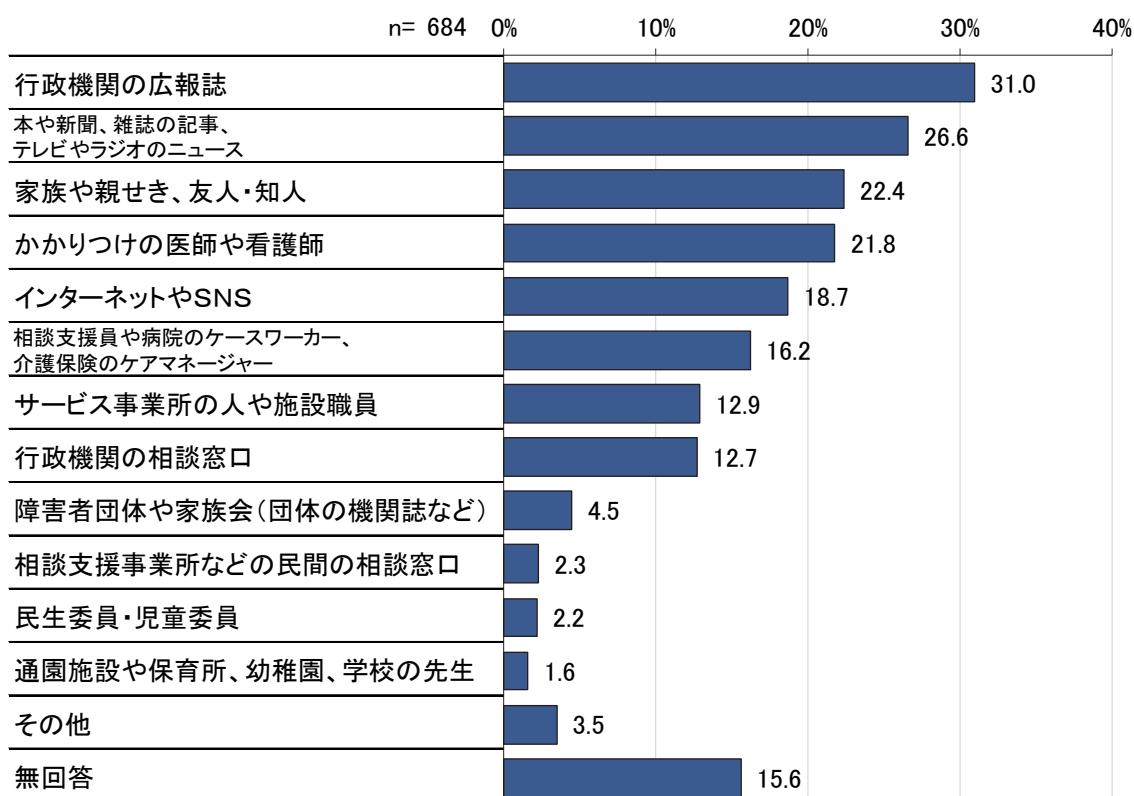
問 43 障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか

(〇はいくつでも)

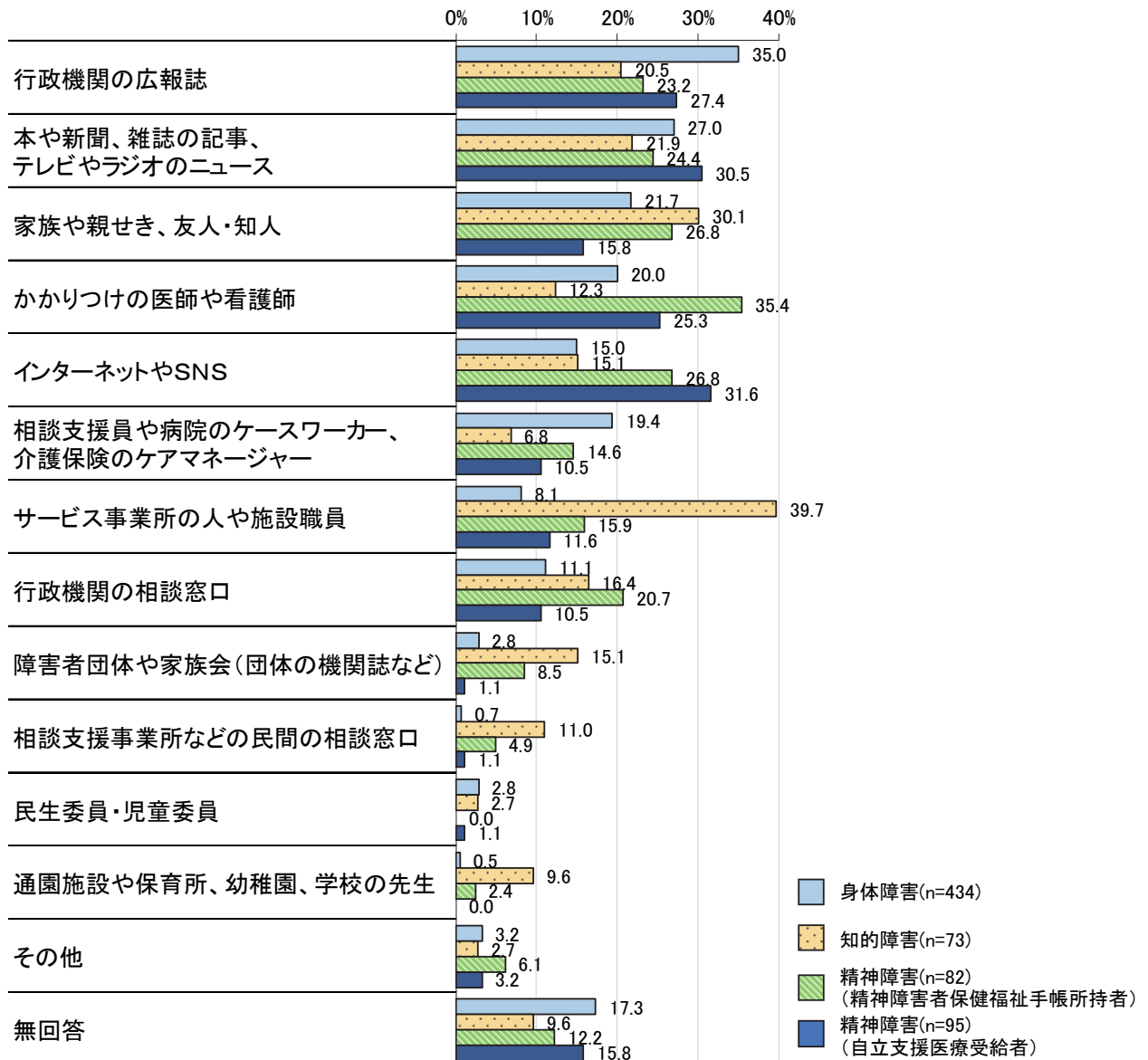
障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手先は、全体では「行政機関の広報誌」が31.0%で最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が26.6%、「家族や親せき、友人・知人」が22.4%、「かかりつけの医師や看護師」が21.8%となっています。

障害種別にみると、身体障害では「行政機関の広報誌」(35.0%)が、精神障害(自立支援医療受給者)では「インターネットやSNS」(31.6%)が最も高くなっています。知的障害では「サービス事業所の人や施設職員」(39.7%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「かかりつけの医師や看護師」(35.4%)の割合が他の障害種別に比べて高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



(6)近所づきあいの程度

問 44 あなたは近所づきあいをどの程度していますか

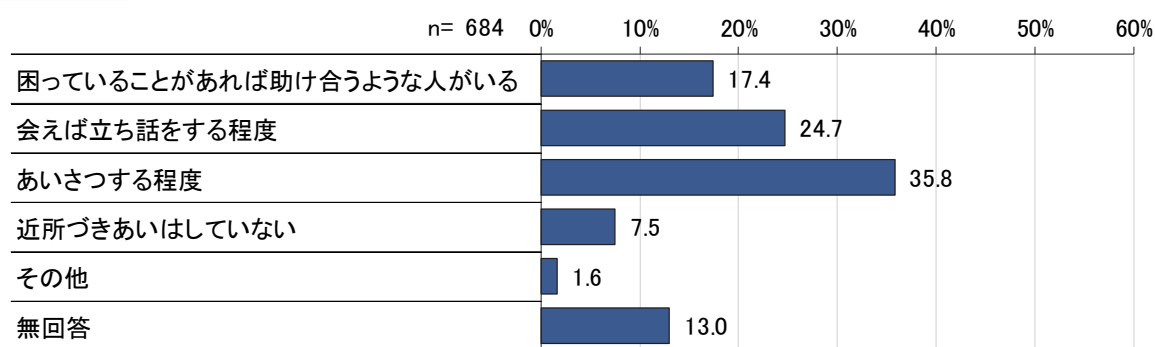
(○はひとつだけ)

近所づきあいをどの程度しているかについては、「あいさつする程度」が35.8%と最も高く、次に「会えば立ち話をする程度」(24.7%)、「困っていることがあれば助け合うような人がある」(17.4%)となっています。

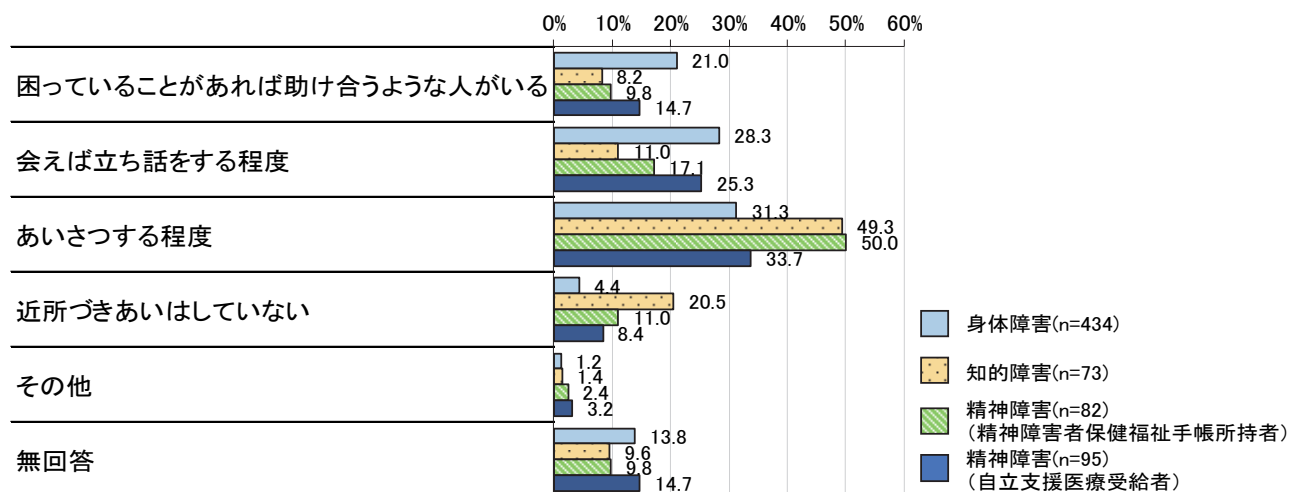
障害種別にみると、「あいさつする程度」がいずれの種別でも最も高い割合を占めていて、身体障害では「会えば立ち話をする程度」(28.3%)、「困っていることがあれば助け合うような人がある」(21.0%)が他の障害種別に比べて高くなっています。

知的障害では「近所づきあいはしていない」(20.5%)が他の種別に比べて高く、「会えば立ち話をする程度」(11.0%)と「困っていることがあれば助け合うような人がある」(8.2%)は低い割合にとどまっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(7)近所づきあいの必要度

問 45 あなたにとって、近所づきあいは必要ですか

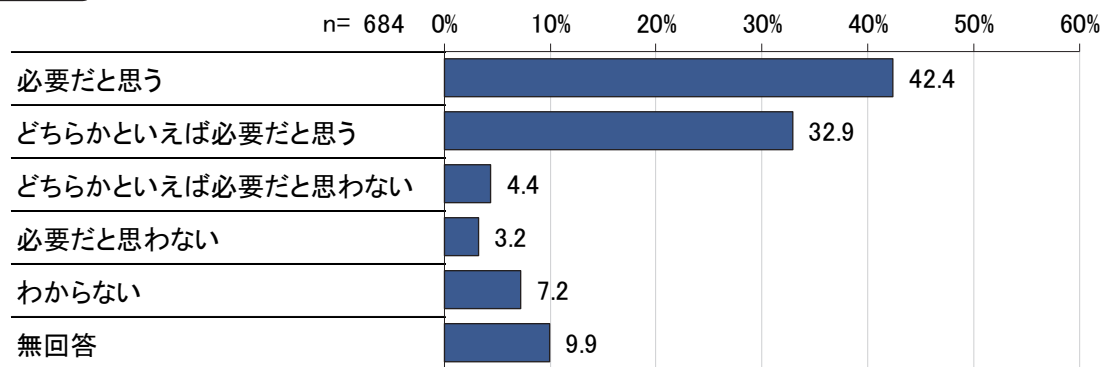
(○はひとつだけ)

近所づきあいの必要度については、「必要だと思う」が42.4%と最も高く、「どちらかといえば必要だと思う」(32.9%)と合わせると、“必要”と思う人が7割を超えています。

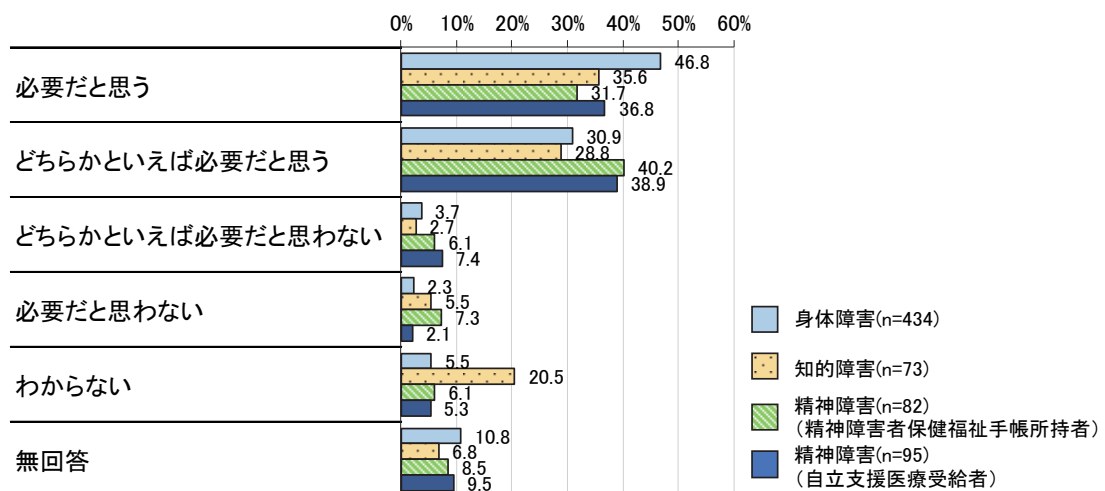
障害種別にみると、身体障害では「必要だと思う」と回答した人が46.8%と最も高く、“必要”と思う人は8割近くにのぼります。知的障害でも“必要”と回答した人は64.4%と高いものの、「わからない」(20.5%)が他の障害種別に比べて高いことが目立っています。

精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)と精神障害(自立支援医療受給者)では、“必要”と回答した人の割合がいずれも7割を超えている一方で、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)で“不要”と思う人の割合が13.4%と、他の障害種別と比べて高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(8) 成年後見制度の認知状況

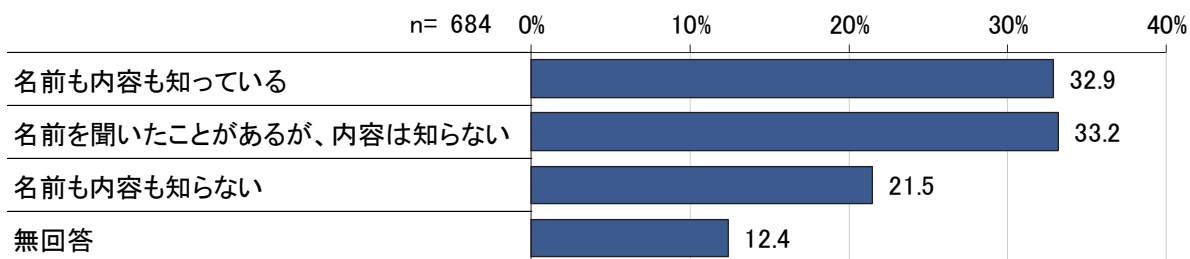
問 46 成年後見制度についてご存じですか

(○はひとつだけ)

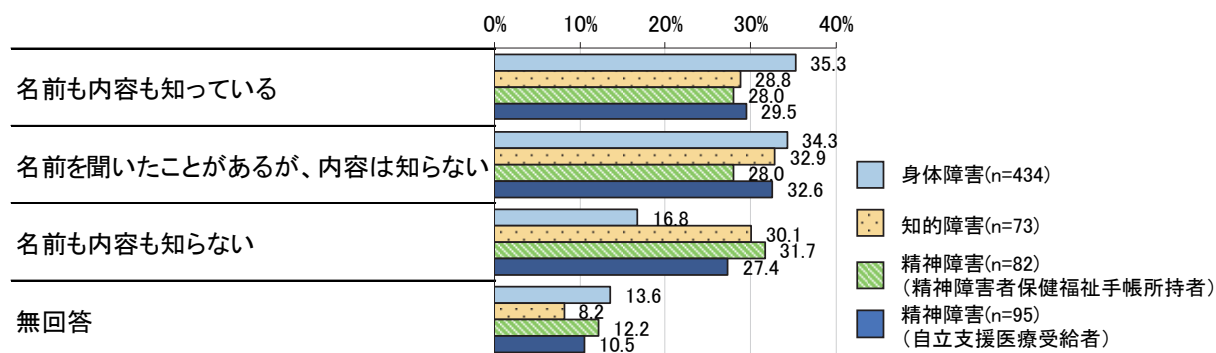
成年後見制度の認知状況をみると、全体では「名前も内容も知っている」が 32.9%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 33.2%、「名前も内容も知らない」が 21.5%となっています。

障害種別にみると、身体障害では「名前も内容も知っている」(35.3%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「名前も内容も知らない」(31.7%)、知的障害と精神障害(自立支援医療受給者)では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」で両方とも 3 割程度で高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(9)障害者差別解消法の認知状況

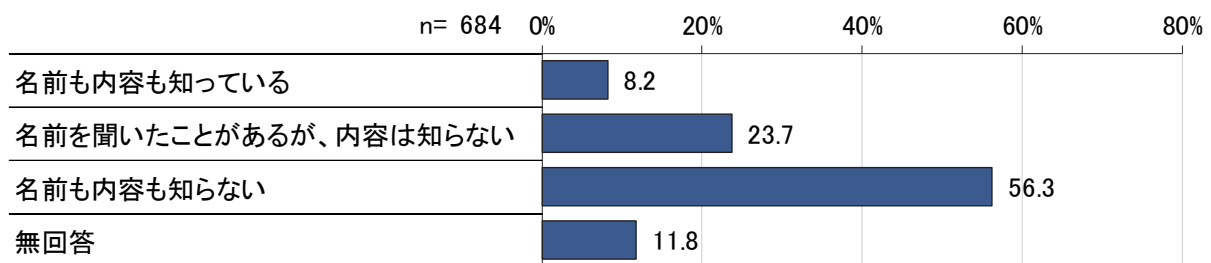
問 47 あなたは「障害者差別解消法」についてご存じですか

(○はひとつだけ)

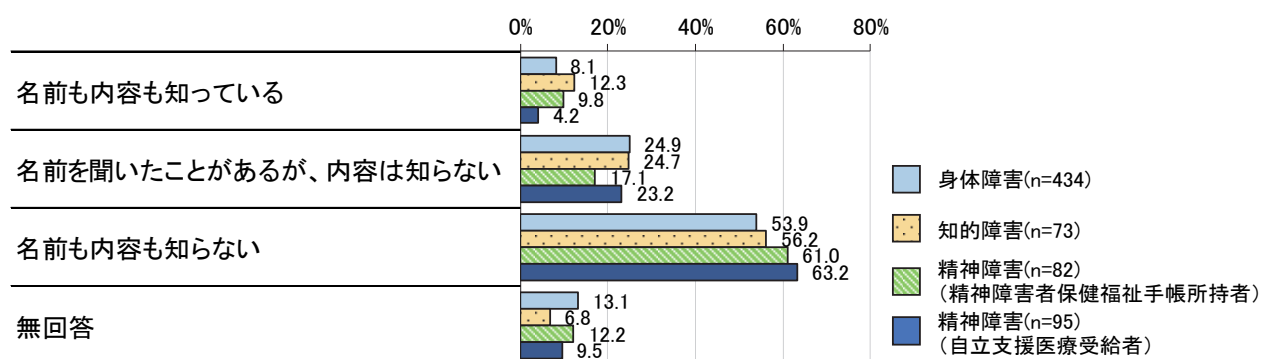
障害者差別解消法の認知状況については、全体では「名前も内容も知らない」(56.3%)が最も高く、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(23.7%)、「名前も内容も知っている」(8.2%)となっています。

障害種別にみると、知的障害では「名前も内容も知っている」が12.3%と、他の障害種別と比べてやや高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



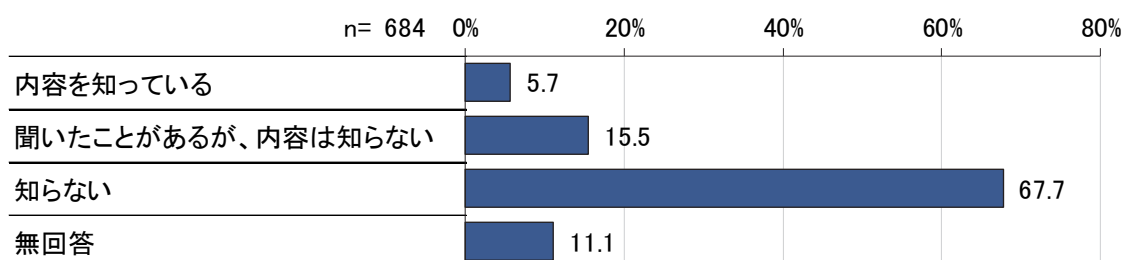
(10)「合理的配慮」の認知状況

問 48 あなたは障害者差別解消法で求められる「合理的配慮」についてご存じですか
(○はひとつだけ)

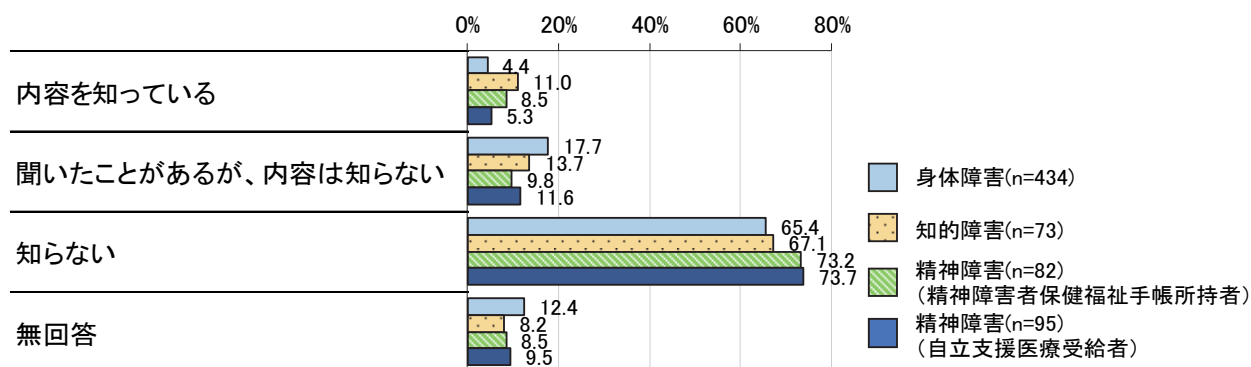
合理的配慮の認知状況については、全体では「知らない」(67.7%)が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(15.5%)、「内容を知っている」(5.7%)の順となっています。

障害種別にみると、障害者差別解消法の認知状況と同様の結果となっていますが、全ての種別で「知らない」と回答した人の割合が 10 ポイント以上高くなっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



6 災害時の避難等について

(1) 災害時の一人での避難

問 49 火事や地震等の災害時に一人で避難できますか

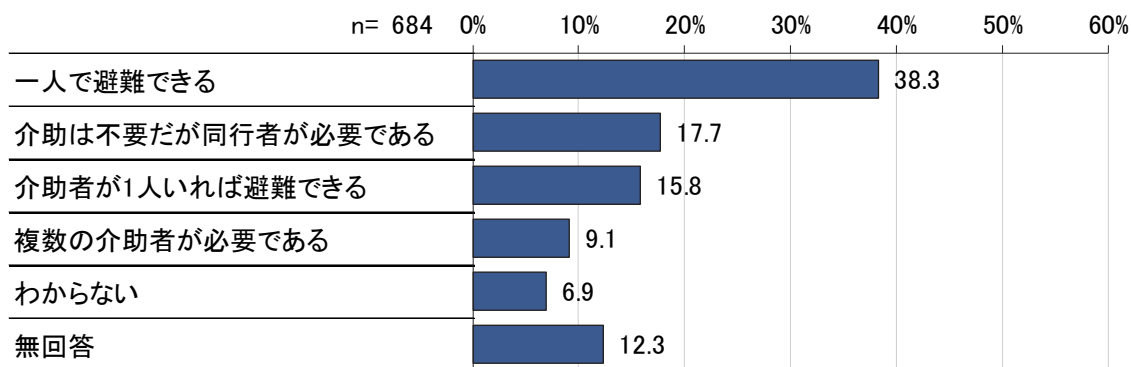
(○はひとつだけ)

火事や地震等の災害時に一人で避難できるかについて、全体では「一人で避難できる」と回答した人が 38.3%、「介助は不要だが同行者が必要である」が 17.7%となっています。

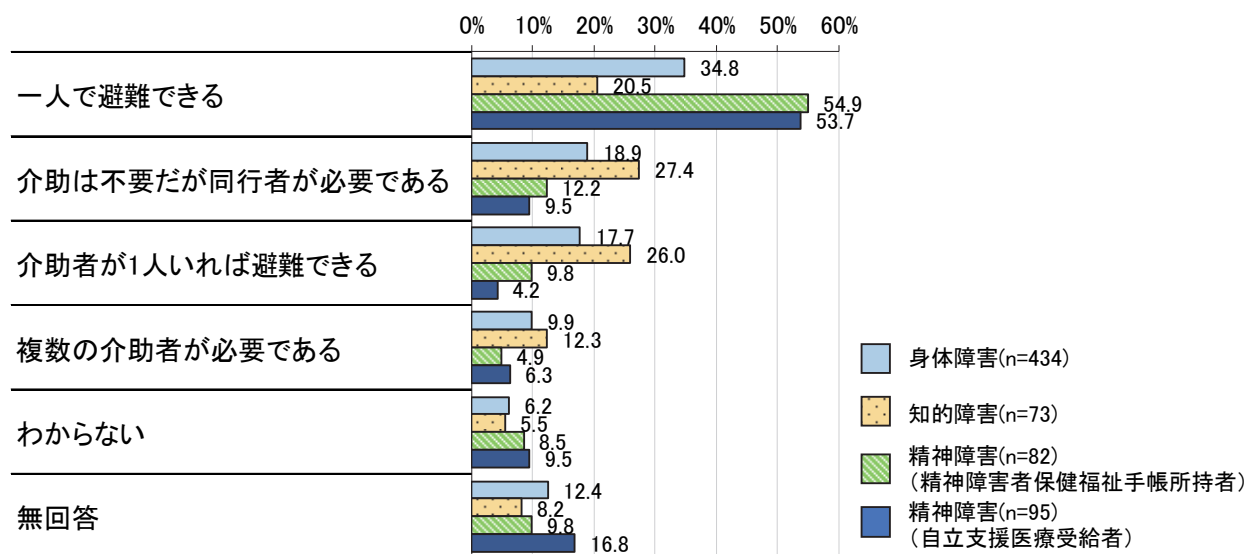
次に「介助者が1人いれば避難できる」(15.8%)、「複数の介助者が必要である」(9.1%)、「わからない」(6.9%)と続き、同行者・介助者が必要な割合は4割を超えています。

障害種別にみると、精神障害(自立支援医療受給者)・精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)ともに5割以上の人が「できる」としています。知的障害では「できる」が 20.5%にとどまり、「同行者が必要」「介助者が必要」と回答した人の合計が半数以上を占めています。

全 体



クロス集計（障害種別）



年齢層別にみると、知的障害の18歳未満では「介助は不要だが同行者が必要である」(50.0%)、「介助者が1人いれば避難できる」(35.7%)と、合わせると8割以上の方が“何らかの助けが必要”と回答しています。

精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の18～64歳では「一人で避難できる」と回答された人が63.3%と最も高くなっています。65歳以上ではおよそ3人に1人が「一人で避難できる」と回答している一方で、「介助は不要だが同行者が必要である」(19.0%)、「介助者が1人いれば避難できる」(19.0%)、「複数の介助者が必要である」(14.3%)と、合計で5割以上の方が“何らかの助けが必要”と回答しています。

精神障害(自立支援医療受給者)では、18～64歳は80.4%、65歳以上は31.0%の人が「一人で避難できる」と回答しています。

【身体障害・年齢別】

	n	一人で避難できる	介助は不要だが同行者が必要である	介助者が1人いれば避難できる	複数の介助者が必要である	わからない	無回答
全体	434 人	34.8%	18.9%	17.7%	9.9%	6.2%	12.4%
18 歳未満	4 人	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	41.0%	16.7%	20.5%	6.4%	10.3%	5.1%
65 歳以上	351 人	33.9%	19.4%	16.8%	10.5%	5.1%	14.2%

【知的障害・年齢別】

	n	一人で避難できる	介助は不要だが同行者が必要である	介助者が1人いれば避難できる	複数の介助者が必要である	わからない	無回答
全体	73 人	20.5%	27.4%	26.0%	12.3%	5.5%	8.2%
18 歳未満	14 人	14.3%	50.0%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	56 人	21.4%	23.2%	23.2%	16.1%	7.1%	8.9%
65 歳以上	3 人	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	一人で避難できる	介助は不要だが同行者が必要である	介助者が1人いれば避難できる	複数の介助者が必要である	わからない	無回答
全体	82 人	54.9%	12.2%	9.8%	4.9%	8.5%	9.8%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	63.3%	10.0%	6.7%	1.7%	10.0%	8.3%
65 歳以上	21 人	33.3%	19.0%	19.0%	14.3%	0.0%	14.3%

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	一人で避難できる	介助は不要だが同行者が必要である	介助者が1人いれば避難できる	複数の介助者が必要である	わからない	無回答
全体	95 人	53.7%	9.5%	4.2%	6.3%	9.5%	16.8%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	80.4%	2.2%	2.2%	0.0%	6.5%	8.7%
65 歳以上	29 人	31.0%	13.8%	6.9%	10.3%	17.2%	20.7%

(2)避難行動要支援者リストの認知状況

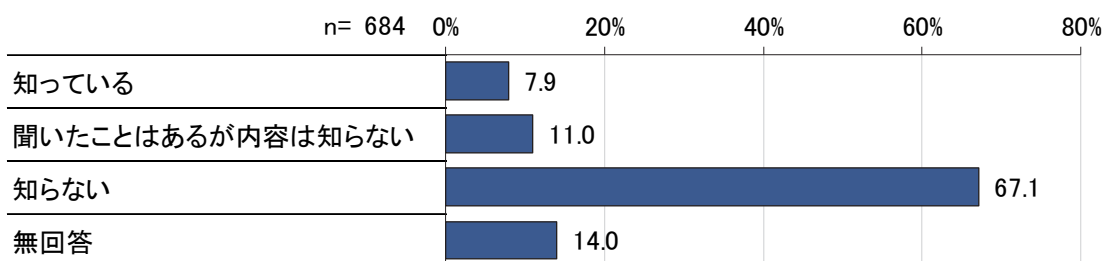
問 50 町の避難行動要支援者リストを知っていますか

(○はひとつだけ)

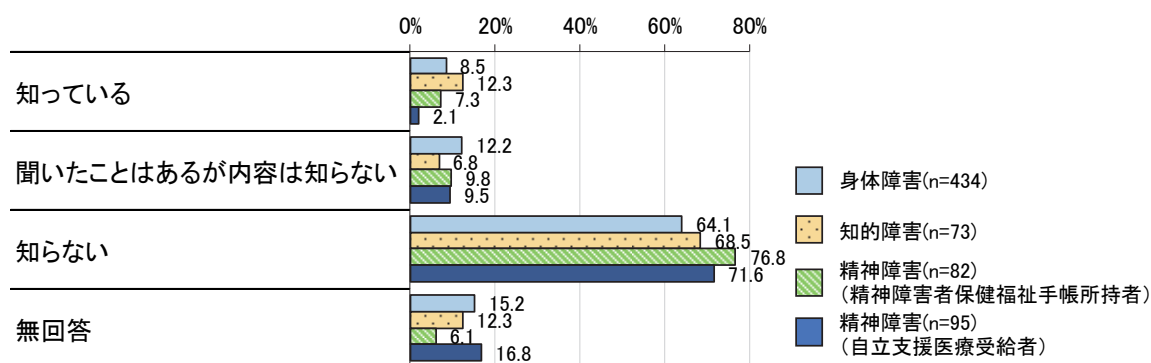
避難行動要支援者リストの認知状況については、全体では「知らない」(67.1%)が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(11.0%)、「知っている」(7.9%)となっています。

障害種別にみると、おおむね全体と同じ比率で回答されていますが、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”と回答された人が、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)と精神障害(自立支援医療受給者)の両方で8割を超えています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(3)避難行動要支援者リストへの登録状況

問 51 【知っていると答えた方】登録はしていますか

(○はひとつだけ)

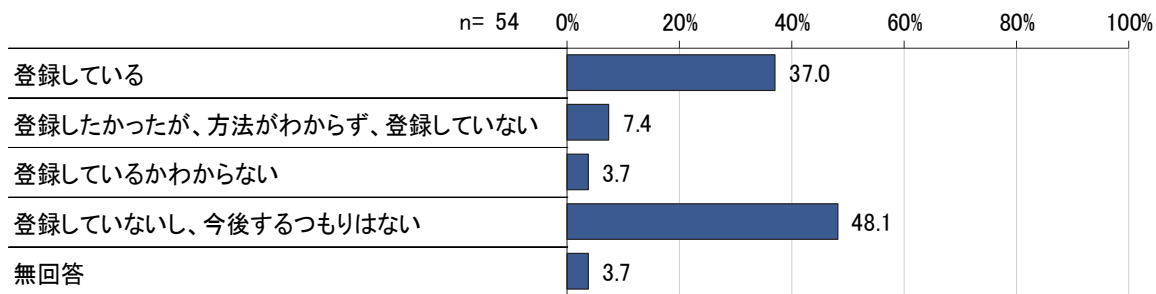
避難行動要支援者リストの登録状況については、全体では「登録していないし、今後するつもりはない」(48.1%)、「登録している」(37.0%)、「登録したかったが、方法がわからず、登録していない」(7.4%)、「登録しているかわからない」(3.7%)の順となっています。

障害種別にみると、知的障害では「登録している」と回答した人が 88.9%と、他の障害種別と比べて高い割合となっています。

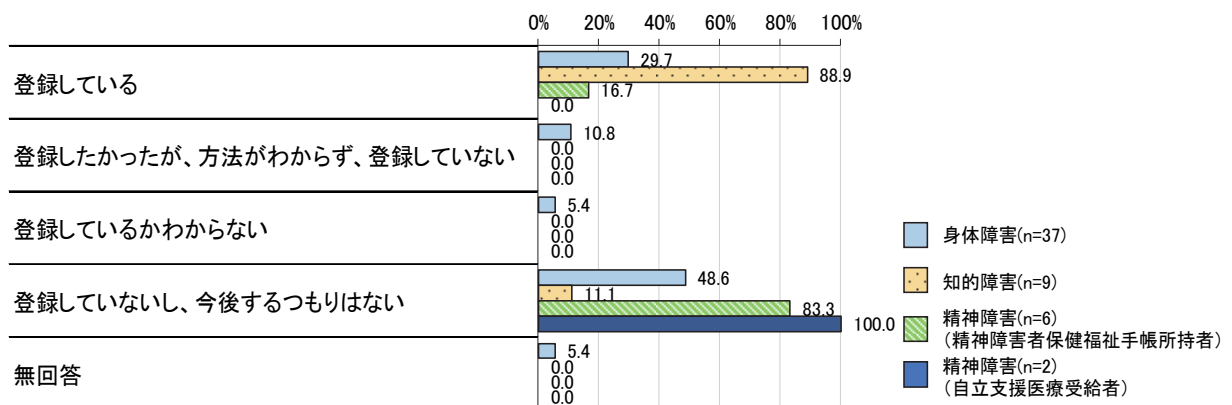
身体障害では「登録している」と回答した人は約3割にとどまり、「登録していないし、今後するつもりはない」(48.6%)と回答した人を下回っています。

精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)でも、「登録していないし、今後するつもりはない」と回答した人が 83.3%となっています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(4) 近所に助けてくれる人の有無

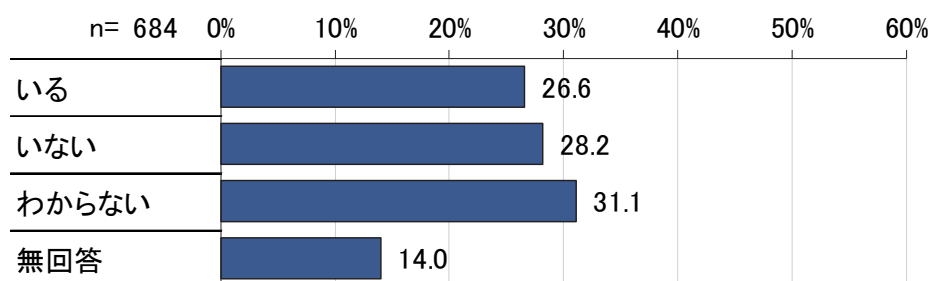
問 52 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか

(○はひとつだけ)

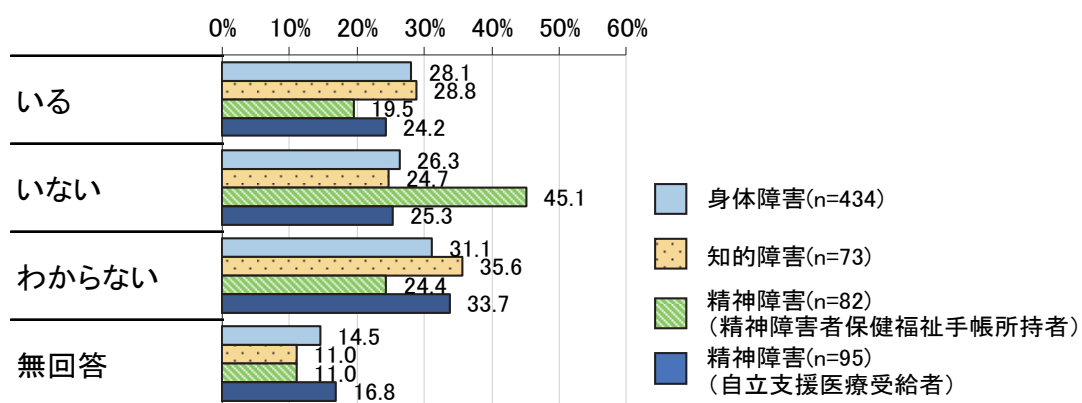
家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる人がいるかを聞いたところ、全体では「いる」と回答した人が26.6%、「いない」が28.2%、「わからない」が31.1%となっています。

障害種別にみると、いずれの障害種別でも「いる」との回答が3割を下回り、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「いない」と回答した人が45.1%と突出しています。

全 体



クロス集計 (障害種別)



(5) 災害時の困りごと

問 53 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか

(〇はいくつでも)

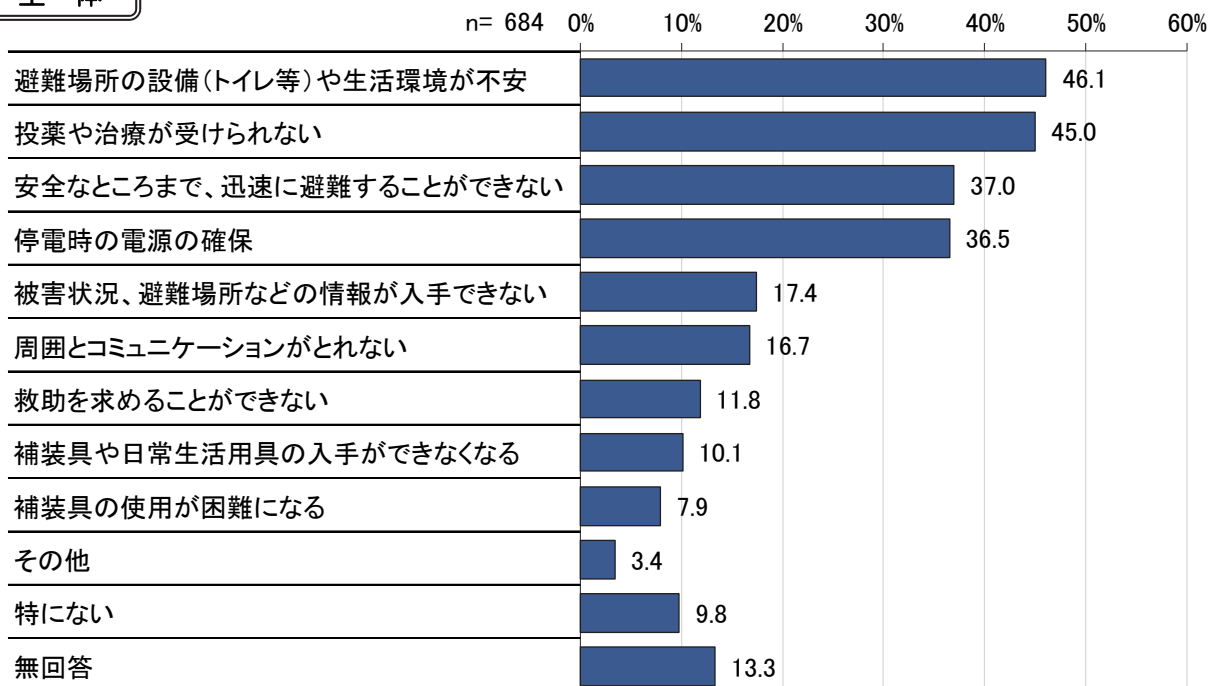
火事や地震等の災害時に困ることとしては、全体では「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」(46.1%)、「投薬や治療が受けられない」(45.0%)が4割以上を占め、次いで、「安全なところまで、迅速に避難することができない」(37.0%)「停電時の電源の確保」(36.5%)の順となっています。

障害種別にみると、知的障害では「周囲とコミュニケーションがとれない」(43.8%)、「救助を求めることができない」(30.1%)、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では、「投薬や治療が受けられない」(59.8%)と回答した人の割合が他の障害者種別に比べて高くなっています。

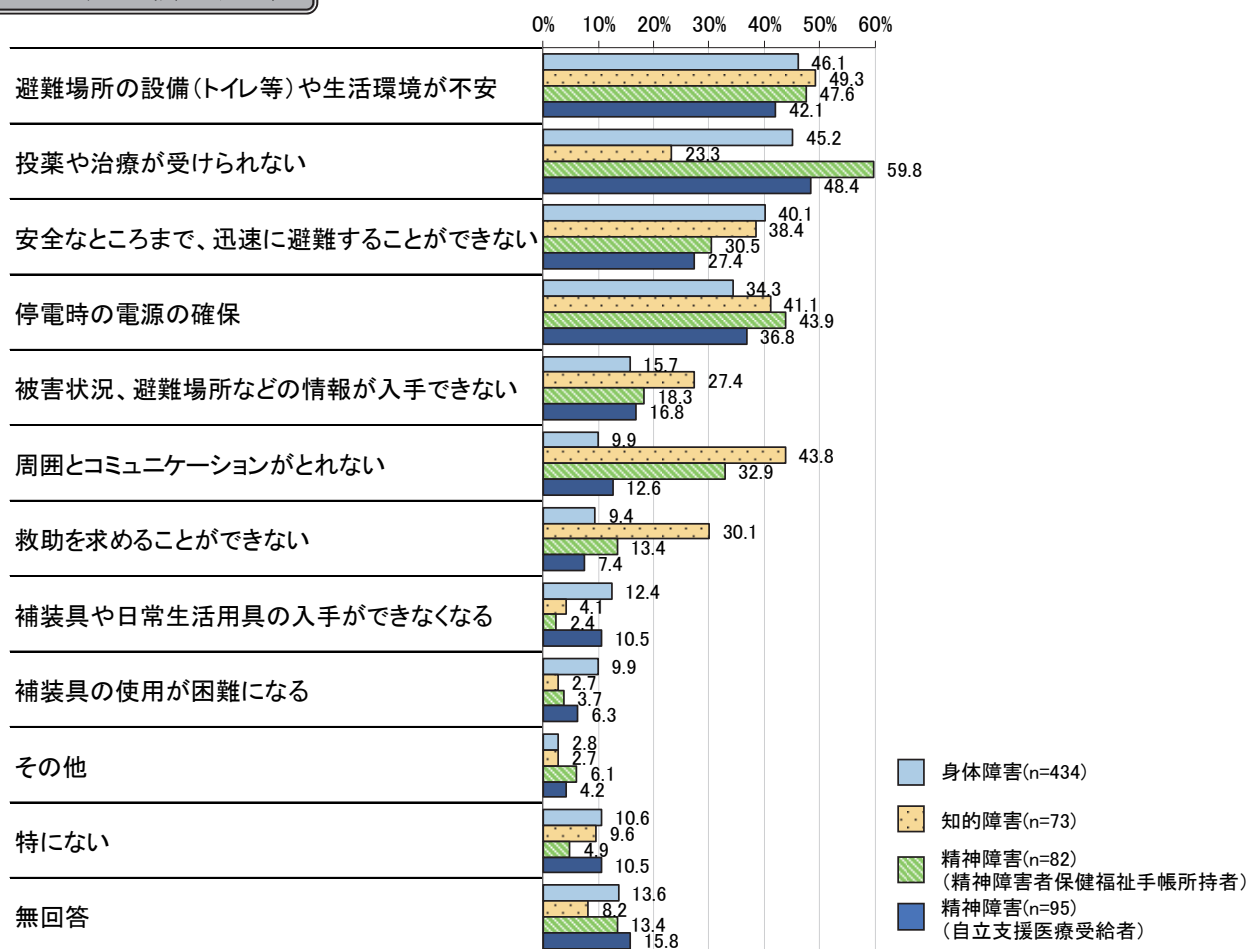
年齢別にみると「投薬や治療が受けられない」との回答は、知的障害を除く3つの障害の18～64歳でそれぞれ6割以上となっています。

さらに精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)、精神障害(自立支援医療受給者)の18～64歳では、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が5割、「停電時の電源の確保」が4割を超えています。「救助を求めることができない」との回答は、身体障害の18歳未満(25.0%)、18～64歳(12.8%)、知的障害のすべての年齢層で約3割程度、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)の18～64歳(16.7%)で高くなっています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	投薬や治療が受けられない	安全なところまで、迅速に避難することができない	停電時の電源の確保	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない
全体	434 人	46.1%	45.2%	40.1%	34.3%	15.7%	9.9%
18 歳未満	4 人	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
18～64 歳	78 人	47.4%	60.3%	41.0%	39.7%	16.7%	12.8%
65 歳以上	351 人	46.2%	41.9%	39.9%	33.6%	15.1%	9.1%
	n	救助を求めることができない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体	510 人	9.4%	12.4%	9.9%	2.8%	10.6%	13.6%
18 歳未満	3 人	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	93 人	12.8%	19.2%	17.9%	1.3%	7.7%	3.8%
65 歳以上	409 人	8.3%	11.1%	8.3%	3.1%	11.4%	16.0%

【知的障害・年齢別】

	n	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	投薬や治療が受けられない	安全なところまで、迅速に避難することができない	停電時の電源の確保	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない
全体	73 人	49.3%	23.3%	38.4%	41.1%	27.4%	43.8%
18 歳未満	14 人	64.3%	7.1%	35.7%	35.7%	21.4%	64.3%
18～64 歳	56 人	46.4%	26.8%	37.5%	42.9%	30.4%	39.3%
65 歳以上	3 人	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%
	n	救助を求めることができない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体	73 人	30.1%	4.1%	2.7%	2.7%	9.6%	8.2%
18 歳未満	14 人	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%
18～64 歳	56 人	30.4%	5.4%	3.6%	1.8%	12.5%	8.9%
65 歳以上	3 人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	投薬や治療が受けられない	安全なところまで、迅速に避難することができない	停電時の電源の確保	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない
全体	82 人	47.6%	59.8%	30.5%	43.9%	18.3%	32.9%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	51.7%	68.3%	28.3%	48.3%	13.3%	36.7%
65 歳以上	21 人	38.1%	38.1%	33.3%	28.6%	28.6%	19.0%
	n	救助を求めることができない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体	82 人	13.4%	2.4%	3.7%	6.1%	4.9%	13.4%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	16.7%	3.3%	1.7%	6.7%	3.3%	10.0%
65 歳以上	21 人	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%	9.5%	23.8%

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	投薬や治療が受けられない	安全なところまで、迅速に避難することができない	停電時の電源の確保	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない
全体	95 人	42.1%	48.4%	27.4%	36.8%	16.8%	12.6%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	52.2%	63.0%	19.6%	45.7%	19.6%	10.9%
65 歳以上	29 人	27.6%	34.5%	34.5%	27.6%	10.3%	13.8%
	n	救助を求めることができない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体	95 人	7.4%	10.5%	6.3%	4.2%	10.5%	15.8%
18 歳未満	1 人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	8.7%	6.5%	4.3%	6.5%	10.9%	8.7%
65 歳以上	29 人	3.4%	10.3%	6.9%	0.0%	10.3%	24.1%

7 障害者施策について

(1) 葉山町の暮らしやすさ

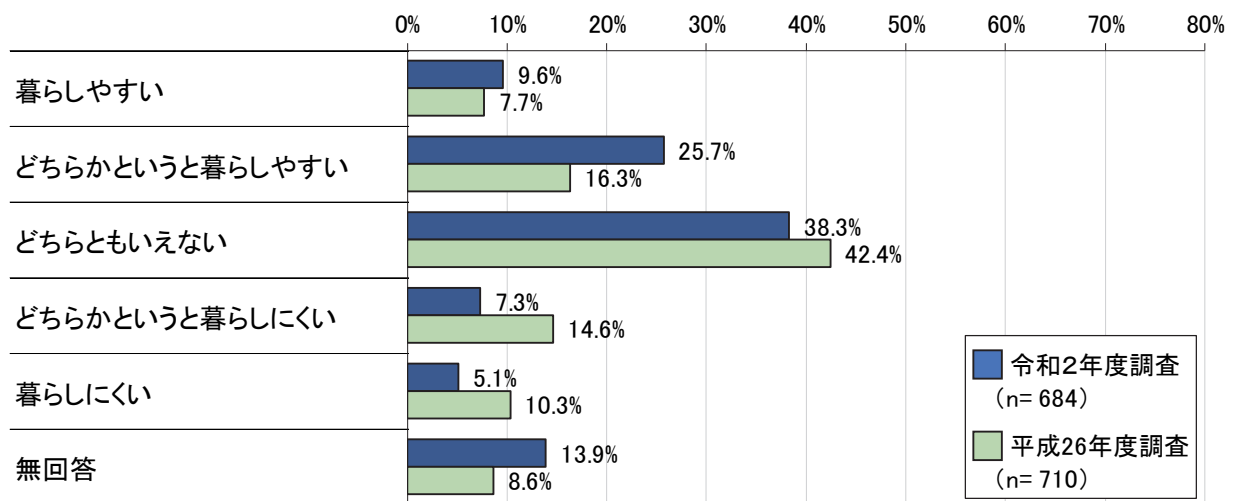
問 55 総合的にみて、現在の葉山町は障害のある人にとって暮らしやすいまち
だと思われませんか

(○はひとつだけ)

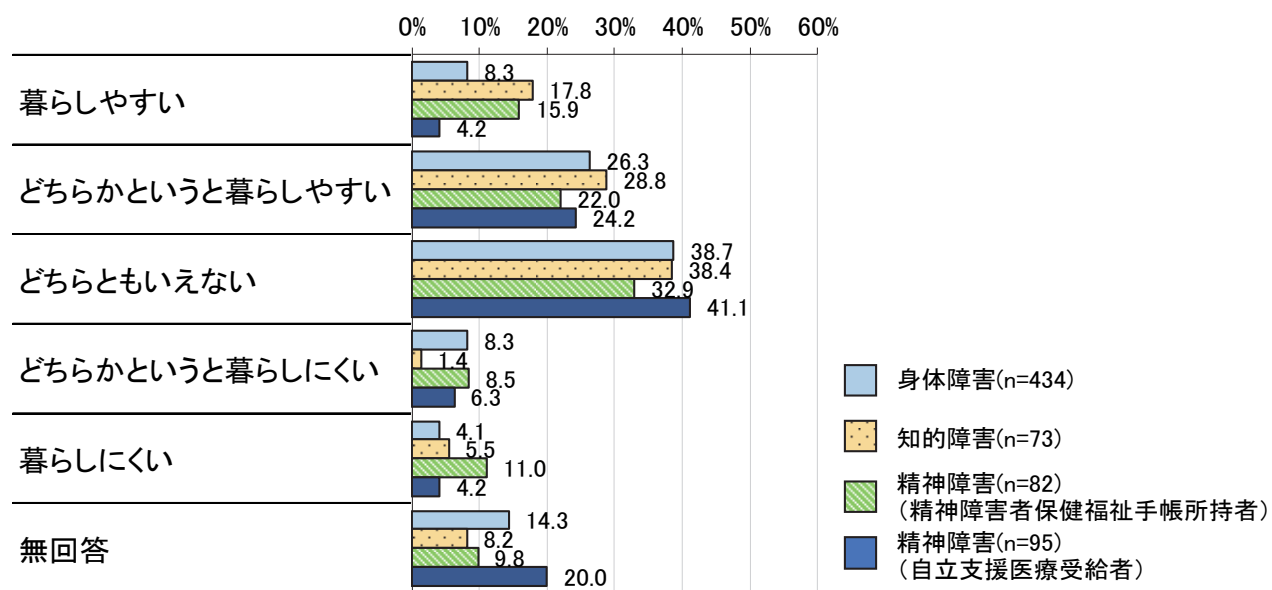
総合的にみて、障害のある人にとって葉山町の暮らしやすさを聞いたところ、全体に関して、「暮らしやすい」と「どちらかという暮らしやすい」を合わせた、“暮らしやすい”と回答した人は、令和2年度調査では35.3%、平成26年度調査では24.0%となっており、比較すると11.3ポイント高くなっています。

障害種別に関して、「暮らしやすい」と「どちらかという暮らしやすい」を合わせた、“暮らしやすい”と回答した人は、身体障害では34.6%、知的障害では46.6%、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では37.9%、精神障害(自立支援医療受給者)では28.4%となっています。

全 体 (経年比較)



クロス集計（障害種別）



(2)障害者施策の充実のための重要な取り組み

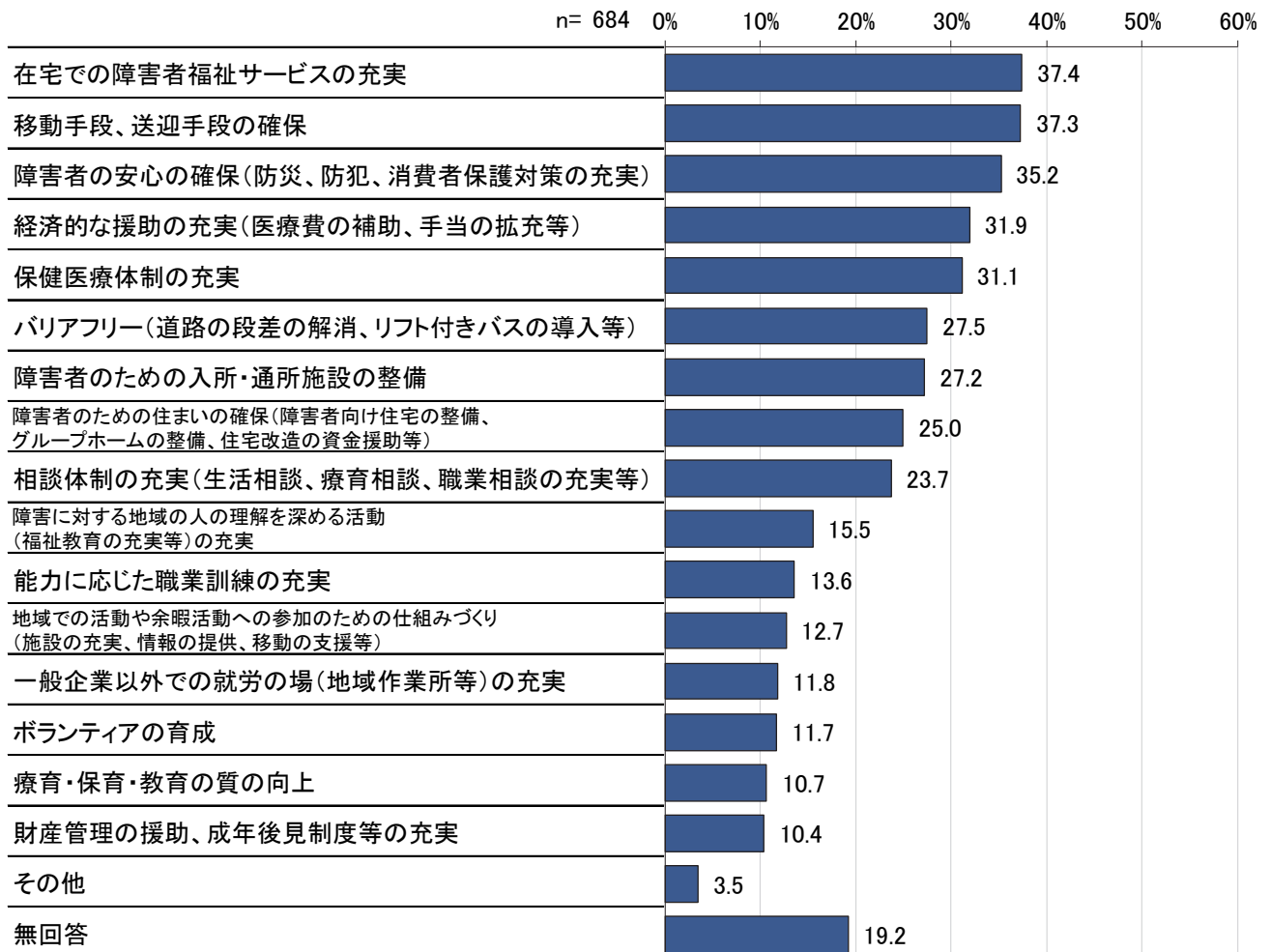
問 56 今後、障害者施策の充実を図る上で、重要と思われる取り組みはどのようなことですか

(〇はいくつでも)

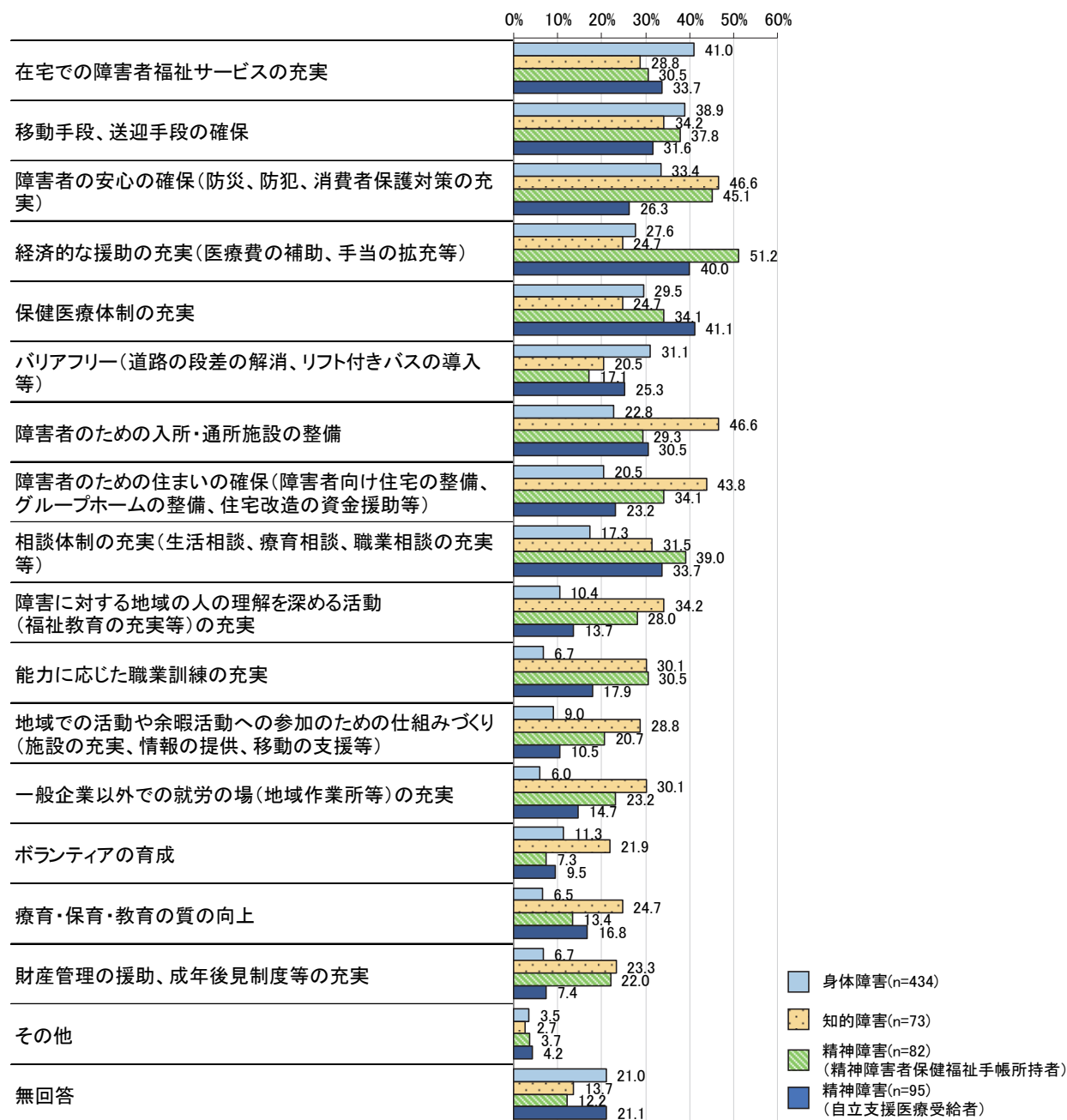
今後、障害者施策の充実を図る上で重要だと思われる取り組みとしては、全体では「在宅での障害福祉サービスの充実」が37.4%で最も高くなっています。次いで、「移動手段、送迎手段の確保」(37.3%)、「障害者の安心の確保」(35.2%)、「経済的な援助の充実」(31.9%)、「保健医療体制の充実」(31.1%)などとなっています。

障害種別にみると、知的障害では「障害者のための入所・通所施設の整備」「障害者の安心の確保」(各46.6%)、「障害者のための住まいの確保」(43.8%)と回答した人が他の障害種別に比べて高く、精神障害(精神障害者保健福祉手帳所持者)では「経済的な援助の充実」(51.2%)と回答した人が半数を超えています。

全 体



クロス集計（障害種別）



【身体障害・年齢別】

	n	在宅での障害者福祉サービスの充実	移動手段、送迎手段の確保	障害者の安心の確保	経済的な援助の充実	保健医療体制の充実	バリアフリー
全体	434 人	41.0%	38.9%	33.4%	27.6%	29.5%	31.1%
18 歳未満	4 人	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	35.9%	41.0%	50.0%	42.3%	33.3%	42.3%
65 歳以上	351 人	42.5%	38.7%	29.9%	24.5%	28.5%	29.1%
	n	障害者のための入所・通所施設の整備	障害者のための住まいの確保	相談体制の充実	障害に対する地域の人の理解を深める活動の充実	能力に応じた職業訓練の充実	地域での活動や余暇活動への参加のための仕組みづくり
全体	434 人	22.8%	20.5%	17.3%	10.4%	6.7%	9.0%
18 歳未満	4 人	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	21.8%	30.8%	24.4%	15.4%	11.5%	11.5%
65 歳以上	351 人	23.4%	18.5%	15.7%	9.1%	5.7%	8.5%
	n	一般企業以外での就労の場の充実	ボランティアの育成	療育・保育・教育の質の向上	財産管理の援助、成年後見制度等の充実	その他	無回答
全体	434 人	6.0%	11.3%	6.5%	6.7%	3.5%	21.0%
18 歳未満	4 人	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	78 人	17.9%	14.1%	10.3%	3.8%	3.8%	12.8%
65 歳以上	351 人	3.4%	10.5%	5.1%	7.4%	3.4%	22.8%

今後、障害者施策の充実のために重要と思う取り組みについては、18～64 歳では「障害者の安心の確保」と回答した人が 50.0%と半数を占めており、65 歳以上では、「在宅での障害福祉サービスの充実」をあげた人が 42.5%と高くなっています。

【知的障害】

	n	在宅での障害者福祉サービスの充実	移動手段、送迎手段の確保	障害者の安心の確保	経済的な援助の充実	保健医療体制の充実	バリアフリー
全体	73 人	28.8%	34.2%	46.6%	24.7%	24.7%	20.5%
18 歳未満	14 人	28.6%	35.7%	64.3%	14.3%	21.4%	7.1%
18～64 歳	56 人	25.0%	32.1%	41.1%	23.2%	25.0%	23.2%
65 歳以上	3 人	100.0%	66.7%	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%
	n	障害者のための入所・通所施設の整備	障害者のための住まいの確保	相談体制の充実	障害に対する地域の人の理解を深める活動の充実	能力に応じた職業訓練の充実	地域での活動や余暇活動への参加のための仕組みづくり
全体	73 人	46.6%	43.8%	31.5%	34.2%	30.1%	28.8%
18 歳未満	14 人	42.9%	42.9%	50.0%	64.3%	57.1%	42.9%
18～64 歳	56 人	46.4%	42.9%	25.0%	26.8%	23.2%	25.0%
65 歳以上	3 人	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%
	n	一般企業以外での就労場の充実	ボランティアの育成	療育・保育・教育の質の向上	財産管理の援助、成年後見制度等の充実	その他	無回答
全体	73 人	30.1%	21.9%	24.7%	23.3%	2.7%	13.7%
18 歳未満	14 人	42.9%	21.4%	57.1%	35.7%	14.3%	7.1%
18～64 歳	56 人	25.0%	21.4%	16.1%	19.6%	0.0%	16.1%
65 歳以上	3 人	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

今後、障害者施策の充実のために重要と思う取り組みについては、知的障害の 18 歳未満では「障害者の安心の確保」「障害に対する地域の人の理解を深める活動の充実」(各 64.3%)、18～64 歳では「障害者のための入所・通所施設の整備」(46.4%)、「障害者のための住まいの確保」(42.9%)と回答された人が多くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳所持者・年齢別】

	n	在宅での障害者福祉サービスの充実	移動手段、送迎手段の確保	障害者の安心の確保	経済的な援助の充実	保健医療体制の充実	バリアフリー
全体	82 人	30.5%	37.8%	45.1%	51.2%	34.1%	17.1%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	30.0%	36.7%	48.3%	56.7%	36.7%	20.0%
65 歳以上	21 人	33.3%	38.1%	38.1%	33.3%	28.6%	9.5%
	n	障害者のための入所・通所施設の整備	障害者のための住まいの確保	相談体制の充実	障害に対する地域の人の理解を深める活動の充実	能力に応じた職業訓練の充実	地域での活動や余暇活動への参加のための仕組みづくり
全体	82 人	29.3%	34.1%	39.0%	28.0%	30.5%	20.7%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	26.7%	38.3%	45.0%	33.3%	36.7%	23.3%
65 歳以上	21 人	38.1%	19.0%	23.8%	14.3%	14.3%	14.3%
	n	一般企業以外での就労場の充実	ボランティアの育成	療育・保育・教育の質の向上	財産管理の援助、成年後見制度等の充実	その他	無回答
全体	82 人	23.2%	7.3%	13.4%	22.0%	3.7%	12.2%
18 歳未満	0 人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	60 人	28.3%	8.3%	16.7%	25.0%	5.0%	6.7%
65 歳以上	21 人	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	28.6%

今後、障害者施策の充実のために重要と思う取り組みについては、精神障害（精神障害者保健福祉手帳所持者）の18～64歳では「経済的な援助の充実」（56.7%）、65歳以上では「移動手段、送迎手段の確保」「障害者の安心の確保」「障害者のための入所・通所施設の整備」（各38.1%）との回答した人が最も多くなっています。

【自立支援医療受給者・年齢別】

	n	在宅での障害者福祉サービスの充実	移動手段、送迎手段の確保	障害者の安心の確保	経済的な援助の充実	保健医療体制の充実	バリアフリー
全体	95 人	33.7%	31.6%	26.3%	40.0%	41.1%	25.3%
18 歳未満	1 人	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
18～64 歳	46 人	41.3%	39.1%	37.0%	54.3%	54.3%	32.6%
65 歳以上	29 人	31.0%	31.0%	17.2%	27.6%	27.6%	13.8%
	n	障害者のための入所・通所施設の整備	障害者のための住まいの確保	相談体制の充実	障害に対する地域の人の理解を深める活動の充実	能力に応じた職業訓練の充実	地域での活動や余暇活動への参加のための仕組みづくり
全体	95 人	30.5%	23.2%	33.7%	13.7%	17.9%	10.5%
18 歳未満	1 人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	41.3%	28.3%	56.5%	23.9%	26.1%	19.6%
65 歳以上	29 人	24.1%	20.7%	13.8%	3.4%	13.8%	3.4%
	n	一般企業以外での就労場の充実	ボランティアの育成	療育・保育・教育の質の向上	財産管理の援助、成年後見制度等の充実	その他	無回答
全体	95 人	14.7%	9.5%	16.8%	7.4%	4.2%	21.1%
18 歳未満	1 人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64 歳	46 人	26.1%	17.4%	28.3%	13.0%	2.2%	10.9%
65 歳以上	29 人	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	3.4%	24.1%

今後、障害者施策の充実のために重要と思う取り組みについては、精神障害（自立支援医療受給者）の 18～64 歳では「相談体制の充実」（56.5%）、「経済的な援助の充実」「保健医療体制の充実」（各 54.3%）、65 歳以上では「在宅での障害者福祉サービスの充実」「移動手段、送迎手段の確保」（31.0%）と回答した人が最も多くなっています。